SmaPri Designer
操作マニュアル

株式会社サトー

Rev.20240605

はじめに

この度は、「SmaPri」をお求めいただきありがとうございます。SmaPri は、ラベルデザイン作成ツール「SmaPri Designer」を使って作成したフォーマットファイルを、スマートフォン用発行ツール「SmaPri Driver」で利用して、様々なアプリケーションと連携してラベル発行を行うための発行支援アプリケーションです。

本マニュアルは SmaPri Designer の基本操作からオブジェクトの設定、テーブルやデータ出力まで解説しております。製品のヘルプボタンで表示される解説としても利用しております。

ご注意

- 本ソフトウェアの著作権は、株式会社サトーにあります。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- 本ソフトウェアおよび本マニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 本マニュアルの例やサンプルで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名とは一切関係がありません。

- SATO、SmaPri は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに 2

ご注意 2

目次 3

第 1 章 製品情報 6

1-1. 必要なハードウェア・ソフトウェア 7

- 動作環境 7
- 対応プリンタ 7

1-2. SmaPri Designer について 8

- 製品概要 8

1-3. インストール・アンインストール 9

- インストールする 9
- 初回起動時の税率設定 12
- アンインストール 13

1-4. 表示言語 14

- 表示言語を変更する 14

第 2 章 基本操作 15

2-1. 各種ボタンの表示について 16

2-2. マウスカーソルについて 17

2-3. 画面構成について 18

2-4. ツールバー 19

2-5. デザインウィンドウ 20

2-6. 入力画面設定 21

2-7. オブジェクトバー 22

2-8. プロジェクトウィンドウ 23

2-9. 座標単位 25

第 3 章 基本設定 26

3-1.SmaPri Designer の起動 27

3-2.プロジェクト選択 28

3-3. プリンタ選択 29

- プリンタを選択する 29

3-4. 用紙設定 30

- 用紙設定用語解説 32

3-5. 税率・値引率設定 35

3-6. 通貨設定 37

第 4 章 データウィンドウ解説 38

4-1. ファイルプロパティ 39
- プロジェクト 39
- グループ 40
- 発行レイアウト 41
- テーブル 42

4-2. オブジェクトプロパティ 43
- 文字列オブジェクト 43
- 価格オブジェクト 50
- バーコードオブジェクト 54
- 日時オブジェクト 61
- 連番オブジェクト 66
- 固定グラフィックオブジェクト 69
- 切替グラフィックオブジェクト 73
- 罫線オブジェクト 76
- 枠線オブジェクト 77
- 表オブジェクト 78
- コマンドオブジェクト 79

第 5 章 特別な操作 82

5-1. テーブル機能 83
- インポートできる CSV および TAB データ形式 84
- テーブルを作成する 85
- グラフィックテーブルを作成する 86
- テーブルをインポートする 88
- テーブルデータの検索/置換手順 90

5-2. プレビュー・テスト発行機能 93
- ジャーナル紙（可変長）以外の場合 93
- ジャーナル紙（可変長）の場合 94

5-3. データ出力 96
- データ出力する 96
- SmaPri Designer の出力ファイルについて 98

5-4. 税率一括変更 99
- 税率を一括で変更する 99

5-5. オブジェクト種変換 100

- 変更可能なオブジェクト 100
- オブジェクトを変更する 100
5-6. バーコードウィザード 101
- 作成可能なバーコード 101
- バーコードウィザードを利用する 101
- バーコード構成を新規登録する 106
5-7. グリッド設定 108
- グリッドの間隔を変更する 108
5-8. ツール設定 109
5-9. オブジェクトのグルーピング 112
- グルーピングする 112
5-10 .サンプルデータの取込 114
- サンプルを利用する 114
5-11. フォント一括設定 116
- フォントを一括で変更する 116
5-12. 税込価格、本体価格を作成する 117
- 本体価格から税込価格を求める 117
- 税込価格から本体価格(税抜価格)を求める 119
- 端数処理を変更する 121
5-13. 税率を設定する 123
- 税率を一括で変更する 123
- 税率を個別に変更する 125
- プロジェクト新規作成時の税率を設定する 127
- レイアウト新規作成時の税率を設定する 128
5-14. 用紙回転設定 130
- 用紙を回転する 130
- 用紙回転時の表示 131
5-15. 桁数可変のバーコードを作成する 132
5-16. QR コードのデータに改行コードを含める 134

第 6 章 付録 135

6-1. 用語 136
6-2. エラーメッセージ 137
6-3. FAQ 138

第１章

製品情報

1-1 必要なハードウェア・ソフトウェア

- ハードウェア　- ソフトウェア

SmaPri Designer をご使用いただくには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

- 動作環境

対応 OS (32bit)	Windows 11, Windows 10
対応 OS (64bit)*	Windows 11, Windows 10
	*64 ビット OS では 32 ビットアプリケーションとして動作します。
CPU	Pentium 互換 CPU 1GHz 以上推奨
メモリ	1024MB 以上推奨
ハードディスク	300MB 以上の空きスペース
画面解像度**	XGA（1024×768）以上
	**SXGA（1280×1024）以上推奨

※USB ライセンスキーの制限により、仮想環境やリモートデスクトップでの利用はサポートしておりません。

- 対応プリンタ

分類	型式
モバイルプリンタ	PW4NX, PW208/PW208NX シリーズ, PT408e/PT412e
卓上プリンタ	SCeaTa(シータ) CT4-LX, L'esprit HC4-LX, FX3-LX Plus, FX3-LX, CL4NX-J Plus シリーズ, CL6NX-J Plus シリーズ, CL4NX-J シリーズ, CL6NX-J シリーズ, EV200R シリーズ, HA200R シリーズ, L'esprit V-ex シリーズ, RT308R, ST300R シリーズ
インターナショナルモデル	PW4NX, PW208NX, MB400i/MB410i, CT4-LX, CL4NX Plus, CL6NX Plus, CL4NX, CL6NX, CG208/212/408/412, TG308/TG312, DR308e

1-2 SmaPri Designer について

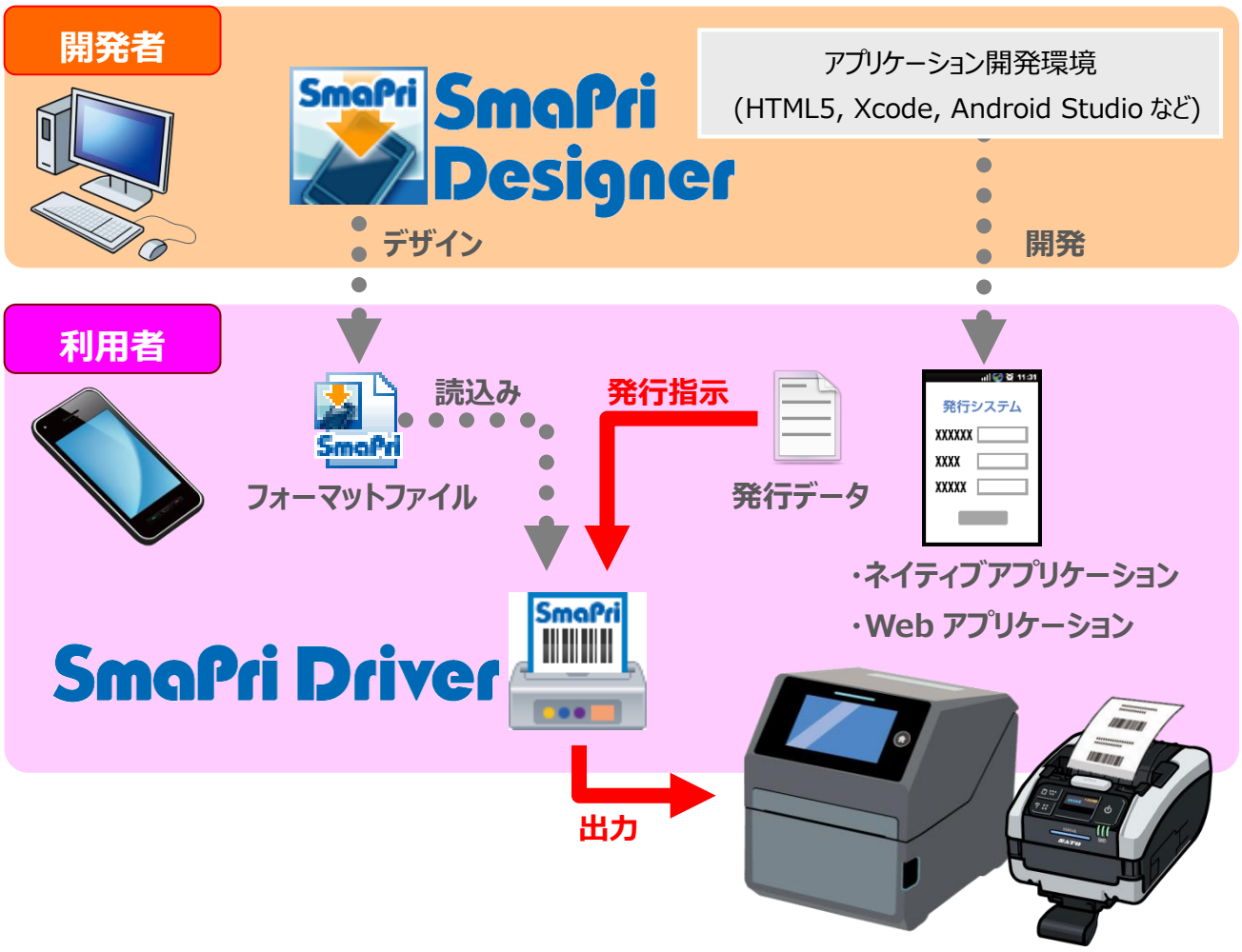
- 製品概要

- 製品概要

SmaPri Designer はパソコン上で動作するラベルデザイン作成アプリケーションです。

SmaPri Driver がラベル発行時に利用するフォーマットファイル(*.spfmtz)を作成します。

SmaPri Designer と SmaPri Driver の関係図



1-3 インストール・アンインストール

- インストール　- 初回起動時の税率設定　- アンインストール

SmaPri Designer は管理者権限でインストールする必要があります。
古いバージョンがインストールされていても上書きインストールが可能です。

- インストールする

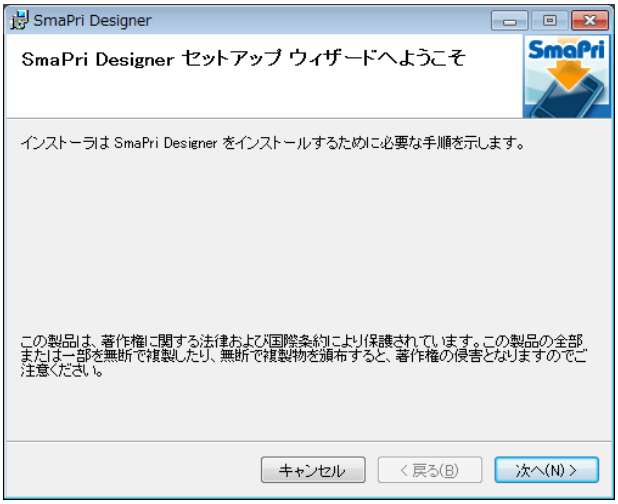
1) SmaPri Designer のセットアップファイルを起動します。

2) ユーザーアカウント制御（UAC）が表示されます。画面に従い「許可」または「はい」を選択してください。



3) インストーラが起動し、実行環境の確認を行います。
.NET Framework 4.5 がインストールされていない場合、自動で Microsoft のインストーラが起動します。画面指示にしたがってインストールを行ってください。

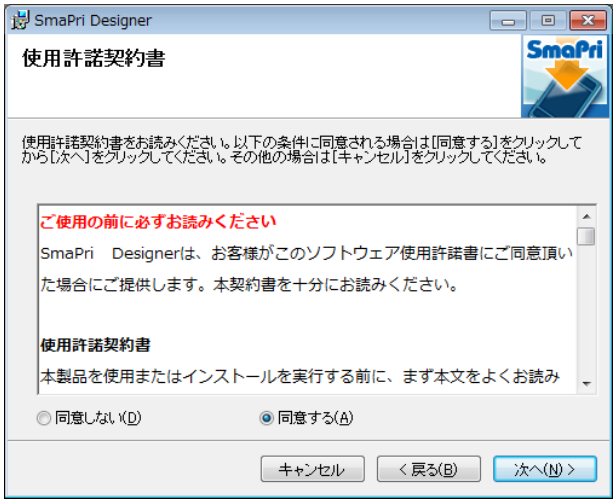
4) セットアップウィザードが表示されたら「次へ」をクリックします。



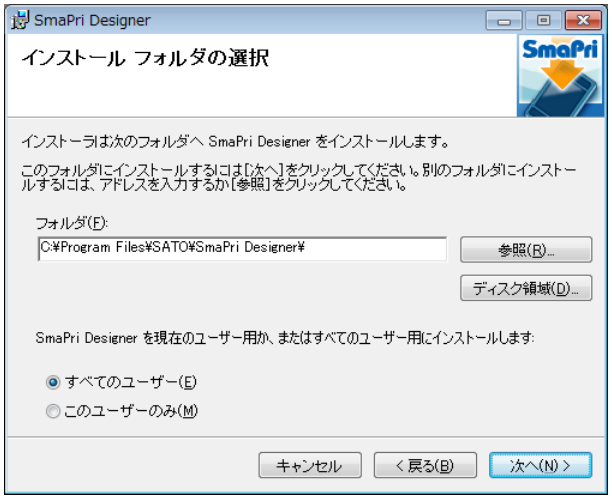
5) 「使用許諾契約書」の内容をご確認いただき「同意する」をチェックして「次へ」をクリックします。

【注意】使用許諾契約書

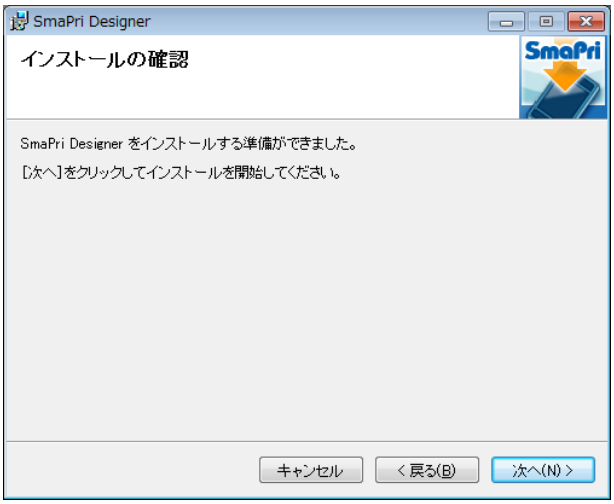
使用許諾契約書はソフトウェア利用上の重要な情報を記載しておりますので必ずご確認ください。



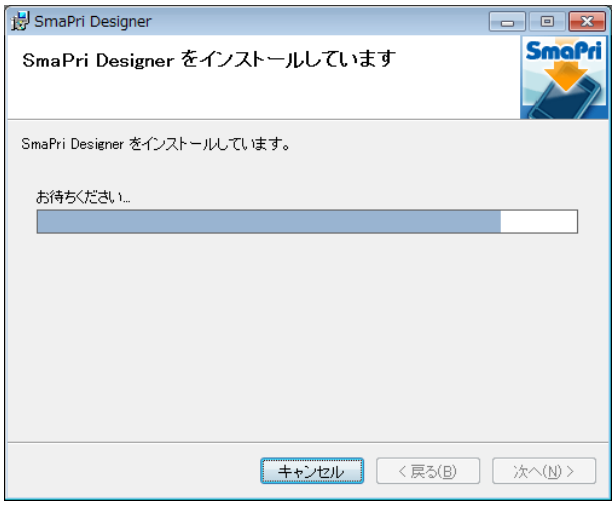
6) 「次へ」をクリックします。(「参照」をクリックするとインストール先を変更できます)



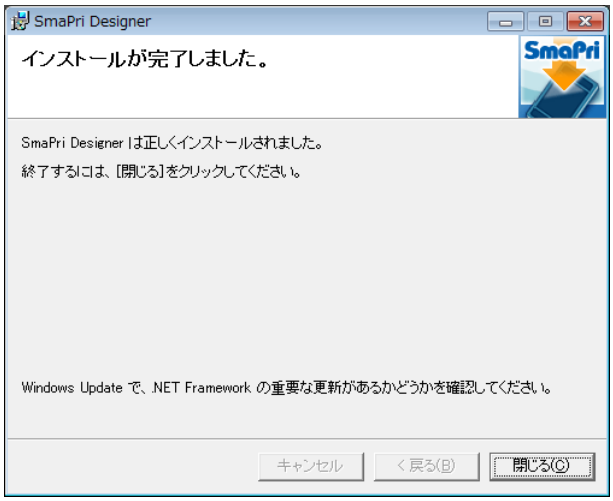
7) 「次へ」をクリックします。



8) インストール中の画面になります。



9) 「完了」をクリックします。



10)USB ポートに USB キー（HASP）を接続します。



【注意】USB キー（HASP）の接続について

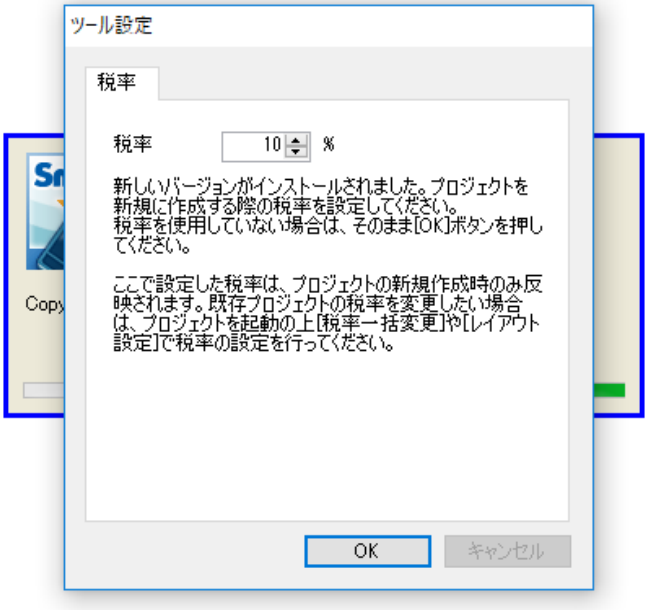
インストール作業の完了前に USB キー（HASP）を接続してしまうと、正常に認識されません。

接続してしまった場合は USB キー（HASP）を外し、ソフトの再インストールを行ってください。

11)以上で SmaPri Designer のインストールは完了です。デスクトップにプログラムアイコンが表示されます。

- 初回起動時の税率設定

インストール後初めて SmaPri Designer または SmaPri Designer で作成したプロジェクトファイルを起動する際は、税率設定画面が表示されますので税率を確認し、変更がある場合は値を入力し OK を押してください。



【注意】

この画面で設定する税率は、**新規にプロジェクトを作成する際に適用される税率**です。

既存のプロジェクト内の税率を変更する為には、別途「税率一括変更」等を行ってください。

詳細は、本マニュアルの「5-13.税率を設定する」をご確認ください。

- アンインストール

1) 「コントロールパネル」を開きます。

2) 「プログラムと機能」を選択します。

3) インストールされているプログラム一覧から、「SmaPri Designer」を選択し、「アンインストール」または「削除」ボタンをクリックします。

4) 確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択してアンインストールを実行します。

1-4 表示言語

- オプション設定

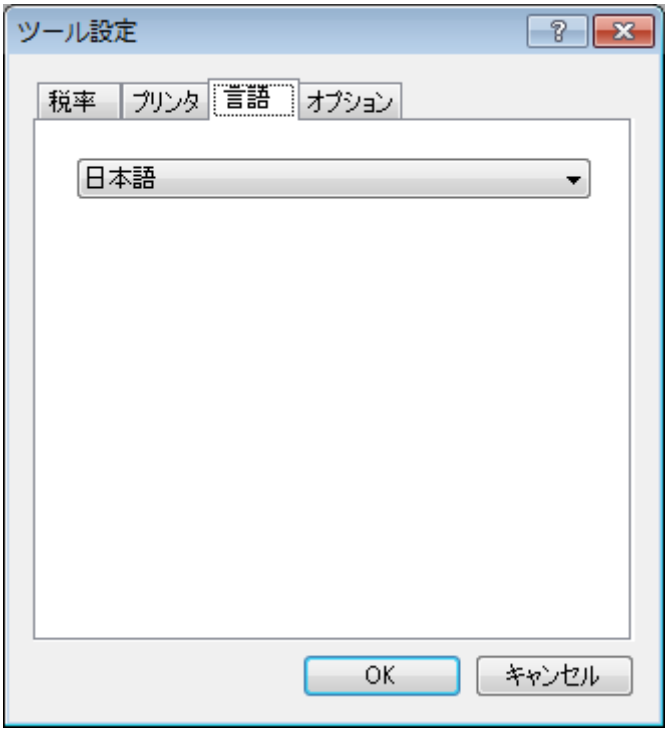
SmaPri Designer は、インストールした OS の言語によって、以下のように表示します。

OS 言語が**日本語**　⇒　**日本語**で表示
OS 言語が**日本語以外**　⇒　**英語**で表示

- 表示言語を変更する

1) メニューバー「ツール」の「設定」を選択します。

2) 「言語」タブで言語を選択します。



第２章

基本操作

2-1 各種ボタンの表示について

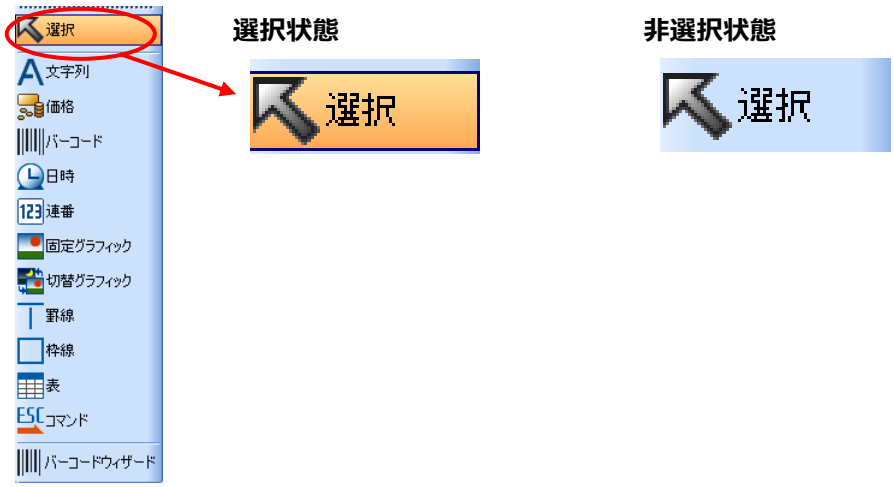
- 選択/非選択

SmaPri Designer 画面内の各ボタンをクリックすることで、様々な動作を実行します。

SmaPri Designer 内の各種ボタンの選択状態は以下のようになります。

（背景色及び選択色は、お使いのパソコンの OS や設定によって異なる場合があります。）

- オブジェクトバーの選択状態／非選択状態



- ツールバーの選択状態／非選択状態



- データウィンドウの選択状態／非選択状態



2-2 マウスカーソルについて

- 選択/変更

SmaPri Designer 内で表示されるマウスカーソルはそのとき行える動作によって形状が異なります。

＊マウスカーソルの形状はパソコンの設定によって異なる場合があります。

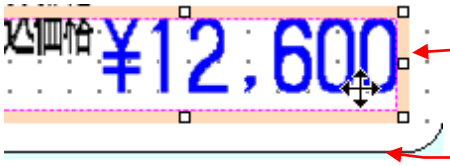
通常時のカーソル　・・・通常状態のカーソルです。

オブジェクト貼り付け時カーソル　・・・オブジェクトを貼付け準備ができた状態です。

オブジェクト選択時カーソル　・・・貼り付けたオブジェクトの位置を移動します。

オブジェクトサイズ変更時カーソル・・・オブジェクトのサイズを変更します。

- 選択状態のオブジェクトとオブジェクト選択時カーソル

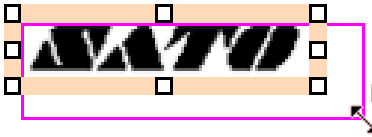


オブジェクト選択時には左図の様な**薄ピンク色の枠線**が表示されます。

オブジェクト選択時のカーソルは、ドラッグでオブジェクトの位置が移動できます。

Ctrl キーを押しながらキーボードのカーソルキーを操作することでも、オブジェクトの移動ができます。

- 選択状態のオブジェクトとサイズ変更時カーソル



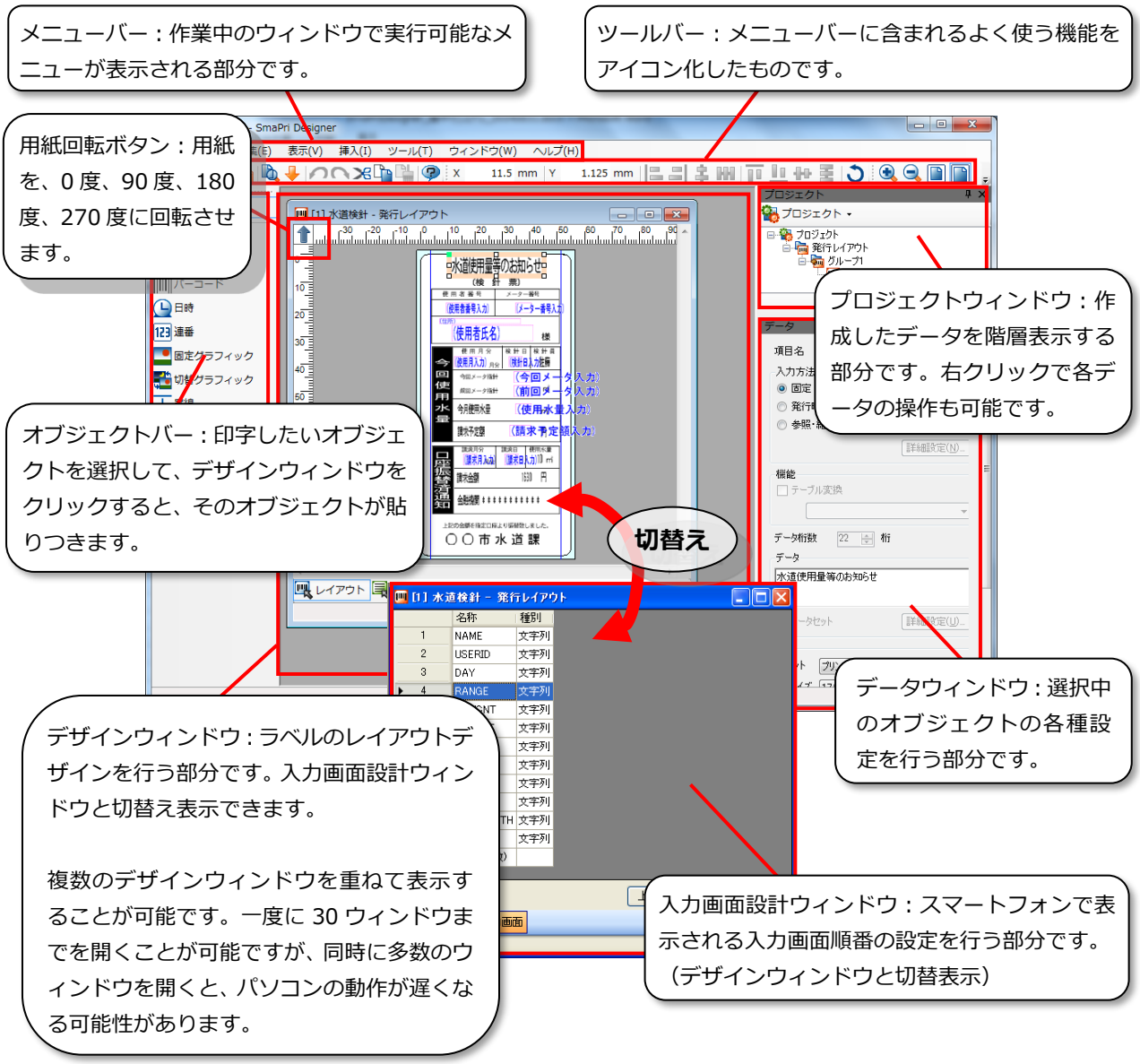
オブジェクトの端にカーソルを移動すると、**サイズ変更時のカーソル**に変わり、ドラッグでバーコード、グラフィックなどの一部のオブジェクトのサイズ変更が可能です。

2-3 画面構成について

- 画面構成

SmaPri Designer の画面は以下の画面構成になっています。

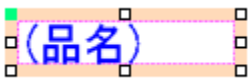
画面構成内容は、表示の ON/OFF、ウィンドウの移動で変更することが可能です。



オブジェクト基点位置について

選択状態のオブジェクトは、緑の- で基点位置を表示します。基点位置は、単一オブジェクトかグループ化したオブジェクトかによって以下のようになります。

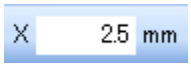
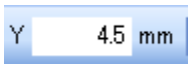
- 単一オブジェクトの基点位置：オブジェクトを配置した時点での左上
- グループ化オブジェクトの基点位置：オブジェクト全体の縦位置、横位置ともに最小値となる位置



2-4 ツールバー

- ツールバー

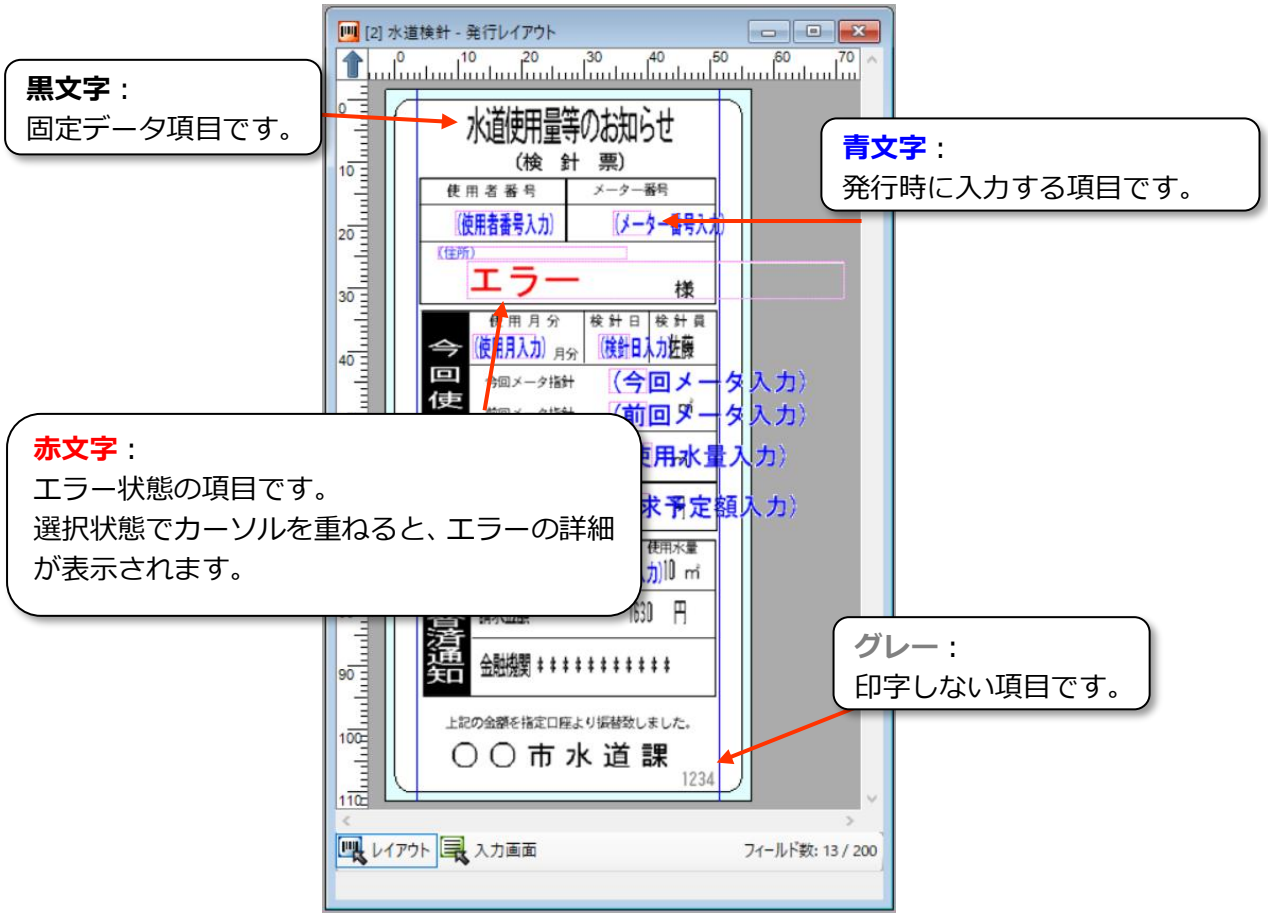
ツールバーのボタンはクリックすることで、以下の操作が可能です。

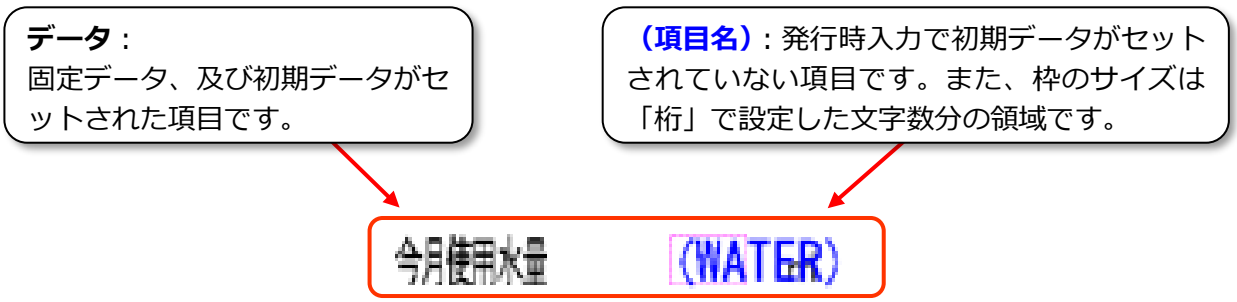
ボタン	機能名	機能
	新規作成	ファイルを新規に作成します
	上書保存	ファイルを上書き保存します
	サンプル取り込み	サンプルフォルダにアクセスし、ファイルを取り込みます
	ファイル追加	ツールの関連ファイルを取り込みます
	ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ･ﾗﾍﾞﾙ印刷	印字プレビューの確認と、ラベルの印刷指示画面です
	データ出力	作成したデータを指定した出力先に書込みます
	元に戻す	操作を元に戻します（最大 10 回）
	やり直し	操作をやり直します（「元に戻す」を使用した場合、最大 10 回）
	切り取り	選択対象を切り取ります
	コピー	選択対象をコピーします
	貼り付け	選択対象を貼り付けます
	ヘルプ	ヘルプを表示します
	横位置	選択中のオブジェクトの横位置を指定します 数値を入力後、Enter キーで確定します
	縦位置	選択中のオブジェクトの縦位置を指定します 数値を入力後、Enter キーで確定します
	左揃え	選択された複数のオブジェクトを左に揃えます
	右揃え	選択された複数のオブジェクトを右に揃えます
	左右中央	選択された複数のオブジェクトを左右中央に揃えます
	左右均等揃え	選択された複数のオブジェクトの左右の位置を均等に揃えます
	上揃え	選択された複数のオブジェクトの上を揃えます
	下揃え	選択された複数のオブジェクトの下を揃えます
	上下中央揃え	選択された複数のオブジェクトを上下中央に揃えます
	上下均等揃え	選択された複数のオブジェクトの上下の位置を均等に揃えます
	回転	選択されたオブジェクトを回転します
	拡大	画面の表示を拡大します
	縮小	画面の表示を縮小します
	標準	表示サイズを標準に切り替えます
	画面にあわせる	表示サイズを画面にあわせます

2-5 デザインウィンドウ

- デザインウィンドウ

デザインウィンドウでは、オブジェクトの貼り付け、サイズ変更等の操作が可能です。
各項目がどのような状態にあるのかを色や表示方法で確認することが可能です。

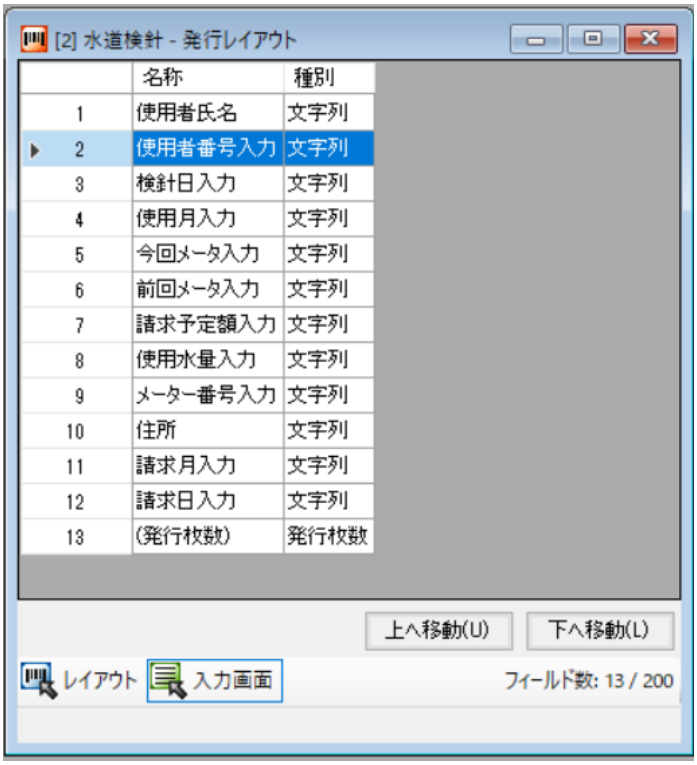




2-6 入力画面設定

- 入力画面設定

発行時の入力順番の変更設定ができます。



設定項目	内容
「上へ移動」ボタン	選択中の行をリストの一つ上の行に移動させます。
「下へ移動」ボタン	選択中の行をリストの一つ下の行に移動させます。
設定画面内	
名称	レイアウト画面で貼り付けた「発行時（データ）」オブジェクトの項目名が表示されます。
種別	レイアウト画面で貼り付けた「発行時（データ）」オブジェクトの種類が表示されます。

2-7 オブジェクトバー

- オブジェクトバー

デザインウィンドウに下記のオブジェクトを貼り付け、レイアウトを作成していきます。

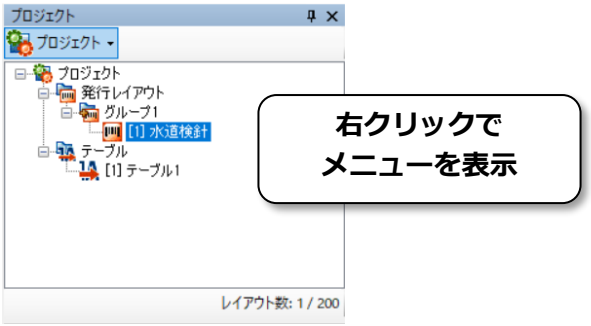


オブジェクト	内容
選択	デザイン画面上のオブジェクトを選択します。
文字列	文字オブジェクトを貼り付けます。
価格	価格オブジェクトを貼り付けます。税計算や割引計算設定などが可能です。
バーコード	バーコードオブジェクトを貼り付けます。
日時	日時オブジェクトを貼り付けます。
連番	連番オブジェクトを貼り付けます。
固定グラフィック	固定グラフィックオブジェクトを貼り付けます。
切替グラフィック	切替グラフィックオブジェクトを貼り付けます。
罫線	罫線オブジェクトを貼り付けます。
枠線	枠線オブジェクトを貼り付けます。
表	表オブジェクトを貼り付けます。
コマンド	コマンドオブジェクトを貼り付けます。
バーコードウィザード	バーコード作成ウィザード画面を表示します。 ウィザードの手順に沿って、簡単な操作で複雑な構成のバーコードを作成することができます。 対象バーコード・・・**JAN13、JAN13 価格 CD、JAN8**

2-8 プロジェクトウィンドウ

- プロジェクトウィンドウ

プロジェクト内に存在するファイル一覧を表示、操作する部分です。



以下の種類のファイルの表示と操作が可能です。

種類	メニュー	詳細
プロジェクト	グループ新規作成	発行レイアウトグループの新規作成
	発行レイアウト新規作成	発行レイアウトの新規作成
	テーブル新規作成	テーブルの新規作成
	グラフィックテーブル	グラフィックテーブルの新規作成
	グラフィック新規作成	グラフィックの新規作成
	プロジェクトの設定	プロジェクトの動作
発行レイアウトフォルダ	グループ新規作成	発行レイアウトグループの新規作成
	貼り付け※1	発行レイアウトグループの貼り付け
発行レイアウトグループ	発行レイアウト新規作成	発行レイアウトの新規作成
	切り取り	発行レイアウトグループの切り取り
	コピー	発行レイアウトグループのコピー
	貼り付け※1	切り取り、コピーした発行レイアウトの貼り付け
	削除	発行レイアウトグループの削除
発行レイアウト	開く	発行レイアウト編集画面を開く
	切り取り	発行レイアウトの切り取り
	コピー	発行レイアウトのコピー
	削除	発行レイアウトの削除
	設定	発行レイアウト設定画面を開く
テーブルフォルダ	テーブル新規作成	テーブルの新規作成
	グラフィックテーブル新規作成	グラフィックテーブルの新規作成
	貼り付け※1	切り取り、コピーしたテーブルファイルの貼り付け

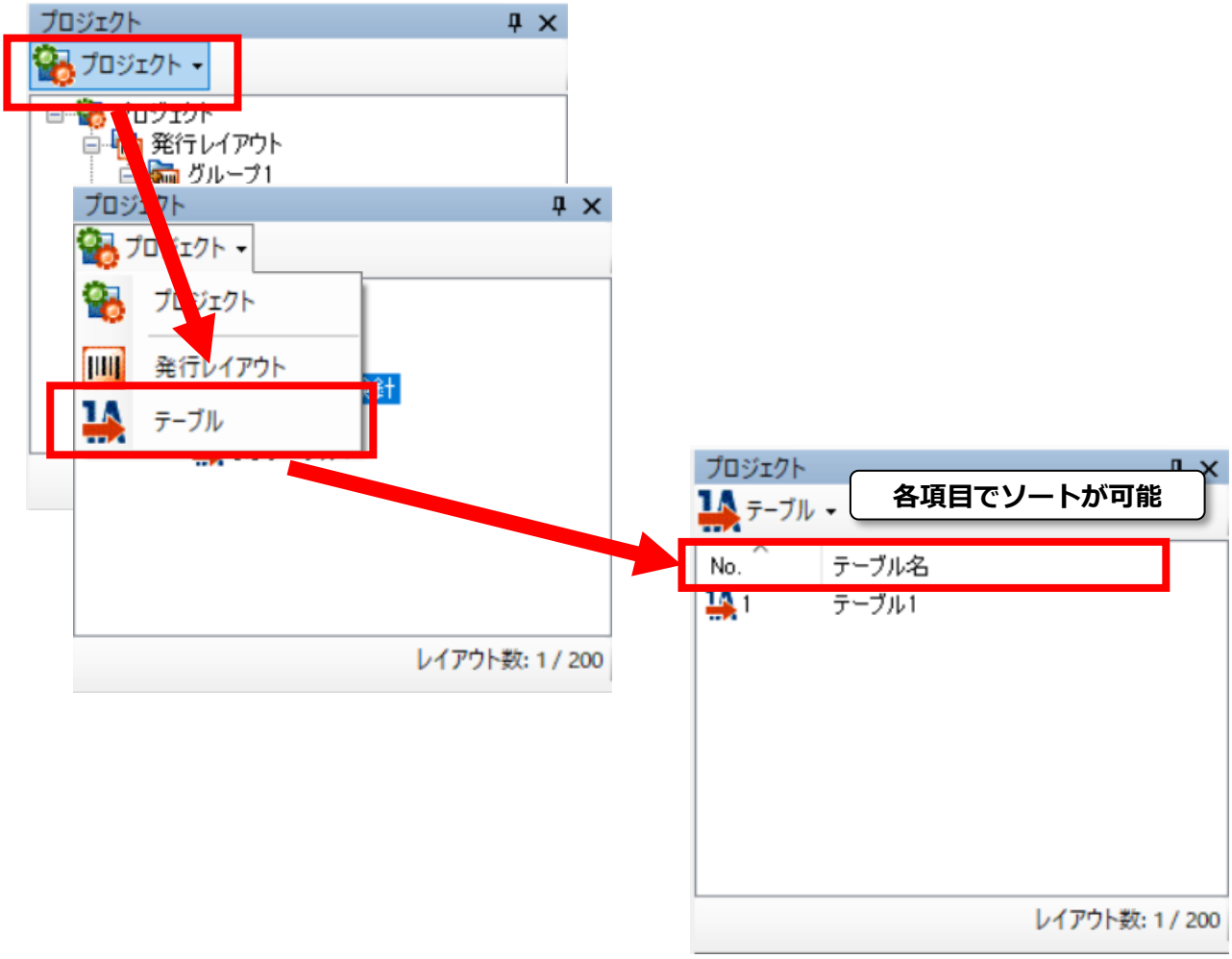
テーブル	開く	テーブル編集画面を開く
	切り取り	テーブルの切り取り
	コピー	テーブルのコピー
	削除	テーブルの削除
グラフィックテーブル	開く	グラフィックテーブル編集画面を開く
	切り取り	グラフィックテーブルの切り取り
	コピー	グラフィックテーブルのコピー
	削除	グラフィックテーブルの削除

※1 貼り付け操作を行う場合は、一段上の階層、例えば、発行レイアウトファイルをコピー、貼り付けする場合は、発行レイアウトグループを選択した状態で貼り付けができます。

- 表示の切替え

プロジェクトウィンドウではプロジェクトのツリー表示以外にも、レイアウトやテーブルなどの種類ごとに表示することも可能です。

種類ごとに表示させることで、発行レイアウトの空きNo.等を簡単に確認することができます。

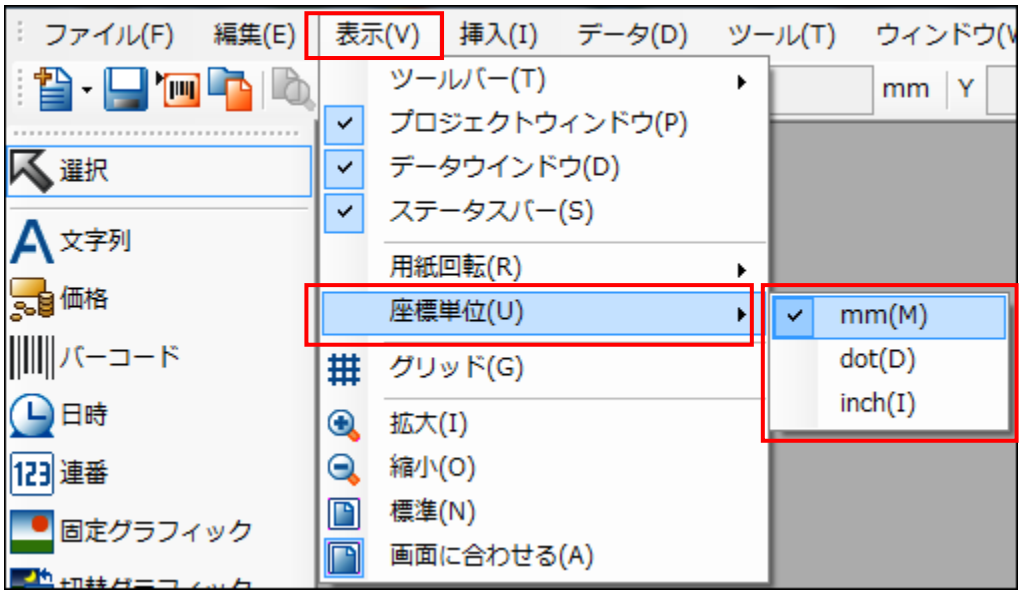


2-9 座標単位

- 座標単位

レイアウトの座標や長さの単位を「mm」、「dot」、「inch」から選択します。

選択した単位はツールとして保持するため、すべてのプロジェクトファイルに適応されます。



第３章

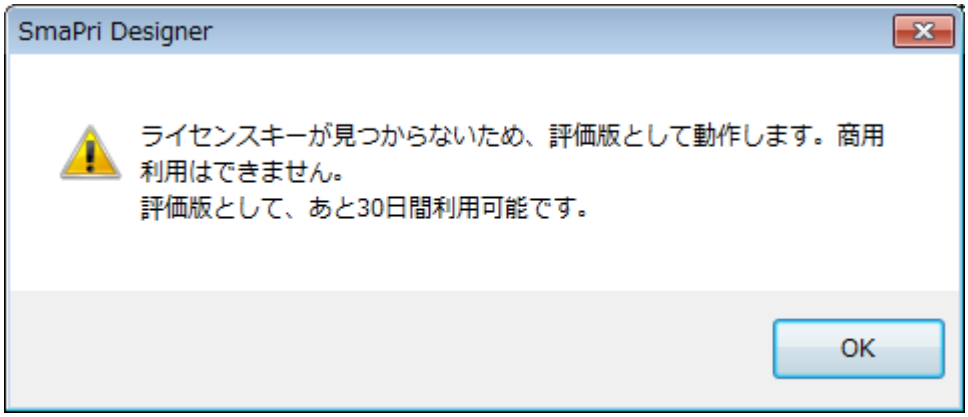
基本設定

3-1 SmaPri Designer の起動

- 起動

SmaPri Designer のショートカットアイコンからの起動や既に作成したプロジェクトファイルを表示する際には、**ライセンスキー**となる USB タイプの HASP をお使いのパソコンに差し込み、認識させる必要があります。

ライセンスキーが認識されない場合は、以下のメッセージが表示されます。



【注意】ライセンスキーについて

ライセンスキーが認識できない状態で出力したフォーマットファイル（発行用ファイル）を使用する場合は、SmaPri Driver から発行する際にも警告メッセージが表示され続けます。

また、SmaPri Designer は 30 日間の試用期間を過ぎると起動しなくなります。ライセンスの購入をお願いします。

3-2 プロジェクト選択

- プロジェクト

SmaPri Designer 起動時の画面です。

新規で作成するか、既存のプロジェクトファイルを指定するかを選択します。



設定項目	内容
「新規作成」ボタン	ファイルを新規に作成します。
「参照」ボタン	既存のファイルを参照します。
「キャンセル」ボタン	選択画面を終了します。

3-3 プリンタ選択

- プリンタ選択

SmaPri で対応可能なプリンター一覧が表示されます。
プリンタアイコン一覧から、スマートフォンと接続するプリンタを選択してください。
プリンタを選択後、「次へ」ボタンを押すと次の画面へ移ります。

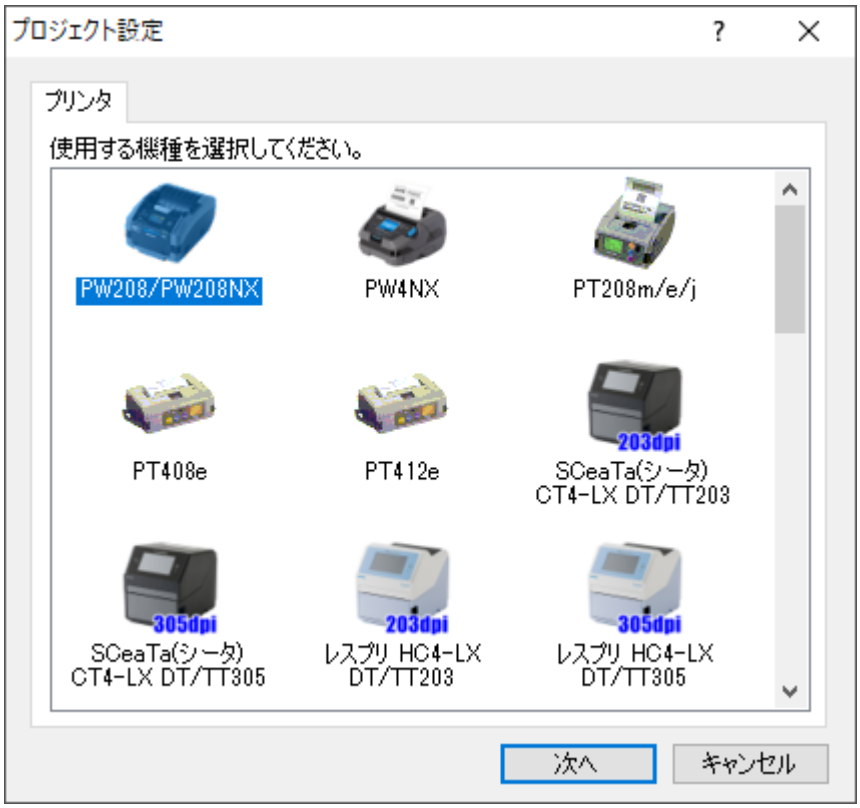
インストールして初めて SmaPri Designer を起動した際は、OS の言語によって、国内用プリンタのカテゴリと海外用プリンタのカテゴリのどちらかが表示されます。

- OS 言語が**日本語** -> **国内プリンタ**を表示
- OS 言語が**日本語以外** -> **海外プリンタ**を表示

- プリンタを選択する

1) メニューバー「ツール」の「設定」を選択する。

2) 「プリンタ」タブでプリンタの変更が可能です。



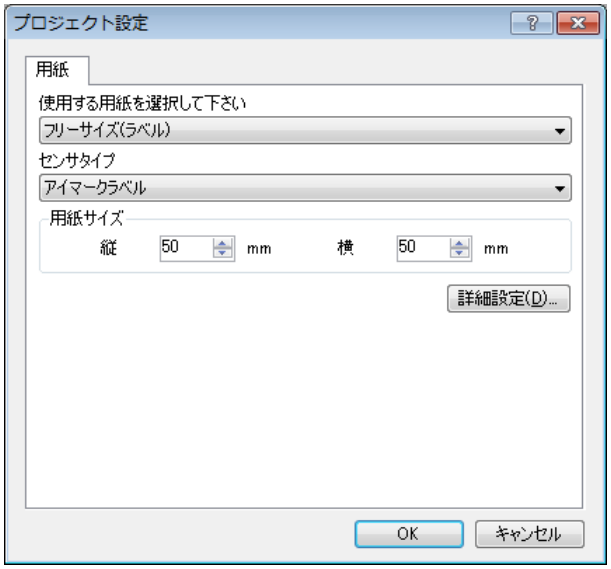
この画面で選択したプリンタは、用紙の最大、最小サイズ、フォント・バーコード種類、プリンタ制御の機能に影響しますので、必ずご使用になる機種を選択してください。

3-4 用紙設定

- 用紙設定

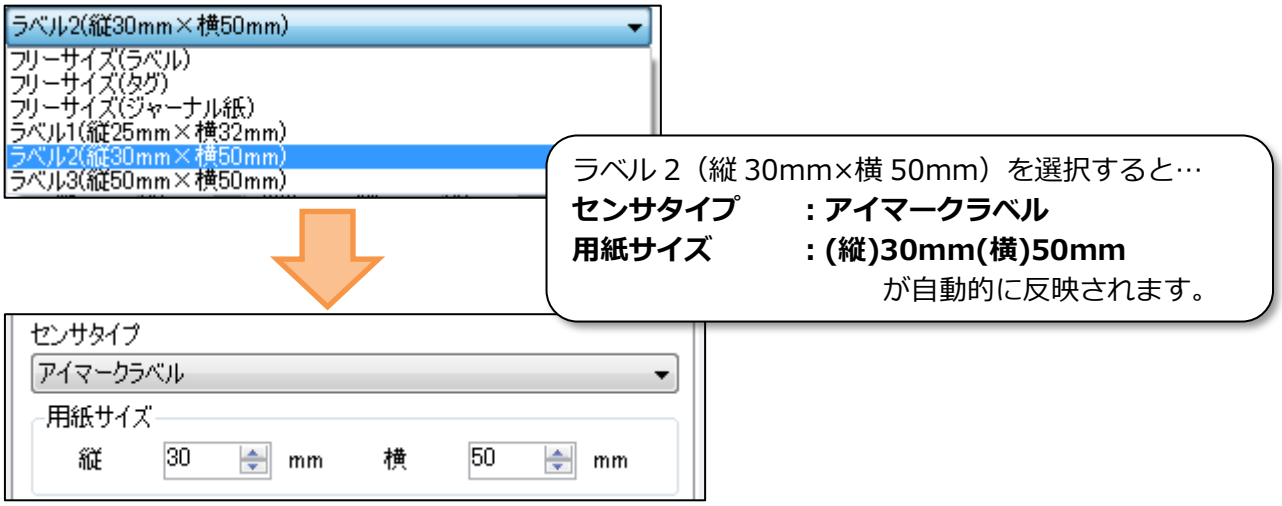
使用する用紙の種類、センサタイプ、用紙サイズを設定します。

レイアウトデフォルト設定画面で変更した値は、以降の新規レイアウト作成時の初期値となります。



設定項目	内容
用紙の選択	使用する用紙を選択します。
センサタイプ	使用するセンサタイプを選択します。
用紙サイズ	使用する用紙サイズを入力します。

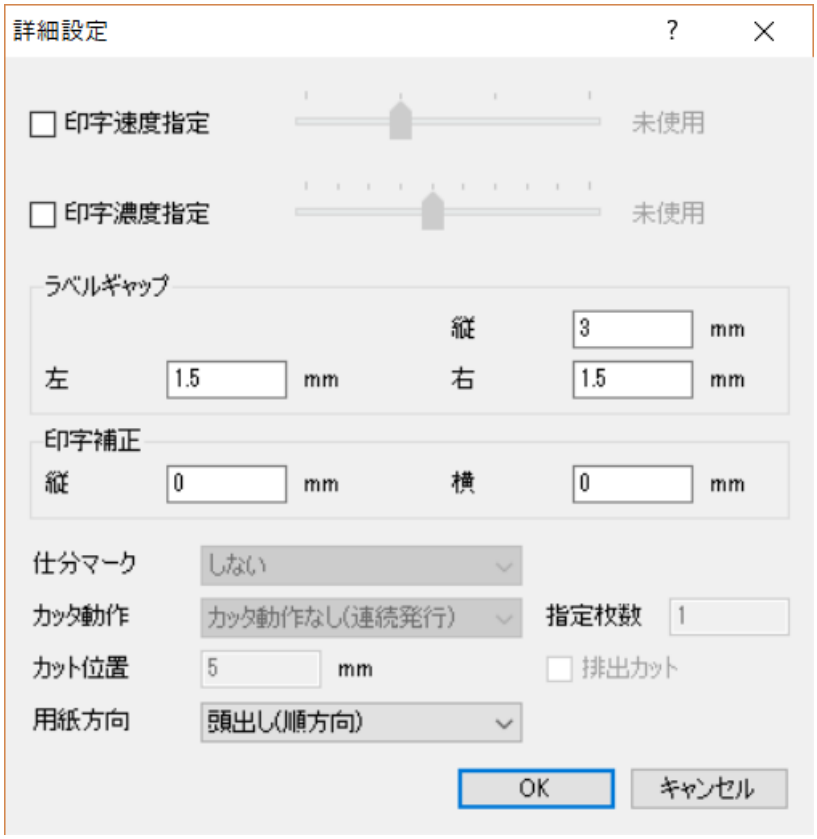
用紙選択のリストには、設定されたプリンタで使用される一般的な用紙が予め登録されています。フリーサイズ以外の用紙を選択すると、センサタイプ、用紙サイズが自動的に反映されます。用紙を選択後に、センサ種、用紙サイズを変更することは可能です。



- 詳細設定

プリンタ動作の詳細を設定します。

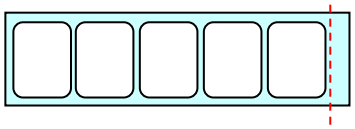
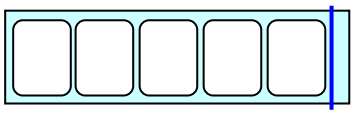
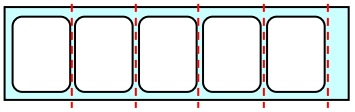
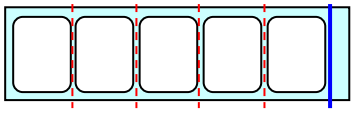
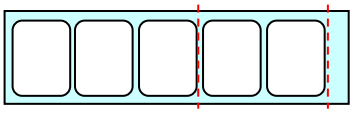
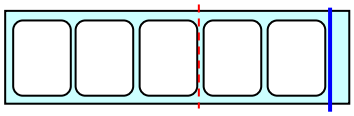
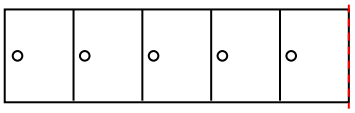
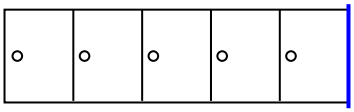
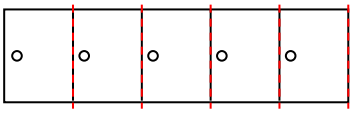
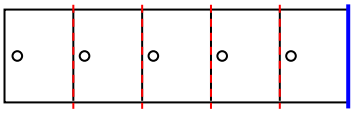
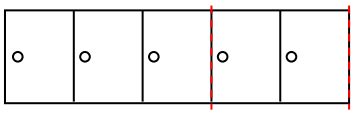
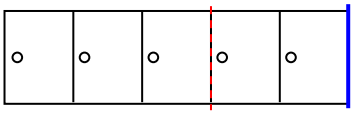
レイアウトデフォルト設定画面で変更した値は、以降の新規レイアウト作成時の初期値となります。



設定項目	内容
印字速度指定	スライドバーをドラッグで動かして、プリンタの印字速度を指定します。 チェックされていない場合は、プリンタ本体の設定が有効になります。
印字濃度指定	スライドバーをドラッグで動かして、プリンタの印字濃度を指定します。 チェックされていない場合は、プリンタ本体の設定が有効になります。
ラベルギャップ	ラベルの縦、横のギャップサイズを指定します。
印字補正	レイアウトの全体的な印字補正値を設定します。
仕分マーク	仕分マーク印字のあり・なしを設定します。
カッタ動作	カット方法を指定します。
指定枚数	指定枚数カット選択時に、何枚ごとにカットするかを設定します。
カット位置	センターホールからのカット位置を指定します。
排出カット	印字終了後に排出カットを行うかどうかを設定します。
用紙方向	用紙の排出方向を指定します。

- カッタ動作について

各カッタ動作設定時のプリンタ動作は下図のようになります。

ラベル	『排出カット』チェックあり	『排出カット』チェック無し
カッタ動作無し		
1 枚ごとにカット		
指定枚数カット 例：3 枚目でカットする設定で 5 枚発行したとき		
タグ	『排出カット』チェックあり	『排出カット』チェック無し
カッタ動作無し		
1 枚ごとにカット		
指定枚数カット 例：3 枚目でカットする設定で 5 枚発行したとき		

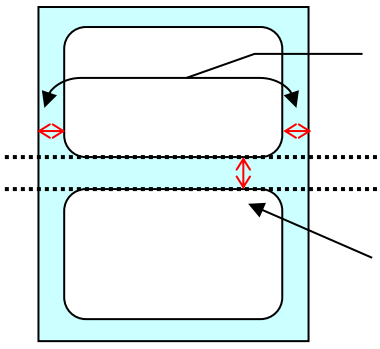
カット動作

RT308R でオフライン状態+FEED ボタン時のカット動作

ST3xxR は、排出カットボタン時のカット動作

- 用紙設定用語解説

・ ラベルギャップとは



左・右（横）

ラベルの台紙の端から、ラベルまでの距離です。

縦

前のラベルの終わりから次のラベル始めまでの距離です。

※左・右：1.5mm、縦：3mm がサトーの標準的な値です。

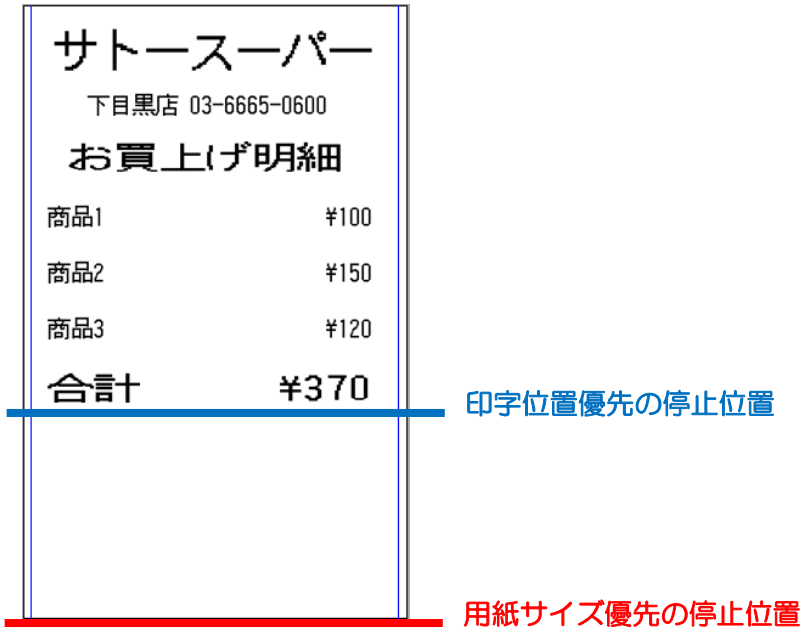
- **ジャーナル紙とは**

ジャーナル紙は、台紙や糊面のないレシートのような用紙です。

センサタイプとして「用紙サイズ優先」「印字位置優先」「可変長」が選択可能です。

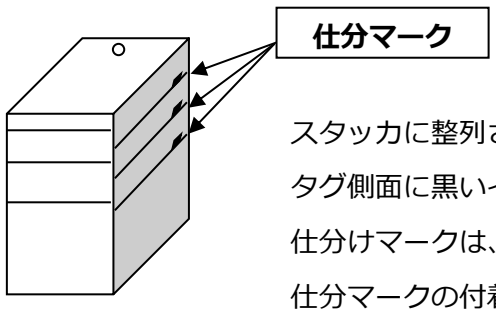
「用紙サイズ優先」は、レイアウト設定で指定したサイズまで用紙が発行されます。

「印字位置優先」は、印字項目が終了した時点で発行が停止します。



「可変長」は、複数のレイアウトを組み合わせて発行するために利用します。1 つのレイアウトだけで発行した場合は、「用紙サイズ優先」と同様に、レイアウト設定で指定したサイズまで用紙が発行されます。詳しい使い方は、「SmaPri for Android/iOS 練習マニュアル（レシート発行編）」をご参照ください。

- **仕分マークとは**



スタッカに整列されたタグを仕分し易い様に、

タグ側面に黒いインクを付着させる機能です。

仕分けマークは、1 枚目のタグの側面に付きます。

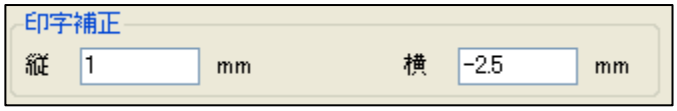
仕分マークの付着が可能な間隔は、指定枚数と発行単位になります。

- **印字補正とは**

  全体の印字位置を補正します。



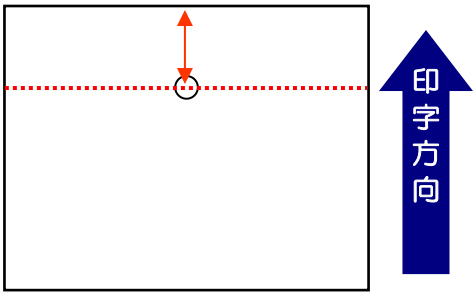
用紙セットが正しく行われているにも関わらず、想定される位置よりずれて印字されてしまった場合、補正値を入力することで、印字位置を調整することができます。
縦は＋（プラス）値で下へ、－（マイナス）値で上へ、
横は＋（プラス）値で右へ、－（マイナス）値で左へ移動します。





- **カット位置とは（タグ選択時のみ）**

  タグのセンターホールの中心点からカット位置までの距離です。



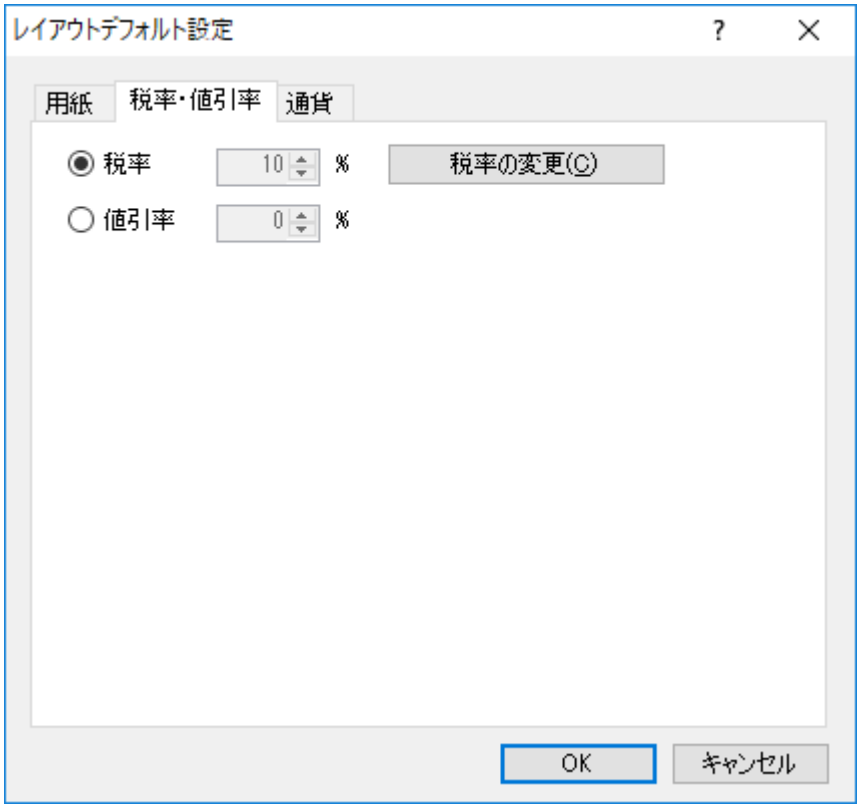
- **排出カットとは**

  印字終了時にプリンタ内部にある「印字された用紙」を紙送りしカットする機能です。

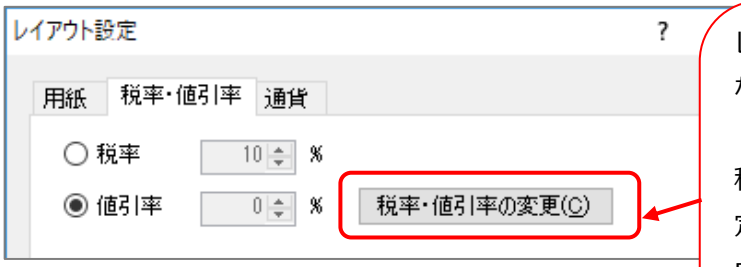
3-5 税率・値引率設定

- 税率・値引率

レイアウトの価格項目の計算方法を税計算にするか、割引計算にするかを設定します。
１つのレイアウトで、税計算か割引計算かどちらかの計算設定を行うことができます。
本画面で設定した値は、新規レイアウト作成時の初期値に反映されるため、予め基準値を設定しておくことで、レイアウト別に設定する手間が省けます。



設定項目	内容
税率	レイアウト内の価格項目で、税率計算設定が可能になります。 以下の値を算出することができます。 ①入力した値を本体価格として、税込み価格、税価格値の算出 ②入力した値を税込み価格として、本体価格、税価格値の算出
「税率の変更」ボタン	税率値の変更が可能です。税率の値は、整数のみです。
値引率	レイアウト内の価格項目で、値引率計算設定が可能になります。 入力した値を値引き前価格として、値引き後価格、値引き額の算出が行えます。

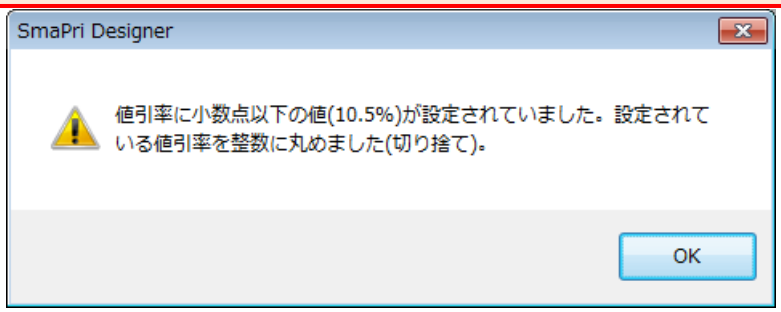


レイアウトの設定画面では、税率だけではなく、値引率の変更も可能です。

税率と違い、値引率はレイアウトごとに設定する値が異なることが多いため、レイアウトデフォルト設定画面では表示のみとしています。

【注意】小数点以下の設定

旧バージョンで小数点以下の値が設定されていた場合、税率・値引率画面を表示時以下の警告メッセージが表示され、小数点以下は切り捨てにより丸められます。

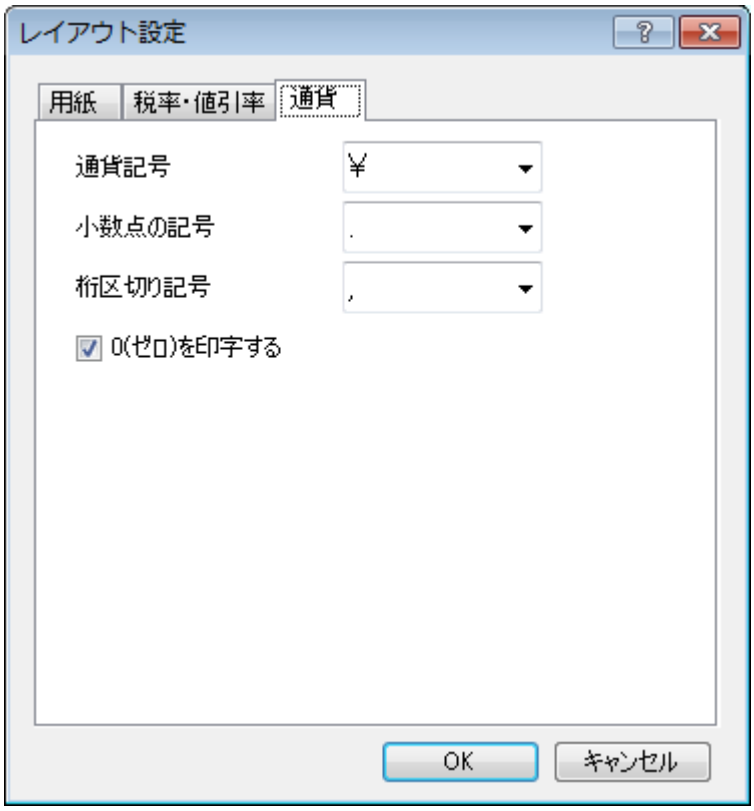


3-6 通貨設定

- 通貨設定

レイアウトの価格項目の通貨記号をはじめとした表示記号を設定します。

初期値は、パソコンで設定されている通貨記号となります。



設定項目	内容
通貨記号	「¥」「$」「€」から選択するか、 ５文字以内で任意の文字を入力することも可能です。
小数点の記号	「.」（ピリオド）「,」（カンマ）から選択するか、 ３文字以内で任意の文字を入力することも可能です。
桁区切り記号	「.」（ピリオド）「,」（カンマ）「 」（半角スペース）から選択するか、 ３文字以内で任意の文字を入力することも可能です。
0(ゼロ)を印字する	価格オブジェクトに 0 が指定された場合に「¥0」と印字します。 チェックをはずすと「¥0」を印字せず、空白になります。

第４章

データウィンドウ解説

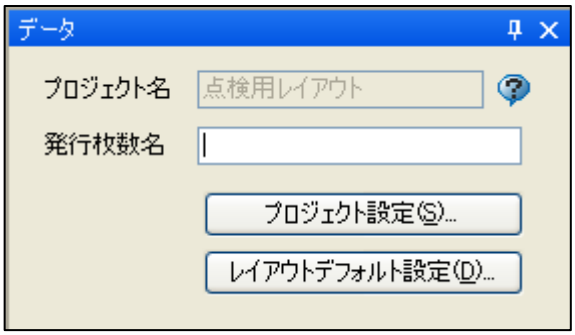
4-1 ファイルプロパティ

- プロジェクト　- グループ　- 発行レイアウト　- テーブル

- プロジェクト

プロジェクト情報の設定を行う画面です。

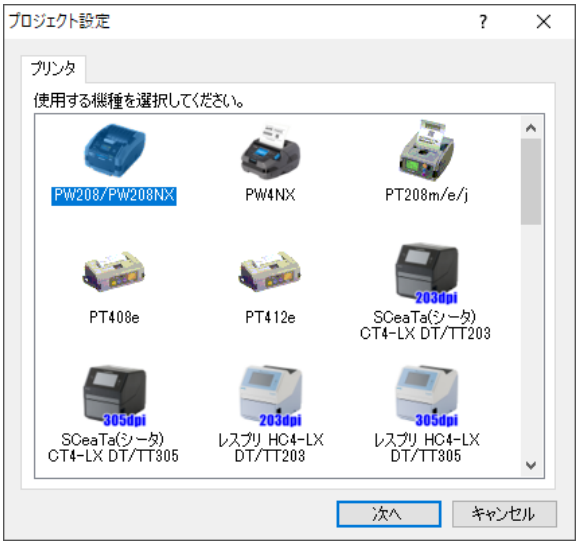
プロジェクト全体の設定や、新規レイアウト作成時の初期値を設定できます。



設定項目	内容
プロジェクト名	保存したファイル名をプロジェクト名として表示します。
発行枚数名	発行枚数に使用する項目名を設定します。未入力の場合は「(発行枚数)」となります。16 桁以内の名称にしてください。
「プロジェクト設定」ボタン	「プロジェクト設定画面」を開きます。
「レイアウトデフォルト設定」ボタン	「レイアウトデフォルト設定画面」を開きます。

- **プロジェクト設定画面**

  プロジェクト全体の設定を行います。



プリンタタブ

データを作成するプリンタ種を選択します。

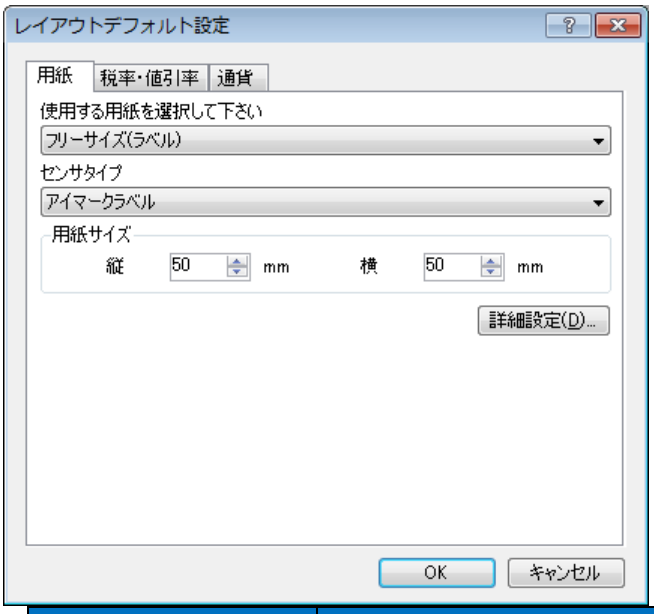
プリンタ機種を変更すると、レイアウトに設定しているフォント等が変更されることがあります。

プリンタ機種を変更後は必ずレイアウトを開き、内容を確認してください。

- **レイアウトデフォルト設定画面**

新規にレイアウトを行う場合の初期値を設定します。

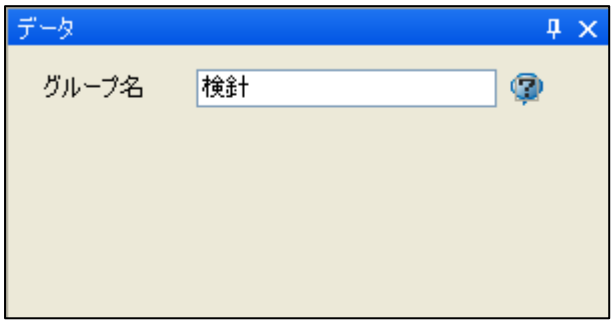
> **【注意】レイアウトの設定**
> 既存のレイアウトの設定を変更する場合は、「レイアウト設定」から個別に設定を行ってください。「レイアウトデフォルト設定」からの設定は既存のレイアウトには反映されません。



設定項目	内容
「用紙」タブ	用紙設定画面を開きます。
「税率・値引率」タブ	税率・値引率の設定画面を開きます。
「通貨」タブ	通貨記号、小数点記号、桁区切り記号の設定画面を開きます。

- グループ

呼出しデータ（発行レイアウト）グループの情報の設定を行う画面です。



グループ名

グループ名称を設定します。

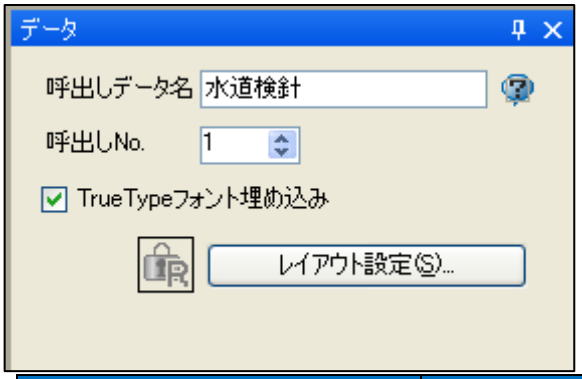
> **【注意】グループ名**
> グループ名は SmaPri Designer 上の管理で使用します。発行時等には反映されません。

- 発行レイアウト

発行レイアウト情報の設定を行います。

設定値は、編集中のレイアウトに反映されます。

発行レイアウトは、**一つのプロジェクトで 200 件**まで登録が可能です。



設定項目	内容
呼出しデータ名	呼出しデータ（発行レイアウト）の名称を設定します。32 桁まで入力できます。
呼出し No.	呼出しデータ（発行レイアウト）の番号を設定します。 発行時にデータを呼び出す番号(__format_id_number)になります。
TrueType フォント埋め込み	入力方法が「発行時入力」の「文字」オブジェクトで、TrueType フォントが使うことができます。「参照・結合」では使えません。
「読み取り専用」ボタン	変更内容の上書きを禁止します。
「レイアウト設定」ボタン	レイアウト設定画面（用紙情報、税率・値引率設定）を開きます。

- **TrueType フォント埋め込み機能について**

  SmaPri Designer 上で指定した Windows フォントをフォーマットファイルに含めることで、発行時にデータ入力をする「文字」オブジェクトで Windows フォントが利用できる機能です。

【注意】プレビューと印字結果

SmaPri Designer が動作する Windows と、発行する端末の OS の違いにより、指定したフォント種や入力した文字によってプレビューと印字結果が異なるケースがあります。運用前に必ず事前に印字確認を行ってください。

プレビューと印字結果が異なるケースの一例

1. 自動改行機能を使った場合、プレビューと印刷結果の改行位置が異なる。
2. 入力した文字が指定したフォントに含まれない場合、代替フォントで印刷されるか文字化けする。

シンボルフォントなど特殊なフォントを使用した場合、プレビューと印字結果の文字形状が異なる。

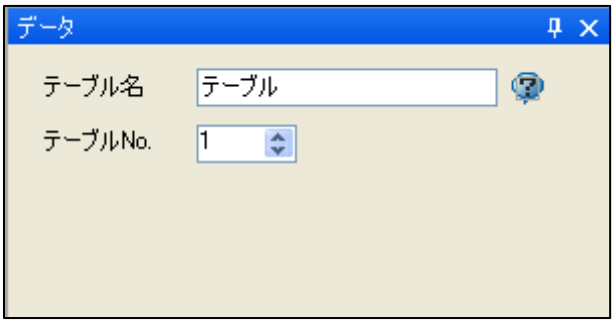
例）フォント種「Symbol」で「a」を入力した場合、プレビューは「α」と表示されますが、印字結果は「a」となります。

- テーブル

テーブル情報の設定を行います。

テーブルは、**一つのプロジェクトで 99 テーブル**まで登録が可能です。

登録件数は、テーブルが **1 テーブル 1000 件**、グラフィックテーブルが **1 テーブル 5 件**です。



テーブル名

テーブルの名称を設定します。

テーブルNo.

テーブル番号を設定します。

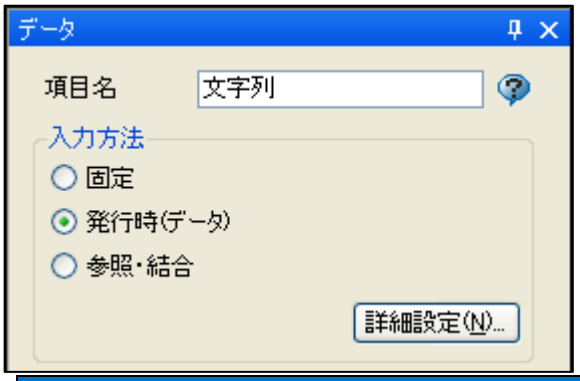
グラフィックテーブルの場合は、テーブル No.100 固定です。

4-2 オブジェクトプロパティ

- 文字列　- 価格　- バーコード　- 日時　- 連番

- 文字列オブジェクト

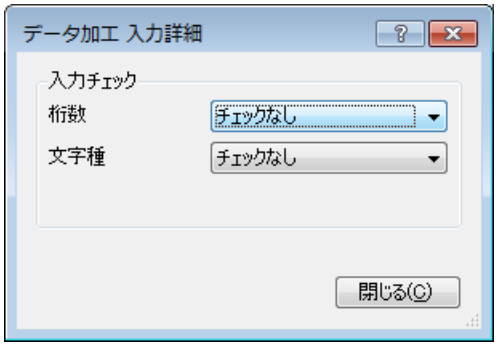
文字列オブジェクトの各種設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。16 桁まで設定可能です。 入力方法が「発行時(データ)」の場合、「入力項目名」として扱われます。 「データ」に値がない場合、デザイン画面上に青文字で「**(項目名)**」と表示されます。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を利用します。
発行時(データ)	発行時に入力された値を利用します。 「データ」にセットされた値は「初期値」として利用されます。
参照・結合	レイアウト上のオブジェクトを参照したり、固定値を入力したり、複数の項目を結合した値を利用します。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **入力方法（発行時(データ)の場合）-詳細設定画面**

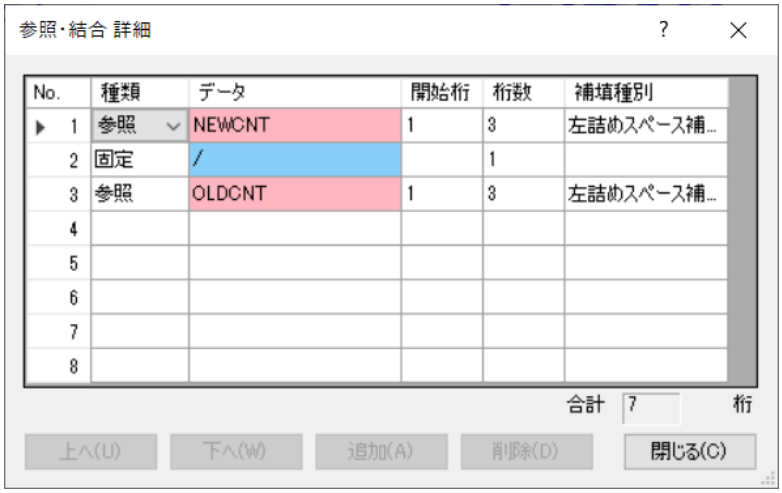
  入力時の入力データのチェック方法を設定します。



設定項目	
入力チェック	
桁数	チェックなし、桁数必須入力、入力必須（未入力禁止）、0 入力禁止のいずれかを設定できます。
文字種	チェックなし、数字のみ、英字・記号のみ、カナのみ、英数字・記号のみ、カナ・数字のみ、カナ・英字・記号のみのいずれかを設定できます。

- **入力方法（参照・結合の場合）-詳細設定画面**

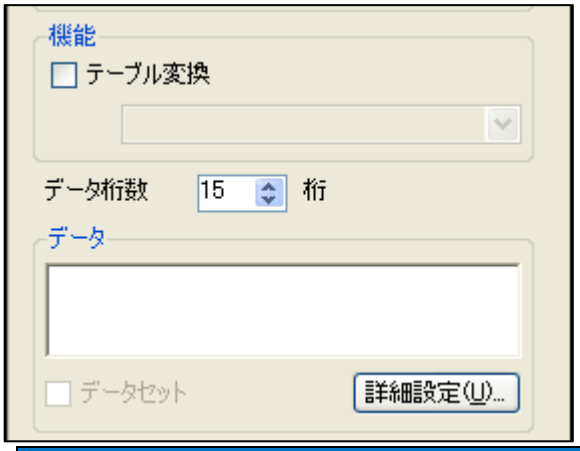
  データの参照・結合設定の内容を設定します。



設定項目	内容
種類	結合するデータの種類を選択します。 **固定：**固定の文字列を結合します。「データ」に文字列を入力します。 **参照：**他のオブジェクトの値をコピーして結合します。
データ	セットするデータを選択（参照時）または入力（固定時）します。
開始桁	参照元のデータの何桁目からコピーするかを指定します。
桁数	参照元のデータの「開始桁」から何桁分をコピーするかを指定します。 コピーする値は、参照元のデータが常に左詰めスペース補填された値になります。
補填種別	参照したデータが桁数に満たなかった場合の、桁の補填方法を指定します。

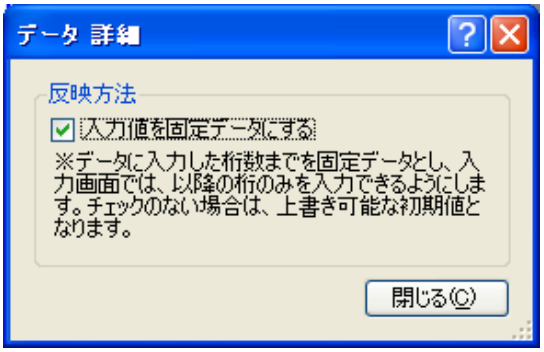
- **補填種別の項目**

補填種別	補填方法	例
補填しない	入力桁数に満たない場合は、実データのままとなります。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120
左詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの後ろに桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120△△（△は半角スペース）
右詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力：120 ⇒　△△120（△は半角スペース）
右詰め 0 補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「0」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力 120 ⇒　00120

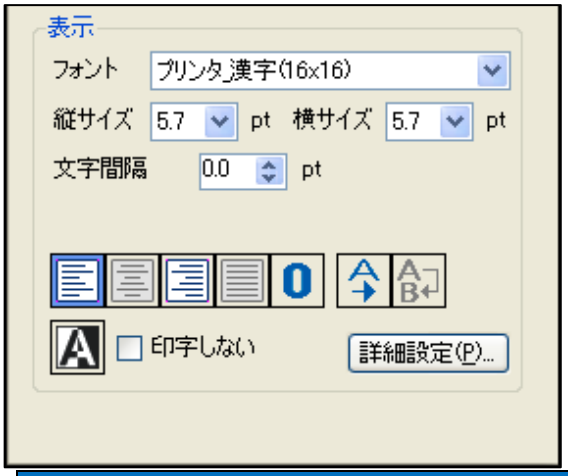


設定項目	
機能	
テーブル変換	該当項目を変換テーブルに設定します。 プロジェクト内のテーブルをリストボックスから選択し、参照するテーブル No.を指定します。
データ桁数	入力方法「発行時(データ)」の場合に、データの最大桁数を指定します。最大値は 1000 桁です。「テーブル変換」使用時は入力方法に関係なく、テーブル変換後の値の最大桁数を指定します。
データ	
データ	項目にデータをセットします。 入力方法「固定」の場合は、セットされたデータがそのまま印字されます。 入力方法「発行時(データ)」の場合は、発行時の入力項目の初期値として利用されます。（詳細設定で「入力値を固定データにする」設定時は固定値となります。） 「テーブル変換」使用時は、セットされたデータをキーとして変換された値が印字されます。
データセット	※SmaPri Designer では使用不可
「詳細設定」ボタン	入力方法「発行時(データ)」の場合に、詳細設定画面を表示します。

- **データ-詳細設定画面**

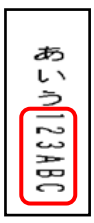


設定項目
反映方法
入力値を固定データにする
「データ」に入力した値を初期値ではなく固定データとして利用します。「データ」で設定した値以降の入力が可能です。 例として、「データ桁数」で 10 桁を設定し、「データ」に 5 桁の入力があった場合、発行時に入力できる桁数は残りの 5 桁になります。



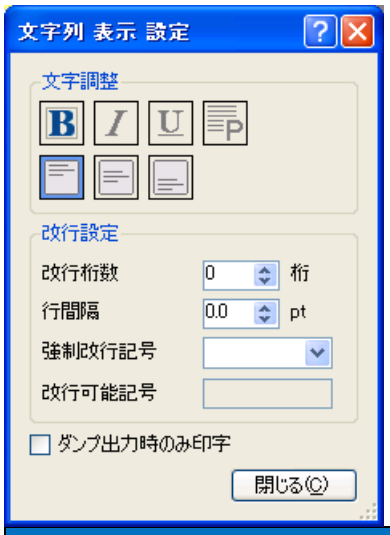
設定項目	
表示	
フォント名	フォントの種類を選択します。 名称が「プリンタ_ｘｘｘｘ」となっているものはサトーのプリンタフォントとなります。使用できる文字はフォント種によって異なります。
縦サイズ	フォントの縦サイズをポイントで指定します。
横サイズ	フォントの横サイズをポイントで指定します。
文字間隔	文字間隔をポイントで指定します。
左寄せ	指定された桁数に満たない場合に文字を左寄せします。
センタリング	指定された桁数に満たない場合に文字を中央寄せします。 フォントの種類に Windows フォントを設定しているときに指定できます。
右寄せ	指定された桁数に満たない場合に文字を右寄せします。 プロポーショナルフォントは、データの内容によって右端の位置が異なります。
0 補填	指定された桁数に満たない場合に文字に 0 補填します。 0 を補填する位置は、左寄せの場合はデータの終わりに付加、右寄せの場合はデータの始めに 0 が付加されます。 例）データ桁数 5 桁、右寄せ、0 補填、データ「120」　⇒　「00120」
横書き/縦書き※	横書きと縦書きを切替ます。フォントによっては指定できません。
改行	指定された領域内で改行するかどうかを指定します。
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

※ 縦書き時、Designer 上の半角の数字、英字、記号は実際の印字とは異なり、横に倒した表示となります。



※ Windows フォントで「TrueType フォント埋め込み機能」を使用している場合は、縦書きは使用できません。

- **文字列表示設定-詳細設定画面**



設定項目	
文字調整： 一文字ごとではなく項目単位での指定になります。 プリンタ種、文字種によって操作できる内容が異なります。	
ボールド※	文字を太文字にします。
イタリック※	文字を斜体にします。
下線	文字の下に下線を引きます。
プロポーショナル	文字間隔を文字ごとの横サイズで詰めます。
上寄せ	印字指定領域の上方に寄せます。
上下中央寄せ	印字指定領域の中央に寄せます。
下寄せ	印字指定領域の下方に寄せます。
改行設定	
改行桁数※	改行桁数を指定します。
行間隔	改行した際の前行との文字間隔を指定します。
強制改行記号	項目内のデータに指定した記号があった場合に改行します。 強制改行記号は 2 文字以上の組み合わせの指定も可能です。 指定した文字は印字データには反映されません。
改行可能記号	セットされた値を改行タイミングの目安とします。桁数、領域の範囲でも値と値に挟まれた単語が次の行にまたがる場合は、前の単語の終了時に事前に改行を行います。 改行可能記号の使用は、「自動改行」 や、改行桁数  で改行をする設定にした場合に有効となります。

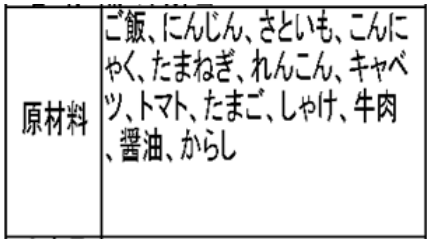
※ Windows フォント指定、かつ TrueType フォント埋め込み機能を使用している場合は、改行桁数は使用できません。また、ボールドとイタリックはフォント自体が対応していない場合は設定できなくなります。

- **改行設定詳細について**

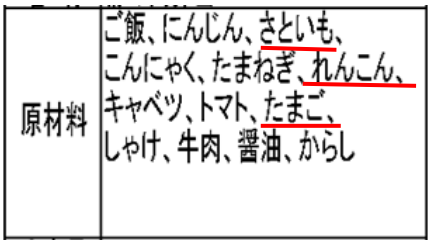
  改行設定の方法によって以下の様に動作します。

  ご飯、にんじん、さといも、こんにゃく、たまねぎ、れんこん、キャベツ、トマト、シャケ、牛肉、醤油、からし

  改行桁数で「32 文字(全角 16 文字)」を指定すると・・・・

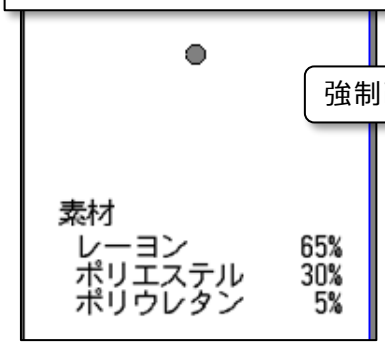
  

  改行可能文字で「、」を指定すると・・・・

  レーヨン　65%¥n ポリエステル　30%¥n ポリ

  強制改行記号を「¥n」に指定する

- **改行機能の条件について**

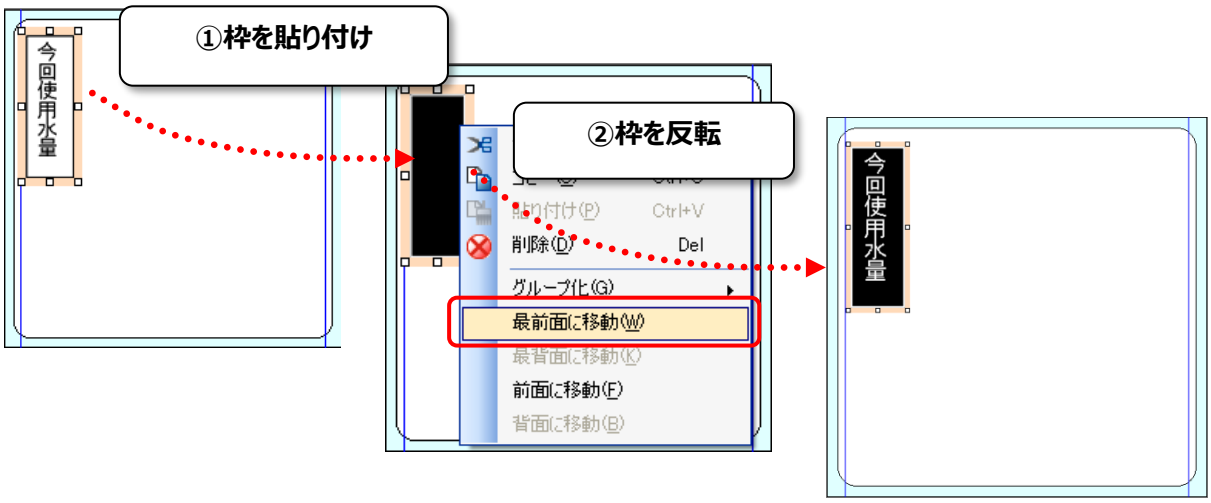
  改行の各設定は、フォントの種類や入力方法によって変わります。

フォント種類	TrueType フォント埋め込み	入力方法	自動改行	改行桁数	強制改行記号	改行可能記号
プリンタフォント	-	固定	有効	有効	有効	使用可能
		発行時データ	有効	無効	有効	使用不可
		参照・結合	有効	無効	有効	使用不可
Windows フォント	無効	固定	有効	有効	有効	使用可能
		発行時データ				
		参照・結合				
	有効	固定	有効	無効	有効	使用可能
		発行時データ	有効	無効	有効	使用可能
		参照・結合				

- **白黒反転について**

  白黒反転は指定したオブジェクトの範囲に対して有効です。

  白黒反転する領域を任意に指定したい場合は、枠線を貼り付けて白黒反転させます。



枠線は右クリックのメニューで最前面に設定してください。

- 価格オブジェクト

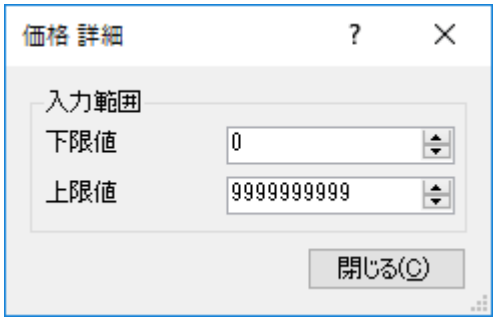
価格オブジェクトの各種設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を利用します。
発行時(データ)	発行時に入力された値を利用します。 「データ」にセットされた値は「初期値」として利用されます。
参照	別の「価格」オブジェクトの税計算・割引計算結果を参照します 参照可能な項目は、価格計算機能が有効になっている「価格」オブジェクトのみです。
「詳細設定」ボタン	入力方法「発行時(データ)」の場合に、詳細設定画面を表示します。

- **価格-詳細設定画面**

  入力範囲を設定します。



設定項目	
入力範囲	
下限値	入力の最小値を設定します。
上限値	入力の最大値を設定します。



設定項目	
データ桁数	「発行時(データ)」のデータの最大入力桁数を指定します。最大桁数は 10 桁です。 小数点以下の数値を入力する場合は、小数点も桁数に含めて指定します。 ¥,補填する分の桁数は考慮する必要ありません。
データ	
データ	項目にデータをセットします。 入力方法「固定」の場合は、セットされたデータがそのまま印字されます。 「発行時(データ)」の場合は、発行時の入力項目の初期値として表示されます。 「表示」の「詳細設定」で小数点位置を 1 以上に設定した場合、小数点の入力が可能です。
データセット	※この項目は SmaPri Designer では使用できません。



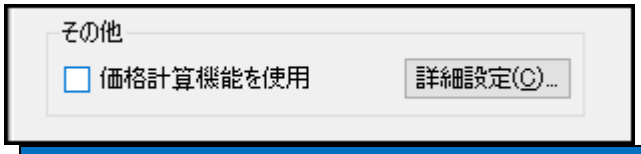
設定項目	
表示	
フォント名	フォントの種類を選択します。名称が「プリンタ_ｘｘｘｘ」となっているものはサトーのプリンタフォントとなります。使用できる文字がフォント種によって異なります。
縦サイズ	フォントの縦サイズをポイントで指定します。
横サイズ	フォントの横サイズをポイントで指定します。
文字間隔	文字間隔をポイントで指定します。
通貨書式	価格の通貨書式を設定します。
左寄せ	指定された桁数に満たない場合に、文字を左寄せします。
右寄せ	指定された桁数に満たない場合に、文字を右寄せします。 プロポーショナルフォントは、データの内容によって右端の位置が異なります。
0 補填	設定不可。
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **価格表示-詳細設定画面**

  価格項目の詳細設定を行います。



設定項目	
文字調整： 一文字ごとではなく項目単位での指定になります。 プリンタ種、文字種によって操作できる内容が異なります。	
ボールド	文字を太文字にします。
イタリック	文字を斜体にします。
下線	文字の下に下線を引きます。
プロポーショナル	文字間隔を文字ごとの横サイズで詰めます。
上寄せ	印字指定領域の上方に寄せます。
上下中央寄せ	印字指定領域の中央に寄せます。
下寄せ	印字指定領域の下方に寄せます。
通貨書式(ユーザ定義)： 通貨書式を変更した場合は、通貨書式リストの選択内容が「(ユーザ定義)」に変更されます。	
通貨記号補填	通貨記号を補填する位置を設定します。
桁区切り	桁区切りのあり・なしを設定します。
小数点位置	小数点の位置を設定します。



設定項目	
その他	
価格計算機能を使用	他の「価格」オブジェクトから参照する際に、価格計算機能を有効にします。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **価格計算-詳細設定画面**

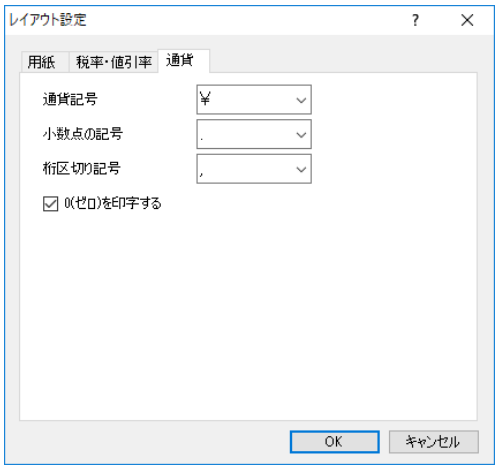
  価格計算機能を設定します。



設定項目	
価格計算	
計算処理	計算処理方法を設定します。 設定項目は「レイアウト設定」の「税率・値引率」の設定で異なります。 「税率」の場合　：「なし」、「税込み」、「税抜き」 「割引率」の場合　：「なし」、「パーセント引き」
端数処理	税率・割引率計算時の端数処理方法を設定します。
端数処理桁数	端数処理丸めを行う時の桁数を設定します。
税率／割引率	レイアウトで設定中の税率、割引率を表示します。

- **価格の「通貨記号」「桁区切り記号」「小数点の記号」について**

  各項目の値は「レイアウト設定」の「通貨」タブで指定されている値が表示されます。変更したい場合は、上記通貨タブで値を変更してください。



- バーコードオブジェクト

バーコードオブジェクトの設定を行う画面です。

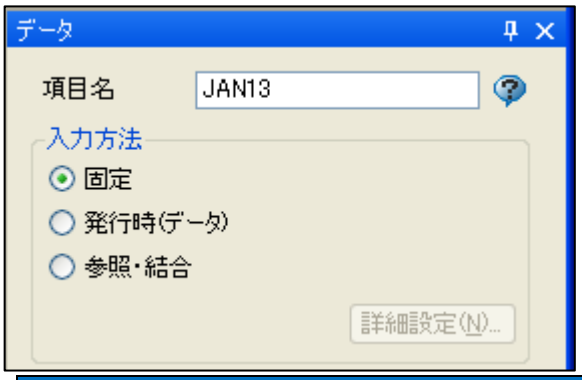
TIPS

・桁数可変のバーコードを作成する方法

「5-15. 桁数可変のバーコードを作成する」を参照してください。

・QR コードに改行コードを含める方法

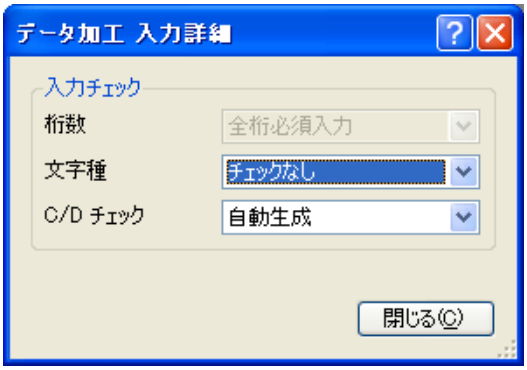
「5-16. QR コードのデータに改行コードを含める」を参照してください。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を利用します。
発行時(データ)	発行時に入力された値を利用します。 「データ」にセットされた値は「初期値」として利用されます。
参照・結合	レイアウト上のオブジェクトを参照したり、固定値を入力したり、複数の項目を結合した値を利用します。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **入力方法（発行時(データ)の場合）-詳細設定画面**

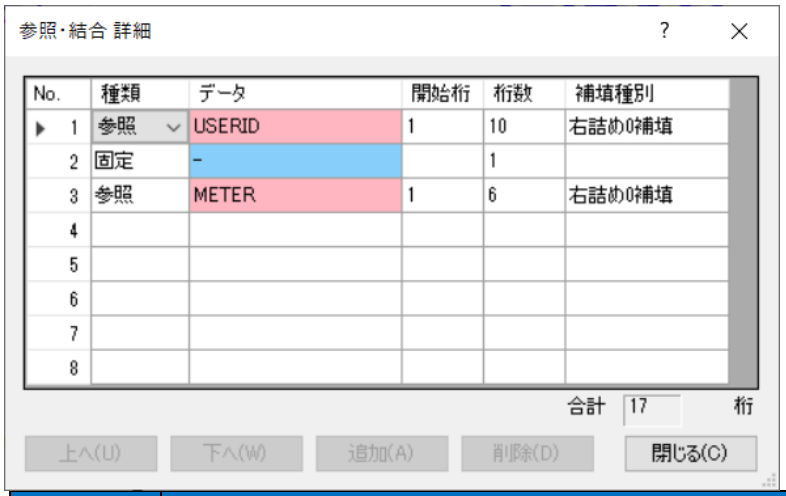
  入力時のチェック設定を行います。



設定項目	
入力チェック	
桁数	桁数必須入力、入力必須（未入力禁止）、0 入力禁止のいずれかを設定できます。
文字種	チェックなし、数字のみ、英字・記号のみ、英数字・記号のみのいずれかを設定できます。
C/D チェック	なし、自動生成、入力データと照合のいずれかを設定できます。 ※C/D 設定ができないバーコード種もあります。

- **入力方法（参照・結合の場合）-詳細設定画面**

  データの参照・結合設定を行います。

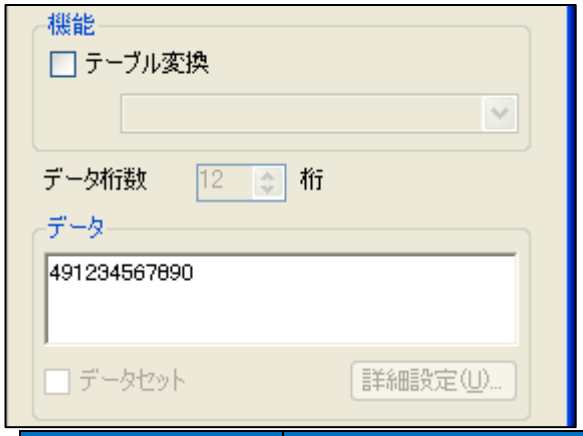


設定項目	内容
種類	結合するデータの種類を選択します。 **固定：**固定の文字列を結合します。「データ」に文字列を入力します。 **参照：**他のオブジェクトの値をコピーして結合します。 **バイナリ（QR コードのみ）：**バイナリデータを結合します。「データ」に 16 進数で入力します。
データ	セットするデータを選択（参照時）または入力（固定時）します。
開始桁	参照元のデータの何桁目からコピーするかを指定します。
桁数	参照元のデータの「開始桁」から何桁分をコピーするかを指定します。 コピーする値は、参照元のデータが常に左詰めスペース補填された値になります。

補填種別	参照したデータが桁数に満たなかった場合の、桁の補填方法を指定します。

- **補填種別の項目**

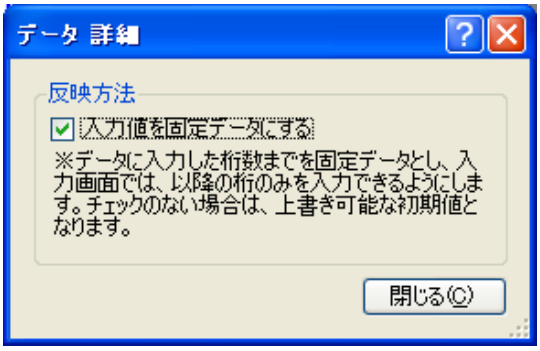
補填種別	補填方法	例
補填しない	入力桁数に満たない場合は、実データのままとなります。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120
左詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの後ろに桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120△△（△は半角スペース）
右詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力：120 ⇒　△△120（△は半角スペース）
右詰め 0 補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「0」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力 120 ⇒　00120



設定項目	内容
機能	
テーブル変換	該当項目を変換テーブルに設定します。 プロジェクト内のテーブルをリストボックスから選択し、参照するテーブル No.を指定します。
データ桁数	入力方法「発行時(データ)」の場合に、データの最大入力桁数を指定します。最大値は 99 桁です。スタート/ストップコード、C/D 自動付加の桁数は含みません。 「テーブル変換」使用時は入力方法に関係なく、テーブル変換後の値の最大桁数を指定します。
データ	
データ	項目にデータをセットします。 入力方法「固定」の場合は、セットされたデータがそのまま印字されます。 入力方法「発行時(データ)」の場合は、発行時の入力項目の初期値として利用されま

	す。（詳細設定で「入力値を固定データにする」設定時は固定値となります。） 「テーブル変換」使用時は、セットされたデータをキーとして変換された値が印字されます。
データセット	※SmaPri Designer では使用不可
「詳細設定」ボタン	入力方法「発行時(データ)」の場合に、詳細設定画面を表示します。

- **データ-詳細設定**



設定項目
反映方法
入力値を固定データにする
「データ」に入力した値を初期値ではなく固定データとして利用します。「データ」で設定した値以降の入力が可能です。 例として、「データ桁数」で 10 桁を設定し、「データ」に 5 桁の入力があった場合、発行時に入力できる桁数は残りの 5 桁になります。

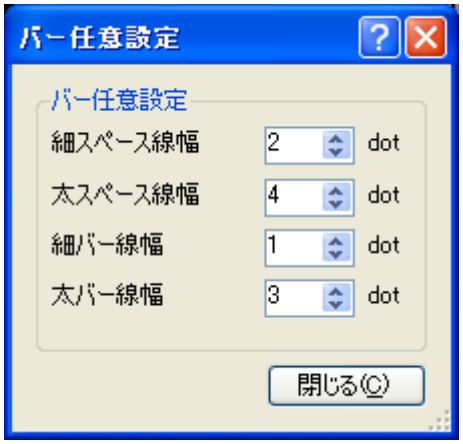


設定項目	
表示	
バーコード種	バーコードの種類を選択します。
高さ	バーコードの高さを指定します。 解説文字つきのバーコードの高さの指定方法はプリンタ機種によって異なります。
細バー幅	細バーの幅を指定します。
バー比率	バーコードの比率を設定します。

	比率を設定できるバーコードは、**CODE39**、**CODABAR**、**ITF** の 3 種類です。
「任意比率」ボタン	「バー任意設定」画面を表示します
解説文字付加	バーコードに解説文字の付加を有効にします。 バーコード種で解説文字付のバーコードを選択した場合は、チェックができません。
C/D 自動付加	チェックデジットの自動付加を有効にします。
スタートコード/ストップコード	スタートコード、ストップコードの設定を行います。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。
「詳細設定」ボタン	「バーコード表示詳細」画面を表示します。

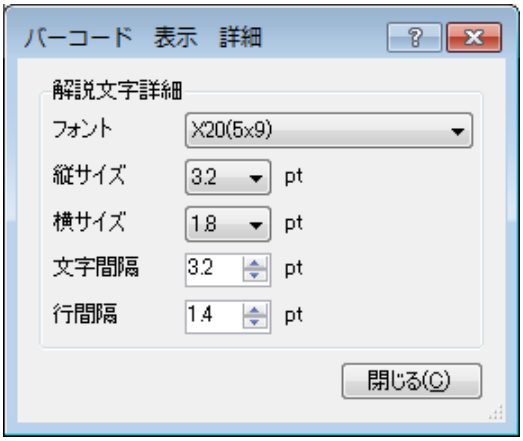
- **バー任意設定-詳細設定画面**

バー比率が設定可能なバーコードで任意比率を選択した場合に任意比率の構成を設定できます。



設定項目	
バー任意設定	
細スペース線幅	バーコードの細スペースの幅を指定します。
太スペース線幅	バーコードの太スペースの幅を指定します。
細バー線幅	バーコードの細バーの線幅を指定します。
太バー線幅	バーコードの太バーの線幅を指定します。

- **バーコード表示詳細-詳細設定画面**



設定項目	
解説文字詳細	
フォント	解説文字のフォント種を選択します。
縦サイズ	解説文字の縦サイズを設定します。
横サイズ	解説文字の横サイズを設定します。
文字間隔	解説文字の文字間隔を設定します。
行間隔	バーコードと解説文字の間隔を設定します。

- **バーコード、2 次元コードの種類について**

  SmaPri Designer で設定できる、バーコード、2 次元コードの種類と設定は以下の通りになります。

  CODABAR（NW-7）、CODE39 のスタートストップコード付加は必須です。

  CODABAR（NW-7）にチェックデジットを指定した場合は、数字のみ入力可能です。

名称	チェックデジット算出方法	スタートストップコード
CODABAR（NW-7）	7 チェック	A,B,C,D,E,N,T a,b,c,d,e,n,t
CODE39	モジュラス 43	*
ITF	モジュラス 10/ウェイト 3	–
JAN13/EAN13	モジュラス 10/ウェイト 3	–
JAN13/EAN13 価格 C/D 付き	モジュラス 10/ウェイト 3	–
JAN8/EAN8	モジュラス 10/ウェイト 3	–
UPC-A	モジュラス 10/ウェイト 3	–
UPC-E	専用モジュラス 10	–
ＣＯＤＥ128 A コード	- (モジュラス 103) ***1**	–
ＣＯＤＥ128 B コード	- (モジュラス 103) ***1**	–
ＣＯＤＥ128 C コード	- (モジュラス 103) ***1**	–
GS1-128（UCC/EAN128）	- (モジュラス 103) ***1**	–
GS1 DataBar Omni-Directional	モジュラス 10/ウェイト 3 ***2**	–
GS1 DataBar Stacked Omni-Directional	モジュラス 10/ウェイト 3 ***2**	–
QR コード（モデル 2）	–	–

***1：**チェックデジットはプリンタが自動付加します。データに付加する必要はありません。また、解説文字にチェックデジットは表示されません

***2：**GS1 DataBar Omni-Directional、GS1 DataBar Stacked Omni-Directional で設定できるチェックデジットは GTIN（商品識別コード）のチェックデジットになります。シンボル構成の確認のためのチェックデジットはプリンタが自動付加します。

- GTIN（商品識別コード）のチェックデジット（モジュラス 10/ウェイト 3）
- バーコードシンボルの構成が正しいかを確認するためのチェックデジット（モジュラス 79）

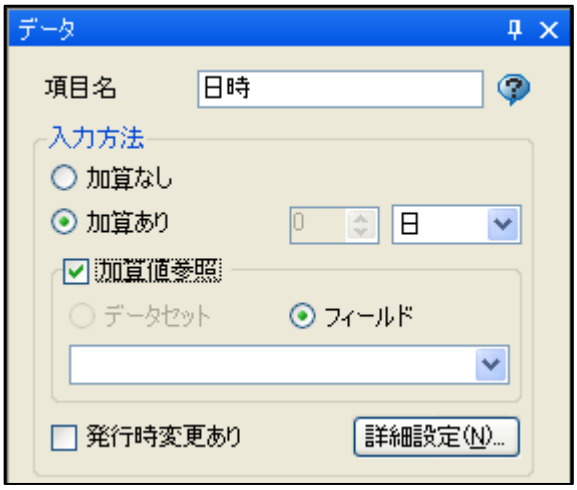
SmaPri Designer で作成できる UPC-A、UPC-E、標準カートン ID 専用 GS1-128 については、以下の仕様になります。該当するバーコードを利用する際には留意ください。

バーコード種	入力桁数	C/D 自動付加	データ加工・入力詳細設定	バーコードデータと解説文字
UPC-A	11 桁	常に ON	設定不可	バーコード：0 補填+入力 11 桁+C/D 解説文字：入力 11 桁+C/D
UPC-E	6 桁	常に ON	設定不可	バーコード：入力 6 桁+C/D 解説文字：0 補填+入力 6 桁+C/D

GS1-128	17 桁	常に ON	設定不可	バーコード 00 補填+入力 17 桁+C/D 解説文字（00）+入力 17 桁+C/D

- 日時オブジェクト

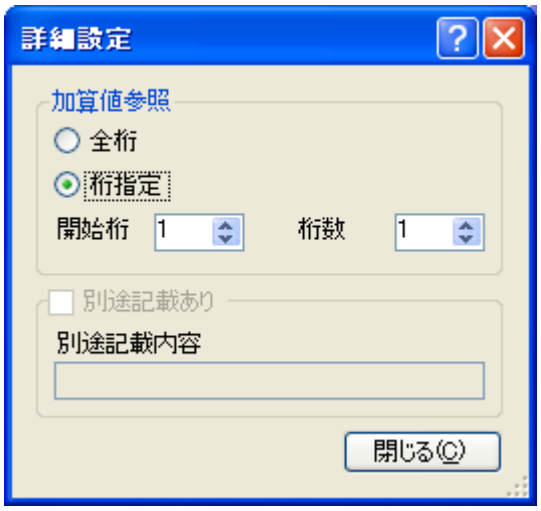
日時オブジェクトの各種設定を行う画面です。



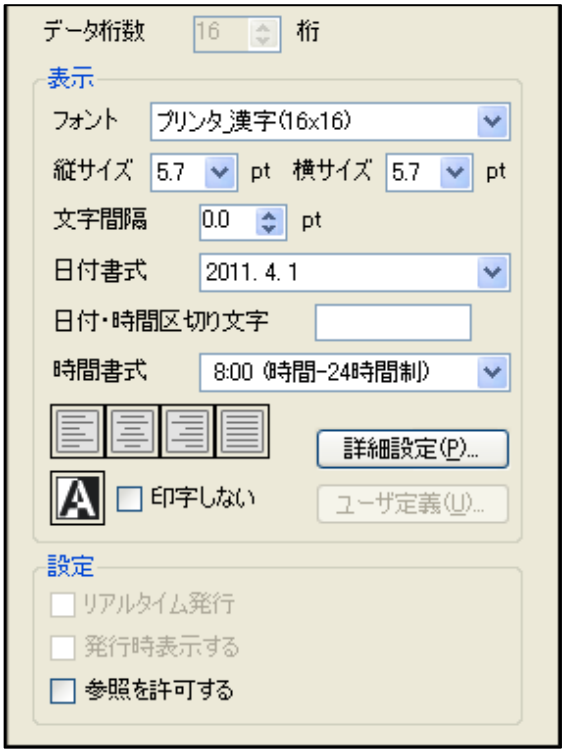
設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
加算なし	発行時に発行指示を行う端末の日付をそのまま印字します。
加算あり	発行時に発行指示を行う端末の日付に設定した値を加算して発行します。 消費期限、賞味期限の印字などに利用します。
加算値	「日時」オブジェクトの日付に加算する値を指定します。 最大値は「加算単位」によって、「年」が 9、「月」が 99、「日」および「時」が 999 です。
加算単位	年・月・日・時を選択します。
加算値参照	他フィールドに入力された情報を参照した値を加算して発行します。
データセット	※SmaPri Designer では使用不可
フィールド	「加算値参照」を有効にした場合に、参照対象とするフィールド項目名をリストから選択します。
発行時変更あり	発行時に加算値の変更が必要な場合に設定します。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **加算値参照-詳細設定画面**

加算値参照対象フィールドの参照桁数、別途記載の設定の有無、及び別途記載内容を設定します。



設定項目	
加算値参照	
全桁	加算値参照対象フィールドの値全桁を指定できます。
桁指定	加算値参照対象フィールドの任意の桁を指定できます。
別途記載あり	※SmaPri Designer では使用不可
別途記載内容	※SmaPri Designer では使用不可



設定項目	
データ桁数	表示の「日付書式」、「日付・時間区切り文字」、「時間書式」で設定した文字列の桁数から自動で算出されます。
表示	
フォント名	フォントの種類を選択します。 名称が「プリンタ_ｘｘｘｘ」となっているものは、サトーのプリンタフォントとなります。使用できる文字がフォント種によって異なります。
縦サイズ	フォントの縦サイズを倍率で指定します。
横サイズ	フォントの横サイズを倍率で指定します。

文字間隔	文字間隔をポイントで指定します。
日付書式	日付の書式を選択します。 リストからユーザ定義を選択した場合は、「ユーザ定義」ボタンが有効になります。
日付・時間区切り文字	日付表示、時間表示を区切るための文字を設定します。 初期値は「半角スペース」です。
時間表示	時間の書式を選択します。 リストからユーザ定義を選択した場合は、「ユーザ定義」ボタンが有効になります。
左寄せ	指定された桁数に満たない場合に文字を左寄せします。
センタリング	指定された桁数に満たない場合に文字を中央寄せします。 フォントの種類に Windows フォントを設定しているときに指定できます。
右寄せ	指定された桁数に満たない場合に文字を右寄せします。
均等	印字指定領域内に文字の横幅を合わせます。
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。
「詳細設定」ボタン	「書体・書式設定」の詳細設定画面を表示します。
「ユーザ定義」ボタン	「ユーザ定義」画面を表示します。
設定	
リアルタイム発行	※SmaPri Designer では使用不可
発行時表示する	※SmaPri Designer では使用不可
参照を許可する	別の項目からの参照を許可します。 詳細は「日時オブジェクトを参照する」をご参照ください。

- **書体・書式設定-詳細設定画面**



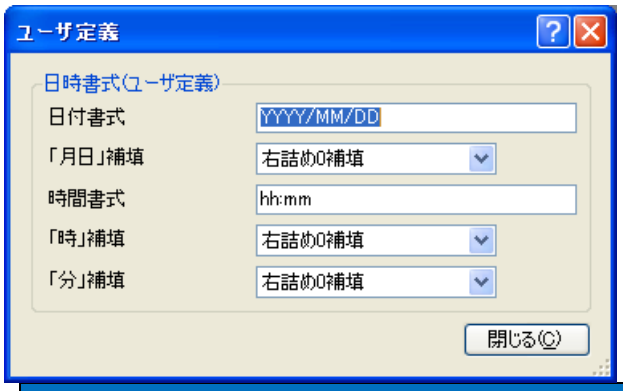
設定項目	
文字調整： 一文字ごとではなく項目単位での指定になります。 また、文字種によって操作できる内容が異なります。	
ボールド	文字を太文字にします。
イタリック	設定不可
下線	設定不可
プロポーショナル	設定不可
上寄せ	設定不可
上下中央寄せ	設定不可
下寄せ	設定不可

- **ユーザ定義**

日付書式、時間書式のユーザ定義を行います。

日付書式、時間書式で「ユーザ定義」を選択した場合のみ設定が可能になります。

設定可能な桁数は、日付、時、分、区切り文字あわせて 32 文字（全角 16 文字）以下です。



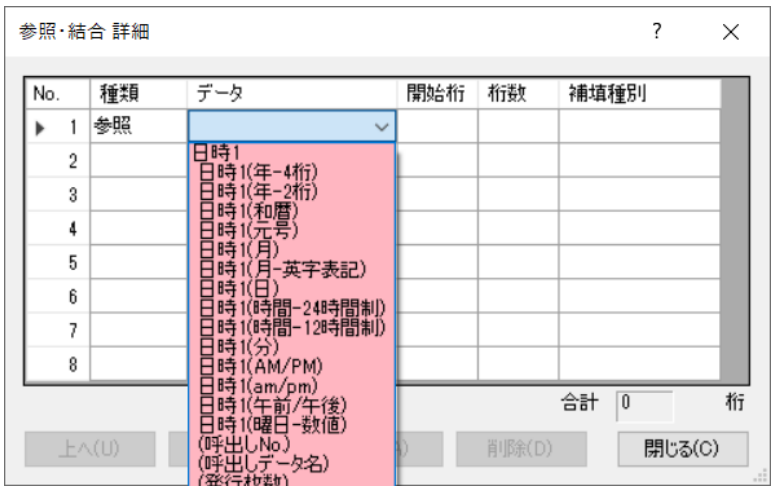
設定項目	
日時書式(ユーザ定義)	
日付書式	日付の書式を設定します。 日付書式は、以下の半角アルファベットと「/」や「年」などの単位と組み合わせて指定することが可能です。例外としてカンマは設定できません。 【利用可能な書式】 YY　：年(2桁) WW　：和暦(西暦+暦変換値の下2桁) gggg　：元号(4桁、ユーザ設定から取得) MM　：月 MMM　：月(英字表記) DD　：日
「月日」補填	1 桁時の月、日の補填方法を選択します。 年は YY の場合は 0 補填、WW の場合は補填なしのスペースで表示されます。 任意の指定はできません。
時間書式	時間書式は、以下の半角アルファベットと「:」や「時」などの単位と組み合わせて指定することが可能です。例外としてカンマは設定できません。 【利用可能な書式】 hh　：時(24時間制) HH　：時(12時間制) mm　：分 TT　：AM/PM tt　：am/pm TTTT　：午前/午後（漢字）
「時」補填	1 桁時の時の補填方法を選択します。
「分」補填	1 桁時の分の補填方法を選択します。

- **「日時」オブジェクトを参照する**

「設定」の「参照を許可する」を有効にすると、他のオブジェクトから「参照・結合」で、書式を選択しての参照が可能になります。バーコードなどに日時を表示させる場合に利用します。

参照を許可した場合のみ、元の日時オブジェクトの**「曜日」情報**を数字で取得可能です。

0：日曜、 1：月曜、 2：火曜、 3：水曜、 4：木曜、 5：金曜、 6：土曜



- **加算値を他オブジェクトから参照する**

加算値が「加算あり」、「別途記載なし」、「参照を許可する」の場合、他オブジェクトから加算値を参照することが可能です。

【参照できる他オブジェクト】

・文字列オブジェクト

・バーコードオブジェクト

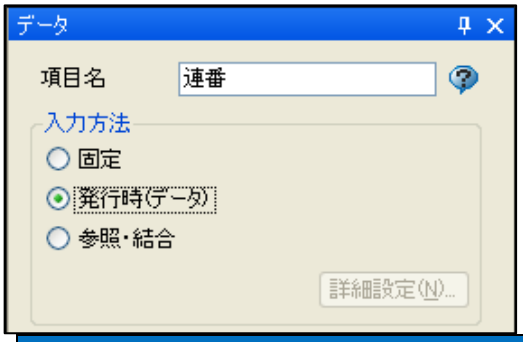
・日時オブジェクト（自分自身は不可）

・切替グラフィック（加算値をグラフィック登録番号として参照可能）

- 連番オブジェクト

連番オブジェクトの各種設定を行う画面です。連番は、1 ずつの加算、もしくは減算の設定が可能です。

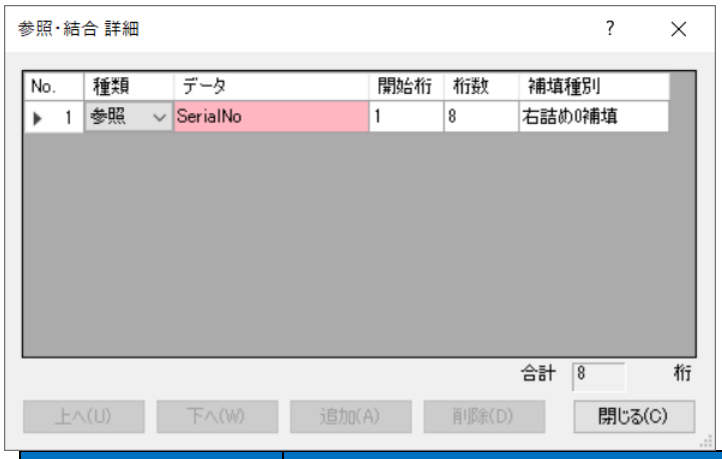
連番は一つのレイアウトに 8 項目まで設定が可能です。



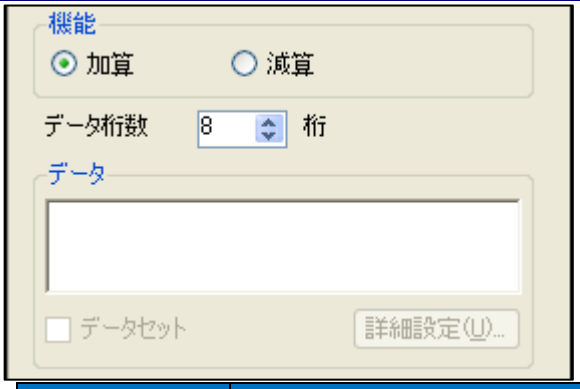
設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を連番の初期値に利用します。
発行時（データ）	発行時に入力（変更）可能なデータに設定されます。 「データ」にセットされた値は連番開始値として、発行時の画面に表示されます。
参照・結合	別項目の値を連番の開始値として参照します。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **入力方法（参照・結合）-詳細設定画面**

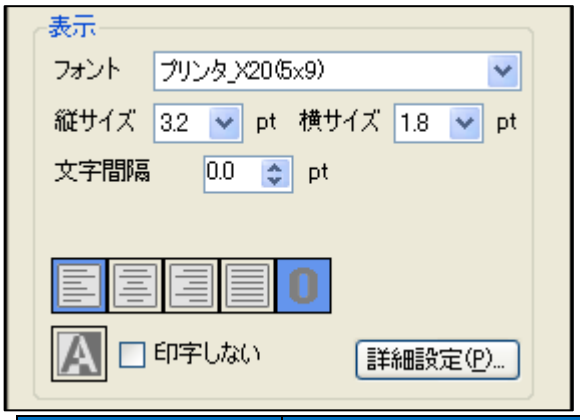
  データの参照・結合設定の内容を設定します。



設定項目	内容
種類	結合するデータの種類を選択します。「参照」のみ選択可能です。
データ	セットするデータを選択します。 「文字列」オブジェクトで入力方法「発行時(データ)」、入力チェックの文字種「数字のみ」が設定された項目のみ参照可能です。
開始桁	参照元のデータの何桁目からコピーするかを指定します。
桁数	参照元のデータの「開始桁」から何桁分をコピーするかを指定します。 コピーする値は、参照元のデータが常に左詰めスペース補填された値になります。
補填種別	変更できません。「右詰め 0 補填」になります。



設定項目	内容
機能	
加算／減算	加算連番か、減算連番かを設定します。
データ桁数	「発行時(データ)」のデータの最大入力桁数を指定します。最大値は 8 桁です。
データ	
データ	項目に対するデータをセットします。 入力方法「固定」の場合は、セットされたデータが「連番開始値」となります。 「発行時(データ)」の場合は、発行時の入力画面上に連番の開始値として表示されます。
データセット	※SmaPri Designer では使用不可



設定項目	内容
表示	
フォント名	フォントの種類を選択します。 名称が「プリンタ_ｘｘｘｘ」となっているものは、サトーのプリンタフォントとなります。使用できる文字がフォント種によって異なります。
縦サイズ	フォントの縦サイズをポイントで指定します。
横サイズ	フォントの横サイズをポイントで指定します。
文字間隔	文字間隔をポイントで指定します。
左寄せ	設定不可
センタリング	設定不可
右寄せ	設定不可（常に有効）
均等	設定不可

0 補填	設定不可（常に有効）
白黒反転	設定不可
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。
「詳細設定」ボタン	「書体・書式設定」を表示します。

- **書体・書式設定-詳細設定画面**



設定項目	
文字調整： 一文字ごとではなく項目単位での指定になります。 また、文字種によって操作できる内容が異なります。	
ボールド	設定不可
イタリック	設定不可
下線	文字の下に下線を引きます。
プロポーショナル	文字間隔を文字ごとの横サイズで詰めます。
上寄せ	印字指定領域の上方に寄せます。
上下中央寄せ	印字指定領域の中央に寄せます。
下寄せ	印字指定領域の下方に寄せます。

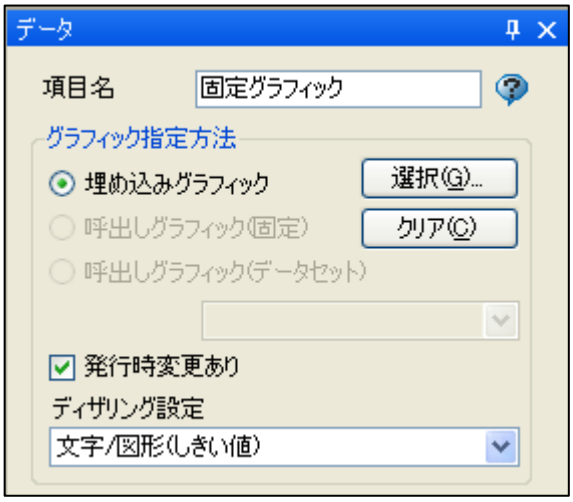
- **他オブジェクトからの連番オブジェクト参照について**

  連番オブジェクトの値は、「文字列」オブジェクトまたは「バーコード」オブジェクトからのみ参照可能です。参照する際は条件や制限がありますので、以下の点にご注意ください。

オブジェクト種 / 条件及び制限	文字列オブジェクト	バーコードオブジェクト
フォント種	漢字以外のフォントを設定	漢字以外のフォントを設定
参照・結合画面での連番複数参照	不可	不可
連番を参照している項目を参照（2 次参照）	不可	不可

- 固定グラフィックオブジェクト

固定グラフィックオブジェクトの各種設定を行う画面です。

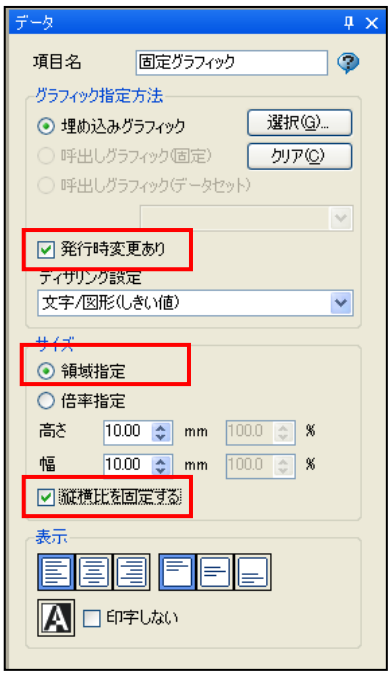


設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
グラフィック指定方法	
埋め込みグラフィック	「選択」ボタンからレイアウトに埋め込むファイルを指定して、デザイン画面に貼り付けます。 選択したグラフィックがカラーの場合は、 ディザリング方法を指定の上取りこみます。  埋め込まれたグラフィックはツールに取り込みます。 元のファイルを削除しても、グラフィックは消えません。
クリア	埋め込んだグラフィックや、固定グラフィック貼り付け時の初期値である「SATOロゴ」のグラフィックをクリアし、何も指定されていない状態にします。
呼出しグラフィック(固定)	※SmaPri Designer では使用不可
呼出しグラフィック(データセット)	※SmaPri Designer では使用不可
発行時変更あり	発行時に発行端末内にあるグラフィックを指定して発行します。
ディザリング設定	発行時に取込むグラフィックがカラーの場合に白黒化する際のディザリング方法を選択します。 「文字／図形(しきい値)」 、「写真／イメージ(誤差拡散)」



設定項目	
サイズ	
領域指定	グラフィックデータを表示する領域を、高さ、幅で設定された値（mm）で指定します。
倍率指定	グラフィックデータのサイズの高さ、幅を%で指定します。元サイズを 100%とします。 グラフィックのサイズ変更は、デザイン画面上でオブジェクトのドラッグでも可能です。
縦横比を固定する	グラフィックデータの縦横比を変えずに表示します。 グラフィックの埋込み後に拡大／縮小する場合も縦横比を維持します。
表示	
左寄せ	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に左寄せします。
センタリング(横)	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に左右中央寄せします。
右寄せ	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に右寄せします。
上寄せ	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に上寄せします。
センタリング(縦)	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に上下中央寄せします。
下寄せ	指定された領域に画像のサイズが満たない場合に下寄せします。
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。

- **端末上のカメラやペイントソフトで取り込んだ画像データをラベル上に埋め込む場合の設定**



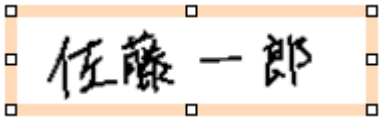
固定グラフィックの設定を以下のように設定してください。

「発行時変更あり＋領域指定＋縦横比を固定する」

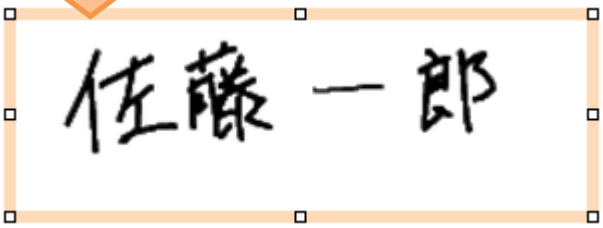
上記設定により、画像データの画素数が端末によって異なる場合や画像データの縦横比率が異なる場合であっても縦横比率を維持したまま領域内いっぱいに収めることが可能になります。

例）縦横比率の違う以下の 2 パターンの手書きサイン画像を
10mm×30mmの指定領域内で印字したい場合

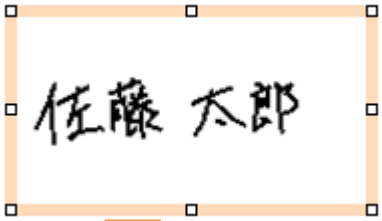
1）5mm×20mm の画像



領域内で最大となるオリジナルサイズの 1.5 倍に拡大します



2）10mm×20mmの画像



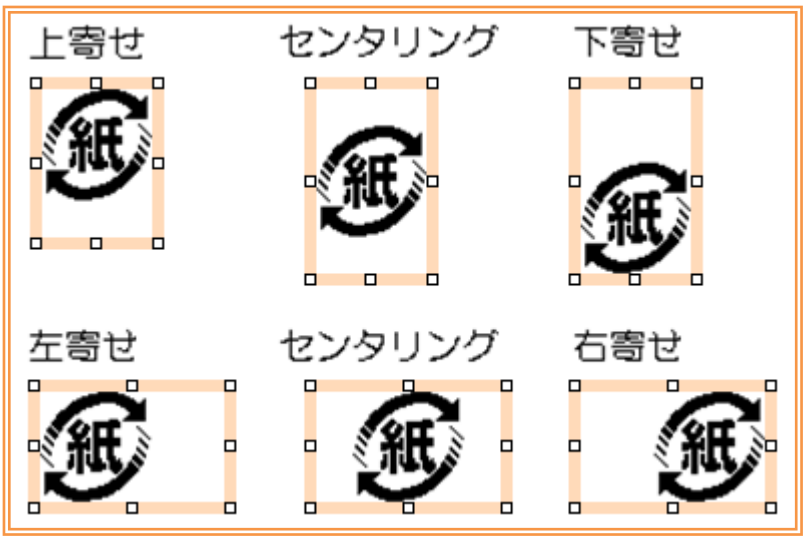
指定した領域と高さが同じため、オリジナルサイズのままとなります



また、グラフィック領域の縦横比率と取り込んだ画像データの縦横比率が異なる場合、垂直方向または水平方向に余白が発生します。

本余白は「表示」中のトグルボタンによって調整可能です。

「余白が発生した際の表示の調整例」



- **領域指定で縦横比固定設定の場合の画像データの表示の仕方**

  埋め込んだグラフィックデータ（または発行時に取込むグラフィックデータ）の元サイズの縦横比を維持しながら、指定された領域内で表示できる最大サイズに拡大／縮小して表示します。

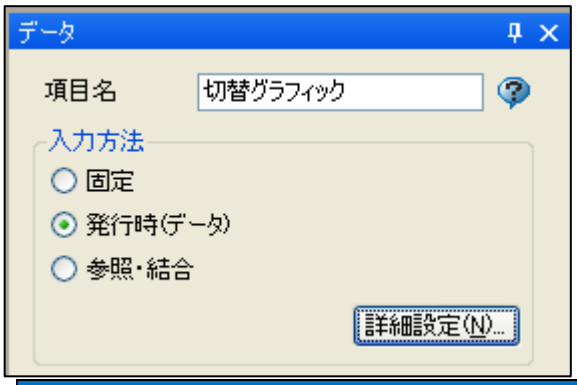
  例）元グラフィック（縦 6mm 横 6mm）



縦のみ 10mm に拡大 （縦 10mm 横 6 mm）	横のみ 10mm に拡大 （縦 6 mm 横 10mm）	縦横 10mm に拡大 （縦 10mm 横 10mm）
		

- 切替グラフィックオブジェクト

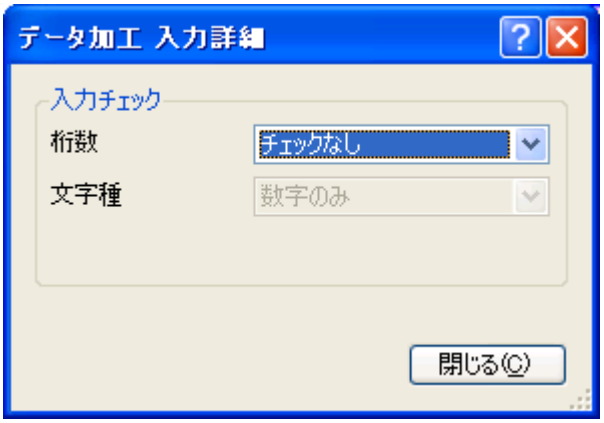
切替グラフィックオブジェクトの各種設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を利用します。
発行時(データ)	発行時に入力された値を利用します。グラフィックテーブルの登録番号を入力します。「データ」に選択されたグラフィックは「初期値」として利用されます。
参照・結合	レイアウト上のオブジェクトを参照したり、固定値を入力したり、複数の項目を結合した値を利用します。
「詳細設定」ボタン	詳細設定画面を表示します。

- **入力方法（発行時(データ)の場合）-詳細設定画面**

  入力時の入力データのチェック方法を設定します。



設定項目	
入力チェック	
桁数	チェックなし、入力必須（未入力禁止）のいずれかを設定できます。

- **入力方法（参照・結合）-詳細設定画面**

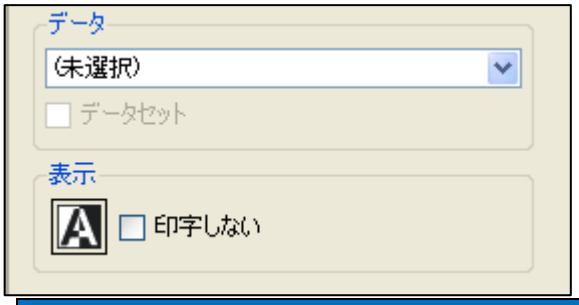
  データの参照・結合設定の内容を設定します。



設定項目	内容
種類	結合するデータの種類を選択します。 **固定：**固定の文字列を結合します。「データ」に文字列を入力します。 **参照：**他のオブジェクトの値をコピーして結合します。
データ	セットするデータを選択（参照時）または入力（固定時）します。
開始桁	参照元のデータの何桁目からコピーするかを指定します。
桁数	参照元のデータの「開始桁」から何桁分をコピーするかを指定します。 コピーする値は、参照元のデータが常に左詰めスペース補填された値になります。
補填種別	参照したデータが桁数に満たなかった場合の、桁の補填方法を指定します。

- **補填種別の項目**

補填種別	補填方法	例
左詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの後ろに桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120△△（△は半角スペース）
右詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力：120 ⇒　△△120（△は半角スペース）
右詰め 0 補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「0」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力 120 ⇒　00120



設定項目	
データ	
データ選択	グラフィックテーブルのデータを選択します。「（未選択）」の場合は、レイアウト上の切替グラフィックが SATO マークになります（印字はされません）。
データセット	※SmaPri Designer では使用不可
表示	
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。

- 罫線オブジェクト

罫線オブジェクトの設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
罫線	
線の長さ	罫線の長さを mm で指定します。
線の太さ	罫線の太さを mm で指定します。
方向	罫線の縦・横方向を指定します。
表示	
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。

- 枠線オブジェクト

罫線オブジェクトの設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
サイズ	
高さ	枠の高さを mm で指定します。
幅	枠の幅を mm で指定します。
枠線	
枠線の太さ	枠線の太さを mm で指定します。
カド丸半径	枠線のカドの丸みの半径を指定します。 対応しているプリンタ機種を選択時のみ設定可能です。
表示	
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。

- 表オブジェクト

表オブジェクトの設定を行う画面です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
サイズ	
高さ	枠の高さを mm で指定します。
幅	枠の幅を mm で指定します。
表	
行数	表内の行数を指定します。
列数	表内の列数を指定します。
横線	上辺からの位置を指定する横線を指定します。
縦線	左辺からの位置を指定する横線を指定します。
縦位置	横線で指定した線の上辺からの位置を指定します。
横位置	縦線で指定した線の左辺からの位置を指定します。
横線の太さ	表の横線の太さを指定します。
縦線の太さ	表の縦線の太さを指定します。
枠線の太さ	表の枠線の太さを指定します。
カド丸半径	表枠のカドの丸みの半径を指定します。 対応しているプリンタ機種を選択時のみ設定可能です。
表示	
白黒反転	白黒反転印字をします。
印字しない	項目を印字しない場合にチェックします。

- コマンドオブジェクト

コマンドオブジェクトの設定を行う画面です。このオブジェクトでは、出力したいコマンドを直接セットすることが可能です。



設定項目	
項目名	レイアウトデザイン内で使用される項目名を設定します。
入力方法	
固定	「データ」にセットされた値を利用します。
参照・結合	レイアウト上のオブジェクトを参照したり、固定値を入力したり、複数の項目を結合した値を利用します。
「詳細設定」ボタン	「参照・結合詳細」画面を表示します。
データ	
データ	入力方法「固定」の場合は、セットされたデータがそのまま SBPL コマンドとして出力されます。エスケープコマンド<ESC>も含めてデータをセットしてください。<ESC>は、「データ詳細」画面で指定した代替文字で入力します。
「詳細設定」ボタン	「データ詳細」画面を表示します。
出力	
位置コマンド追加	「固定」や「参照・結合」でセットしたコマンドデータに対し、「コマンド」オブジェクトを貼り付けた座標の位置コマンドを追加します。
出力しない	セットしたコマンドデータを出力しない場合にチェックします。
送信タイミング	コマンドデータを送信するタイミングを設定します。「アイテムに含める」「アイテムの前に出力する」「アイテムの後に出力する」から選択します。 「位置コマンド追加」有効時、「アイテムに含める」固定になります。

- **参照・結合詳細画面**

  データの参照・結合設定の内容を設定します。

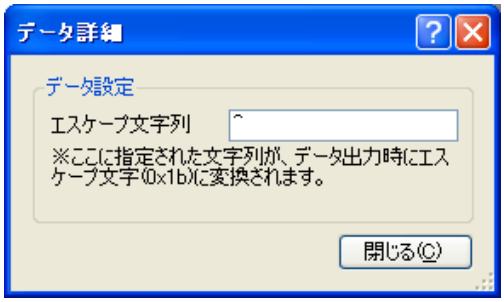


設定項目	内容
種類	結合するデータの種類を選択します。 **固定：**固定の文字列を結合します。「データ」に文字列を入力します。 **参照：**他のオブジェクトの値をコピーして結合します。 **バイナリ：**バイナリデータを結合します。「データ」に 16 進数で入力します。
データ	セットするデータを選択（参照時）または入力（固定時）します。
開始桁	参照元のデータの何桁目からコピーするかを指定します。
桁数	参照元のデータの「開始桁」から何桁分をコピーするかを指定します。 コピーする値は、参照元のデータが常に左詰めスペース補填された値になります。
補填種別	参照したデータが桁数に満たなかった場合の、桁の補填方法を指定します。

- **補填種別の項目**

補填種別	補填方法	例
補填しない	入力桁数に満たない場合は、実データのままとなります。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120
左詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの後ろに桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数：5 桁、入力：120 ⇒　120△△（△は半角スペース）
右詰めスペース補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「半角スペース」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力：120 ⇒　△△120（△は半角スペース）
右詰め 0 補填	入力桁数に満たない場合は、実データの前に桁数分の「0」を補填します。	入力桁数 5 桁、入力 120 ⇒　00120

- **データ詳細画面**



設定項目
データ設定
エスケープ文字列
「データ」に SBPL コマンドをセットする際のエスケープコマンド<ESC>の代替文字列を指定します。指定した文字列は、データ出力時にエスケープ文字（0x1b）に変換されます。

第５章

特別な操作

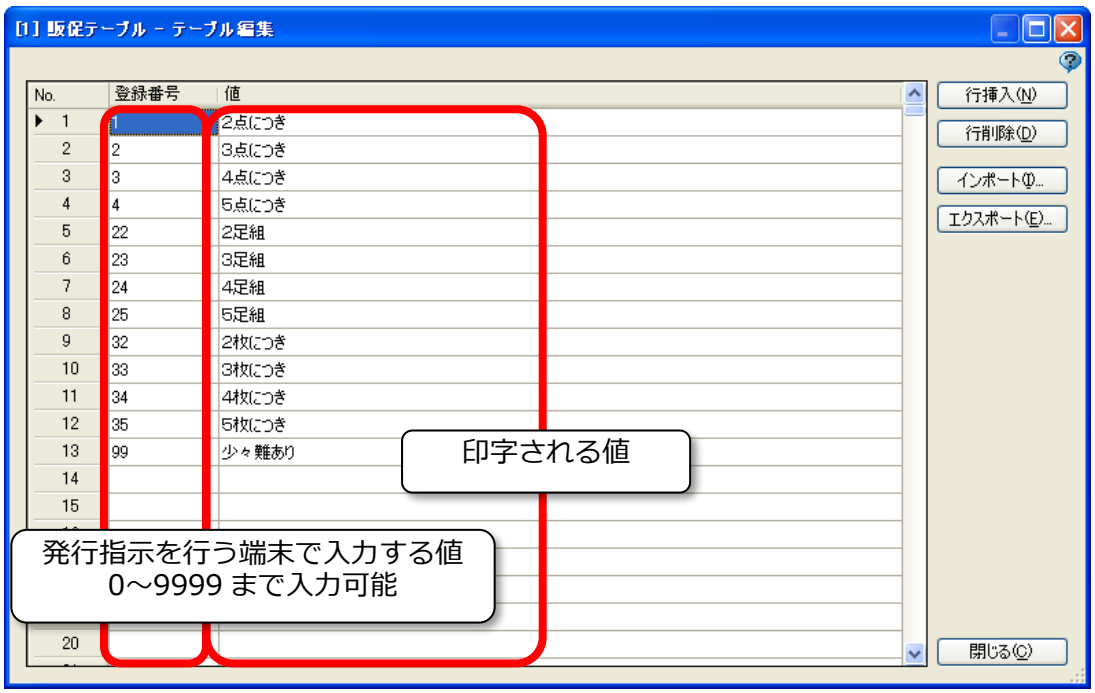
5-1 テーブル機能

- テーブル　- グラフィックテーブル

SmaPri Designer には、入力された数値を登録された文字データに変換するテーブル機能があります。最大 4 桁の数値を入力することで、定型の漢字データに変換して印字したり、間違えやすいバーコードの入力も 1～4 桁の数字から変換させたりすることができます。

また、複数のレイアウトでテーブルデータを共通で使用することが可能です。

テーブルは、**一つのプロジェクトで99テーブル**まで登録が可能です。



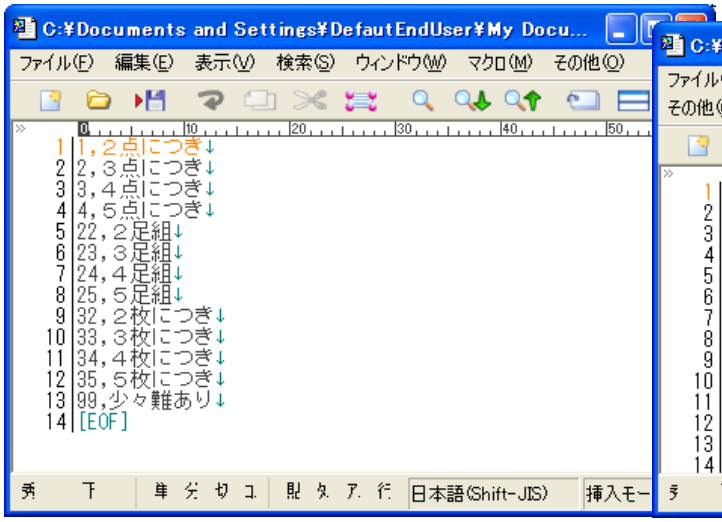
操作ボタン	
行挿入	新規登録する行を、選択した行の上に挿入できます。
行削除	選択した行を削除できます。
インポート	外部ファイルをテーブルデータとして取り込むことができます。 ファイル形式は、CSV ファイル、TAB 区切りのテキストファイル、テーブルファイル（プロジェクト用ファイル）です。
エクスポート	テーブルデータを外部ファイルとして保存することができます。 ファイル形式は、CSV ファイル、TAB 区切りのテキストファイル、テーブルファイル（プロジェクト用ファイル）です。

- インポートできる CSV および TAB データ形式

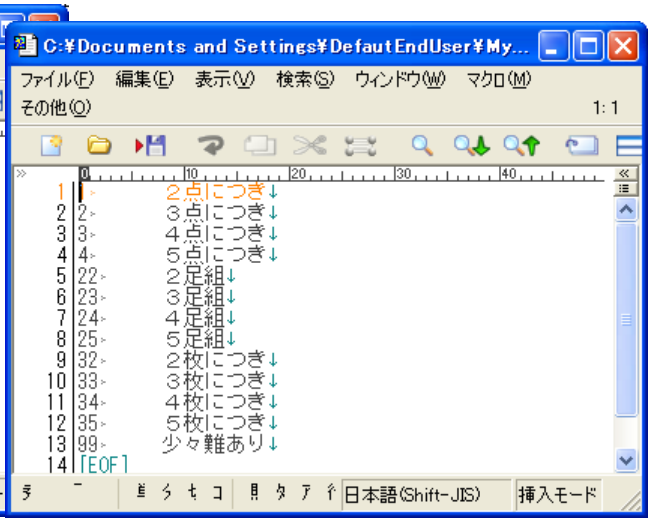
• ヘッダーなしデータ

登録番号	カンマまたは TAB	登録内容	CR+LF
0～9999	区切り	桁数で指定した桁（最大 32）	改行コード

「カンマ区切りデータ例」

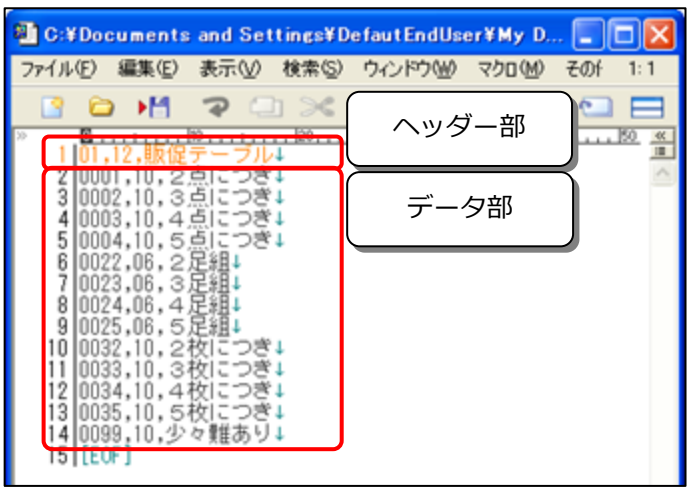


「タブ区切りデータ例」



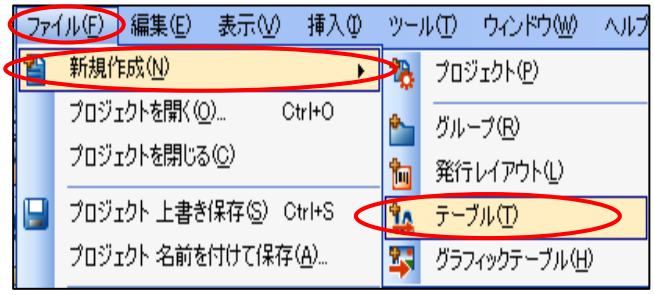
• ヘッダー情報付データ

1 行目					
テーブル番号	カンマまたは TAB	桁数	カンマまたは TAB	テーブル名称	CR+LF
01～99	区切り	01～16 テーブル名称桁数	区切り	文字列 最大 16 文字	改行コード
2 行目以降					
登録番号	カンマまたは TAB	桁数	カンマまたは TAB	登録内容	CR+LF
0000～9999	区切り	01～32 値の桁数	区切り	桁数で指定した桁 最大 32	改行コード



- テーブルを作成する

1) メニューバーの「新規作成」から、「テーブル」を選択してください。



プロジェクトウィンドウの「プロジェクトフォルダ」＞「新規作成」＞「テーブル」

プロジェクトウィンドウに既にテーブルフォルダが存在している場合は、

テーブルフォルダの＞「新規作成」からも、テーブル登録が可能です。

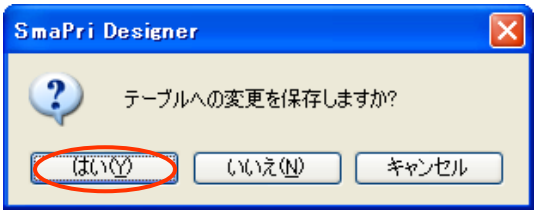
また、ツールバーの「新規作成」ボタンからも、テーブルの作成が可能です。

2) テーブルの編集（登録）画面が開きます。

3) 登録番号に、発行時に入力する値、変換後に印字する値を入力します。

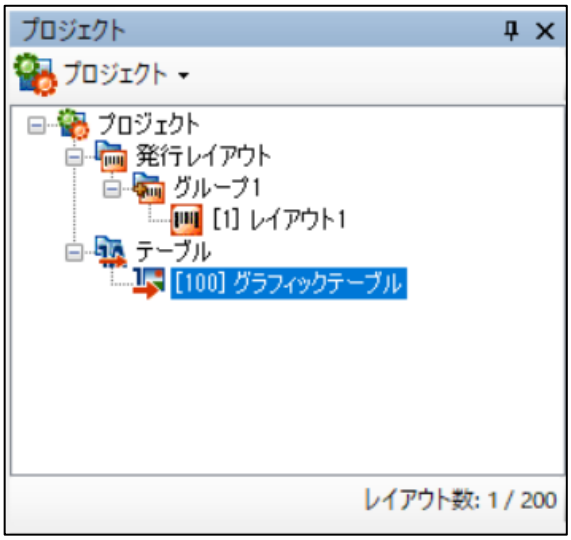
登録番号は 1～4 桁の数字、値は 1～32 桁（全角 16 文字）の文字が登録できます。

4) 登録が完了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてテーブルを保存して画面を閉じます。



- グラフィックテーブルを作成する

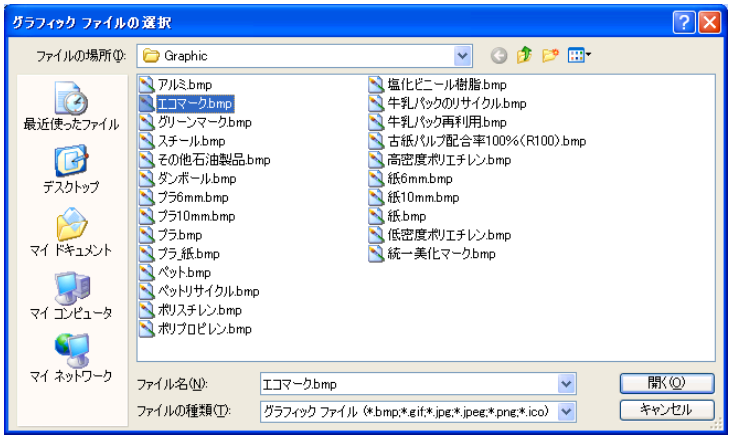
1) プロジェクトウィンドウで、グラフィックテーブルをダブルクリックします。



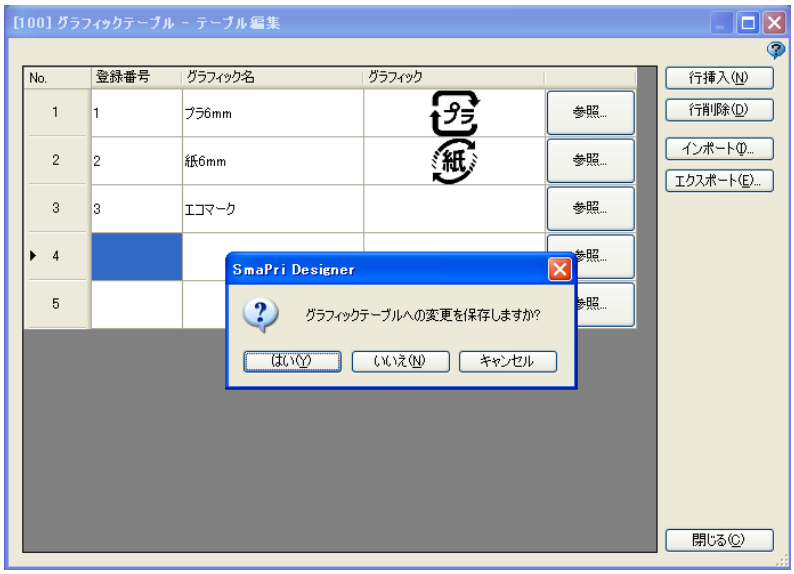
2) テーブルの編集（登録）画面が開くので、登録番号に入力する値とグラフィック名を入力し、「参照」ボタンをクリックします。



3) 登録したいグラフィックファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

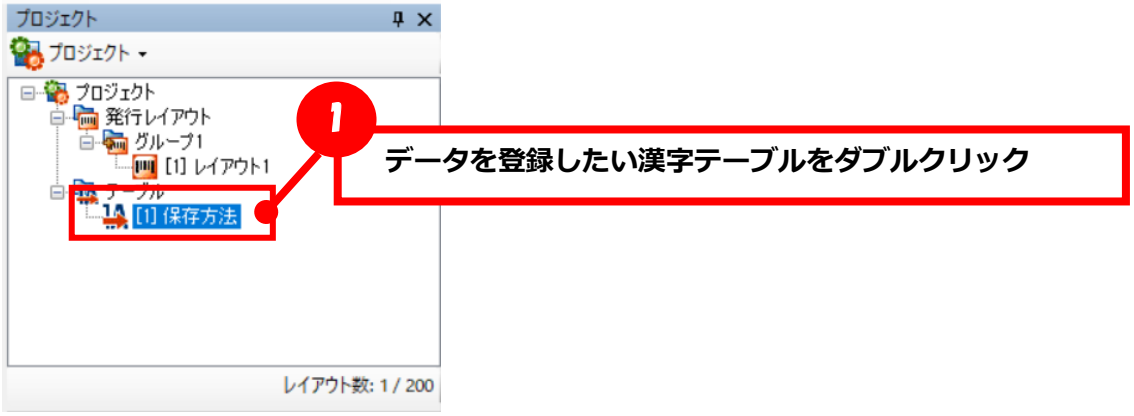


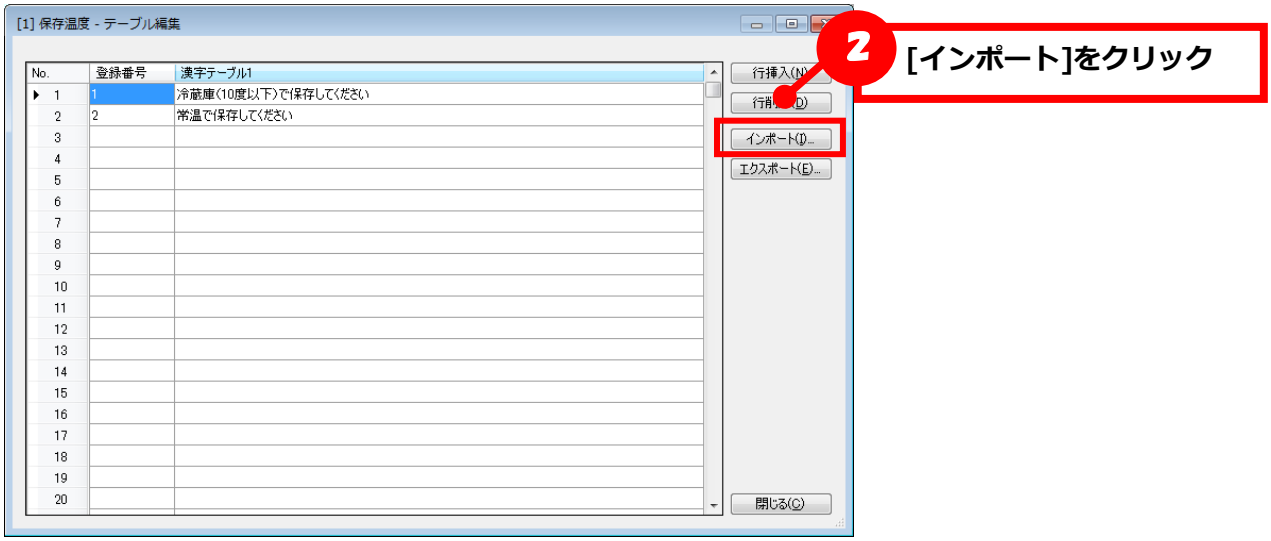
4) 登録が完了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてテーブルを保存します。

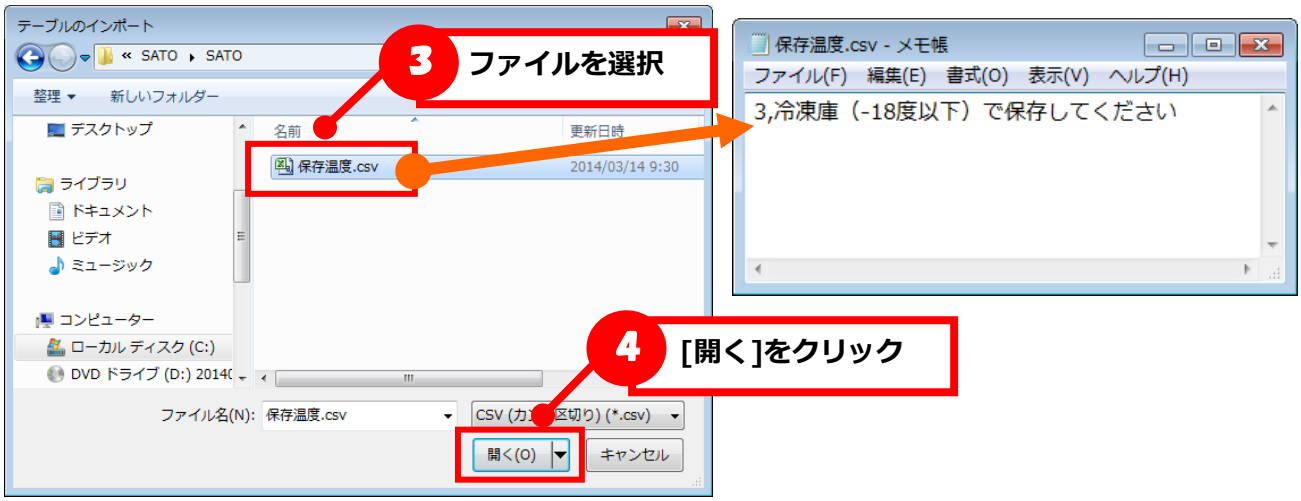


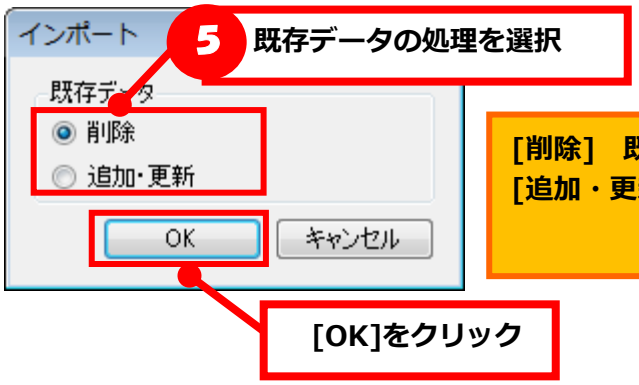
- テーブルをインポートする

※説明は[漢字テーブル]ですが、店名テーブル、グラフィックテーブルも同様の操作となります



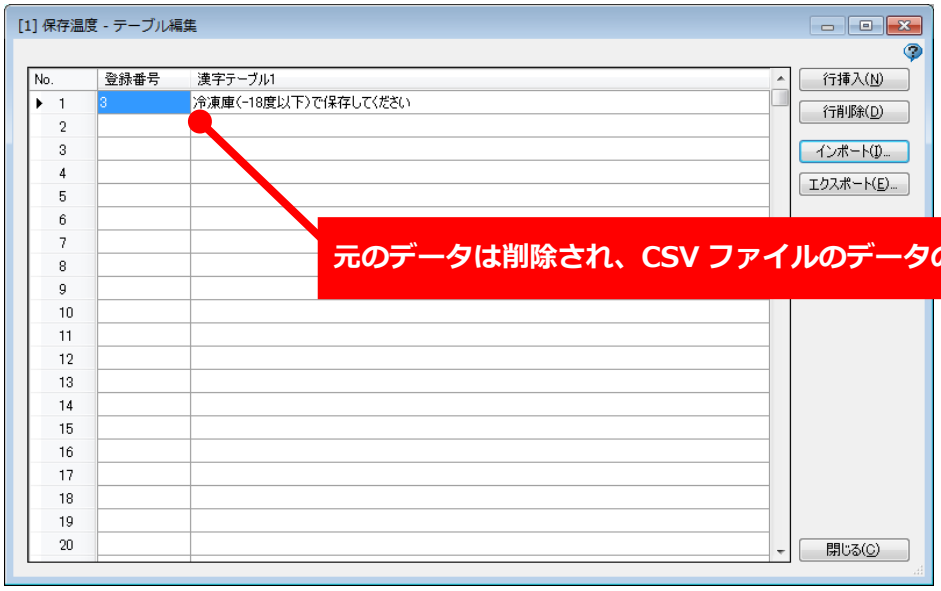






[削除]　既存データを全て削除し、取り込みます
[追加・更新] 既存データは残し、No.が同一のデータがあれば更新、無ければ追加します

【削除を選択した場合】

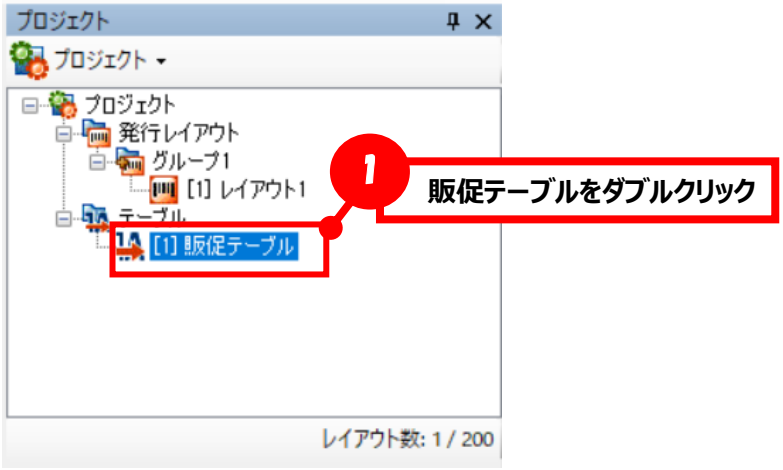


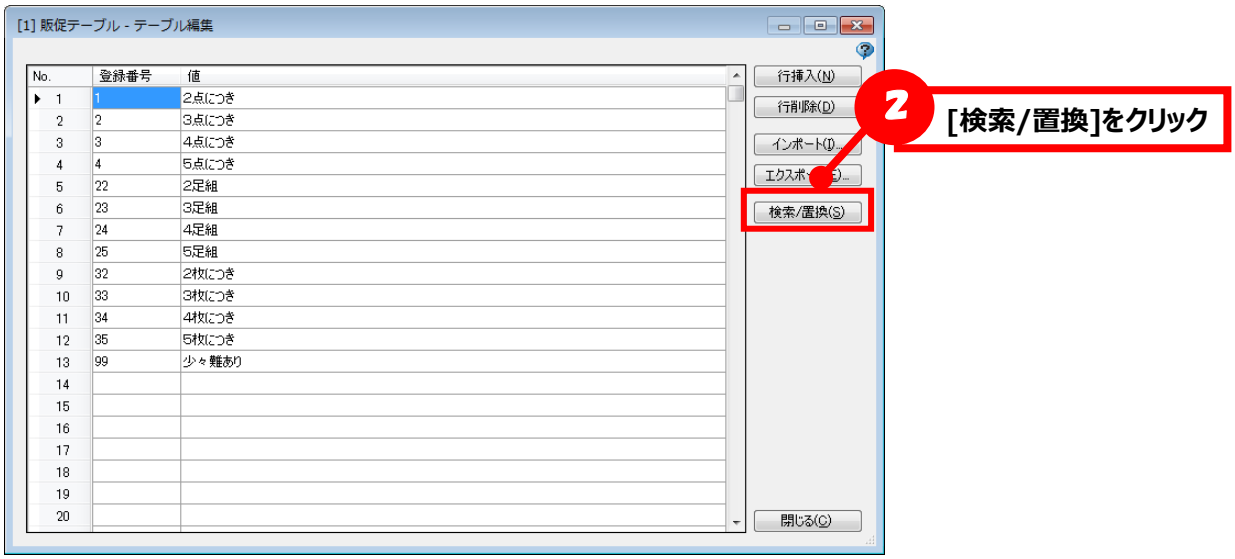
【追加・更新を選択した場合】



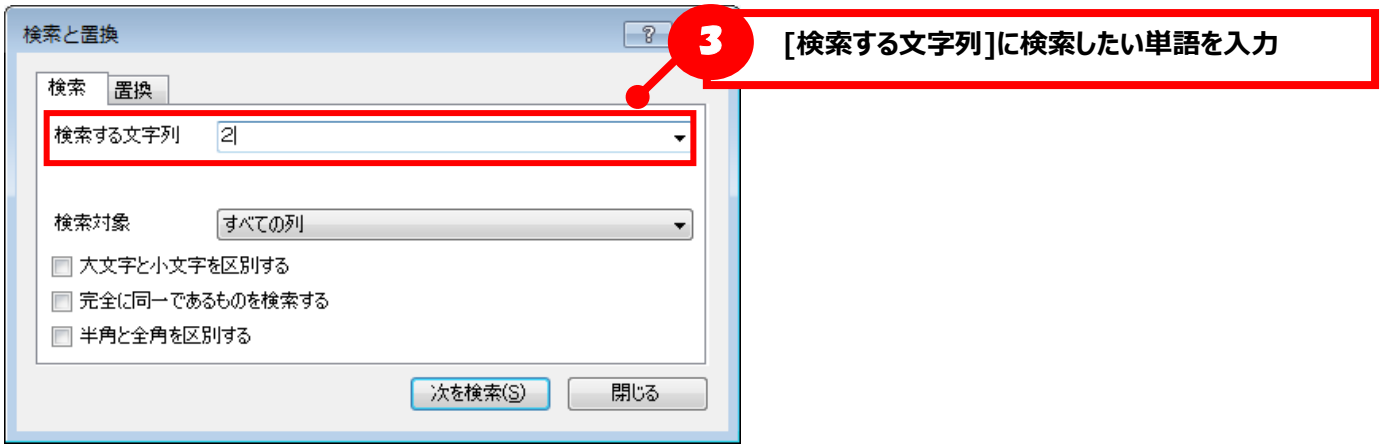
- テーブルデータの検索/置換手順

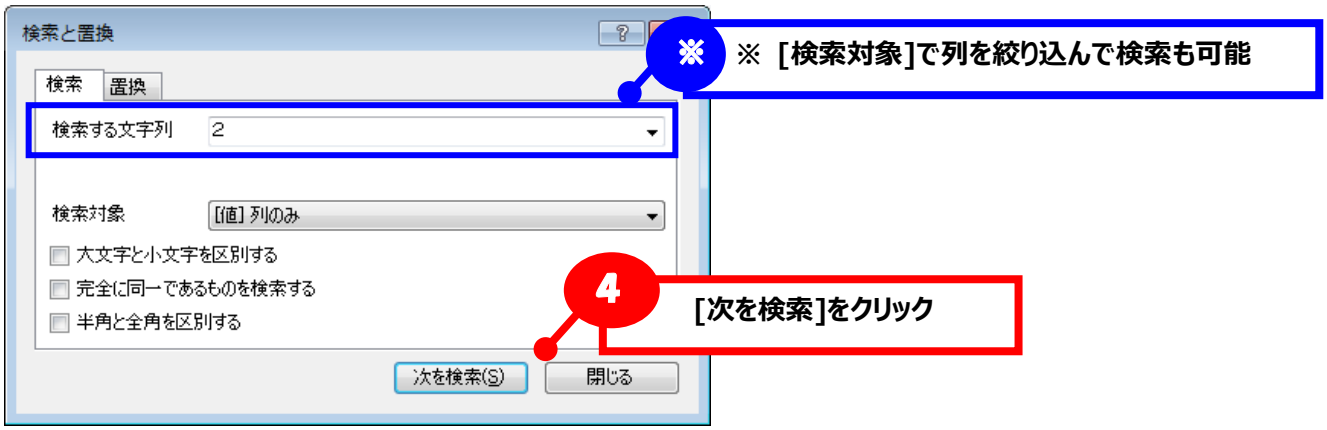
※説明は[テーブル]ですが、グラフィックテーブルも同様の操作となります

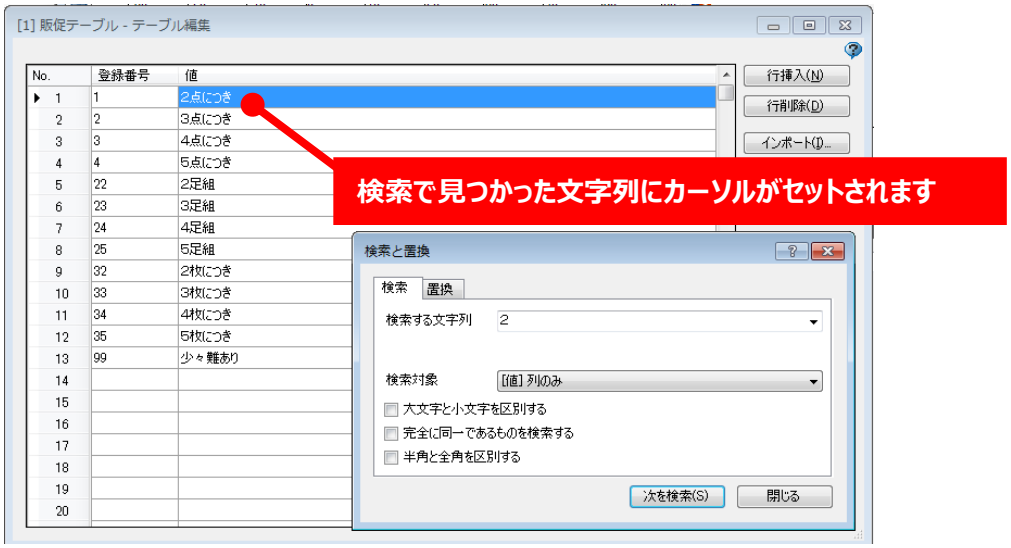


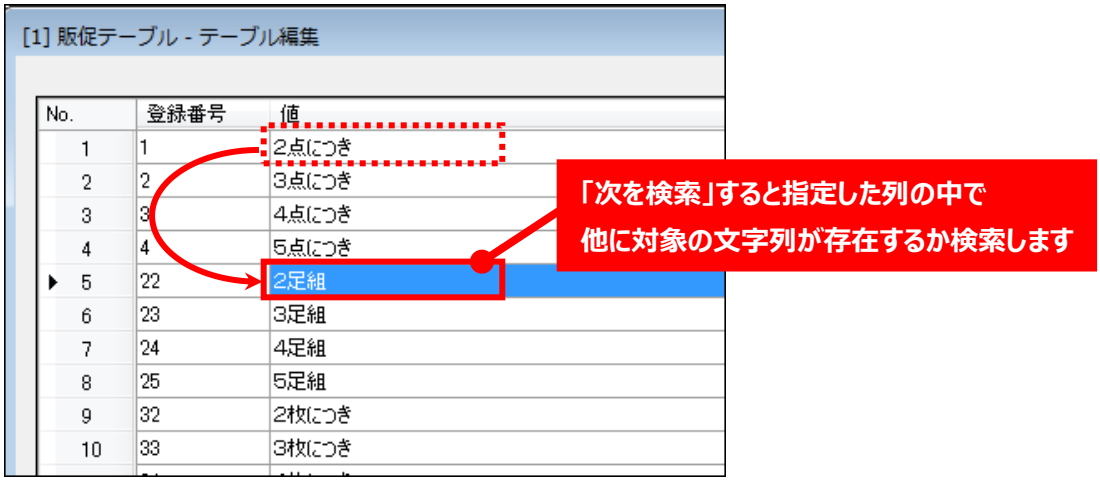


<検索>

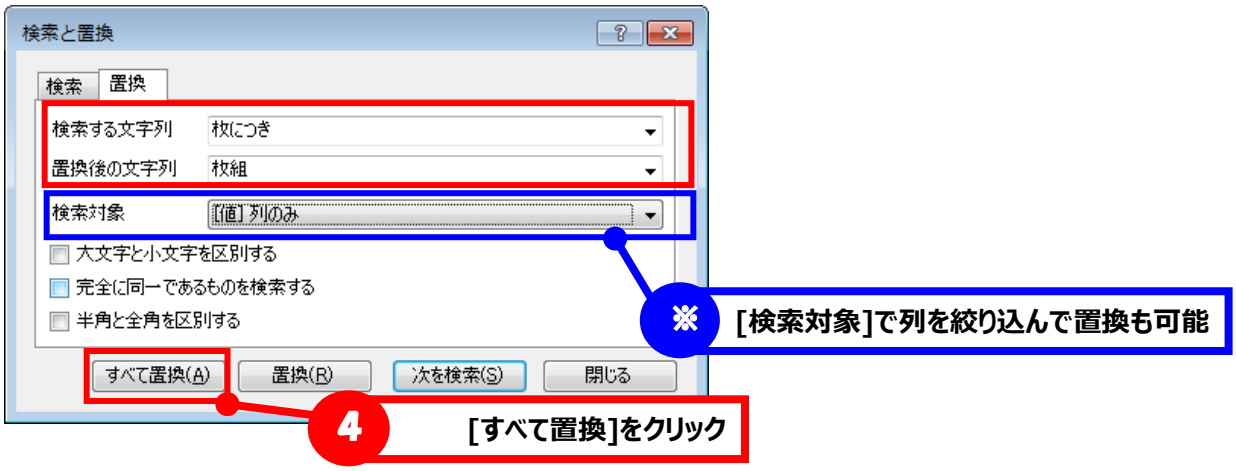


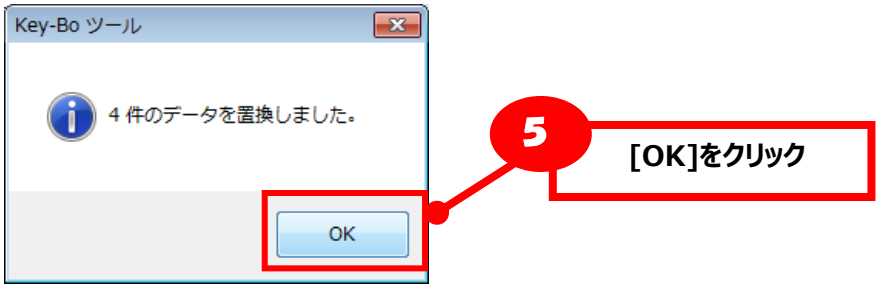

検索と置換
検索
置換
検索する文字列
2
検索対象
[値] 列のみ
大文字と小文字を区別する
完全に同一であるものを検索する
半角と全角を区別する
次を検索(S)
閉じる
※
※ [検索対象]で列を絞り込んで検索も可能
4
[次を検索]をクリック

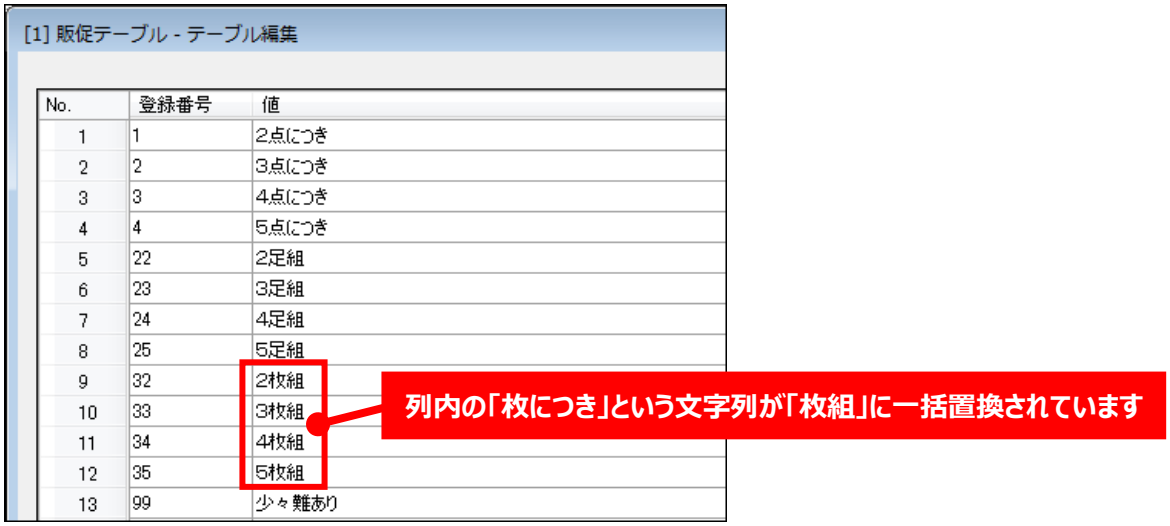

[1] 販促テーブル - テーブル編集
No.
登録番号
値
行挿入(N)
行削除(D)
インポート(I)...
検索で見つかった文字列にカーソルがセットされます
検索と置換
検索
置換
検索する文字列
2
検索対象
[値] 列のみ
大文字と小文字を区別する
完全に同一であるものを検索する
半角と全角を区別する
次を検索(S)
閉じる


[1] 販促テーブル - テーブル編集
No.
登録番号
値
「次を検索」すると指定した列の中で
他に対象の文字列が存在するか検索します

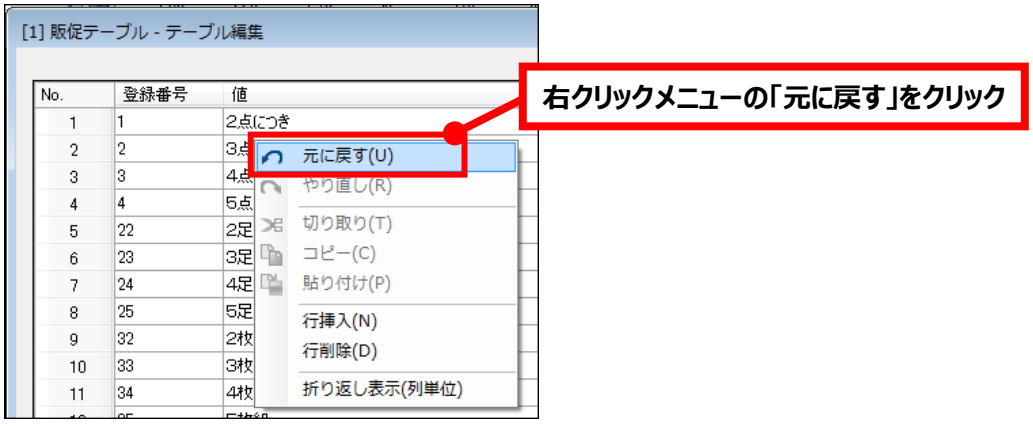
<置換>







注：置換を元に戻す場合



5-2 プレビュー・テスト発行機能

- プレビュー・テスト発行

作成したレイアウトを使用し、発行指示を行う端末でデータを入力した結果の印刷プレビュー、プリンタでの印刷確認を行う機能です。

【注意】プレビューについて

TrueType フォント埋め込み機能の使用時は OS の違いにより、プレビュー表示と実際の印字結果で文字や文字の形状、改行位置が異なる場合があります。

- ジャーナル紙（可変長）以外の場合

1) ツールバーの「プレビュー・テスト印字」ボタンをクリックしてください。
メニューバーの「ファイル」＞「プレビュー・テスト印字」でも操作可能です。



2) プレビュー・テスト発行の画面が表示されます。

3) 入力値の欄に値を入力してください。





＊不正な値が入力された場合は、エラー表示されます。

4) 発行枚数入力後にプレビューボタンをクリックすると、プレビュー画面が表示されます。
プレビュー画面では、発行枚数分のページを確認できます。
ただし、発行枚数は 9 枚までに制限されています。

5) プリンタリストからプリンタを選択してテスト発行ボタンをクリックすると、テスト発行が行なわれます。プリンタリストには、パソコンにインストールされているサトーのプリンタドライバが全て表示されます。プリンタ設定画面で設定したプリンタ種を選択してください。
それ以外のプリンタを選択した場合、正しく印字されない可能性があります。

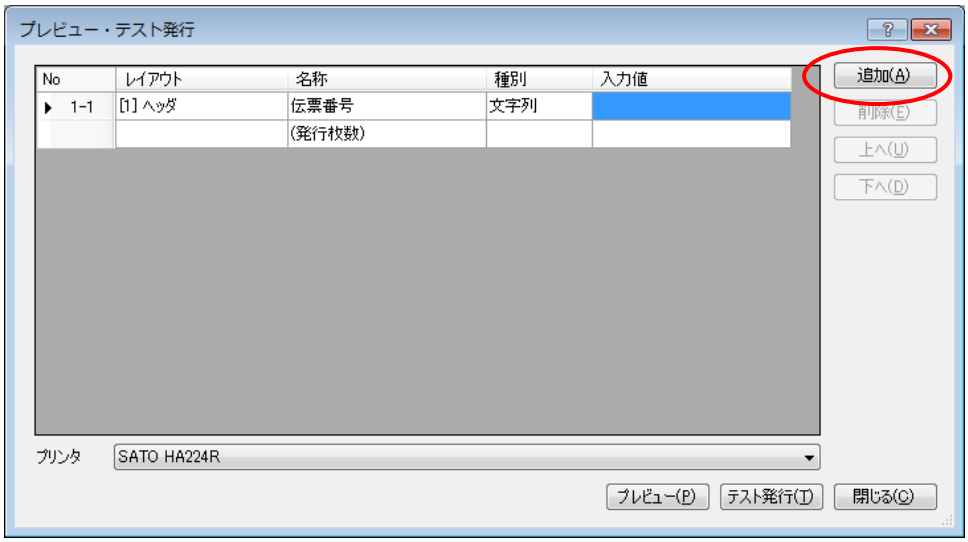
- ジャーナル紙（可変長）の場合

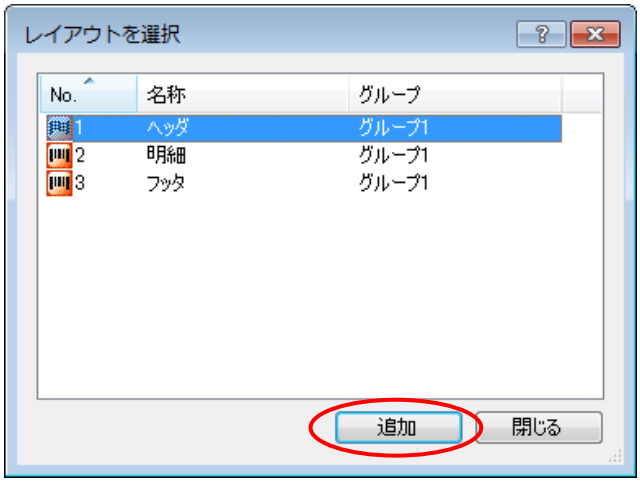
1) ツールバーの「プレビュー・テスト印字」ボタンをクリックしてください。
メニューバーの「ファイル」＞「プレビュー・テスト印字」でも操作可能です。



2) プレビュー・テスト発行の画面が表示されます。

3) レイアウトを追加してください。





連続でレイアウトを追加できます。

4) 入力値の欄に値を入力してください。





不正な値が入力された場合は、エラー表示されます。

5) 発行枚数入力後にプレビューボタンをクリックすると、プレビュー画面が表示されます。
プレビュー画面では、発行枚数分のページを確認できます。
ただし、発行枚数は 9 枚までに制限されています。

6) プリンタリストからプリンタを選択してテスト発行ボタンをクリックすると、テスト発行が行なわれます。プリンタリストには、パソコンにインストールされているサトーのプリンタドライバが全て表示されます。プリンタ設定画面で設定したプリンタ種を選択してください。
それ以外のプリンタを選択した場合、正しく印字されない可能性があります。

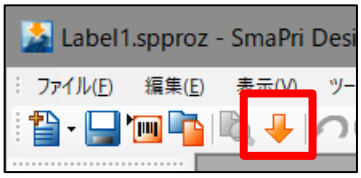
5-3 データ出力

SmaPri Driver で利用するフォーマットファイルを出力します。

- データ出力する

1) ツールバーの「データ出力」ボタンをクリックしてください。

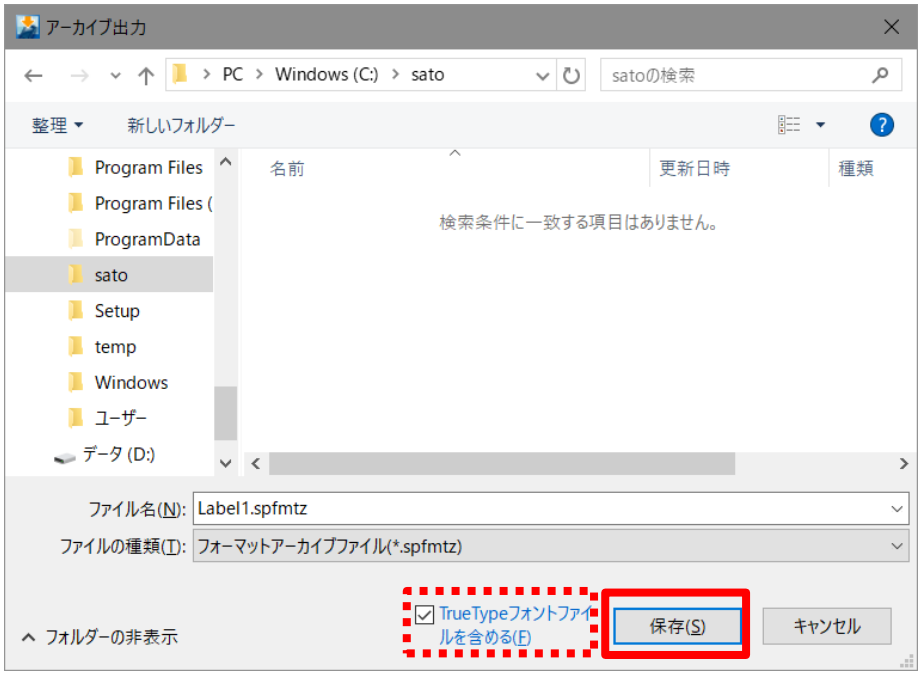
メニューバーの「ファイル」＞「データ出力」でも操作可能です。



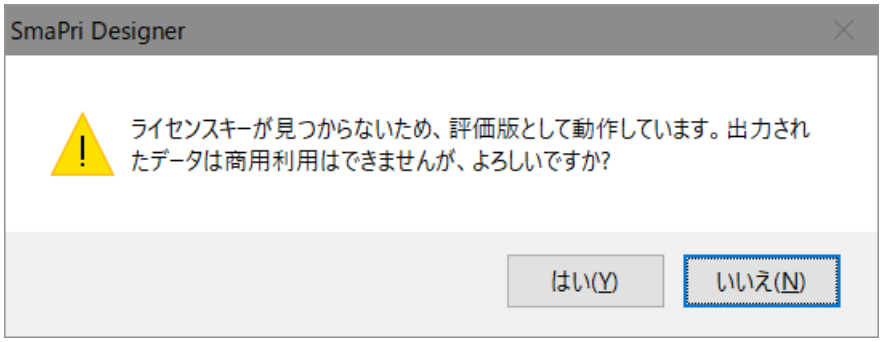
2) データ出力先指定画面が表示されます。

3) データの出力先を指定し、保存ボタンをクリックしてください。

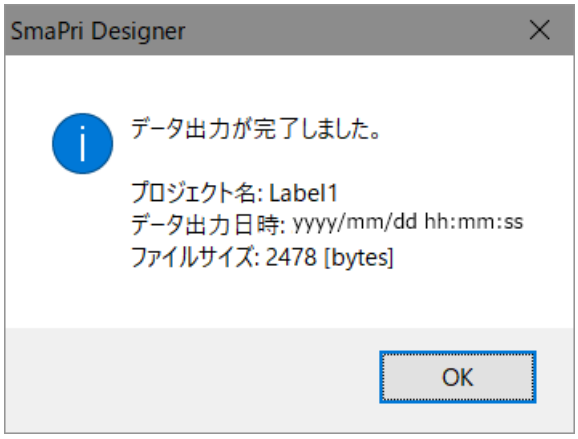
TrueType フォント埋め込み機能を利用している場合は、TrueType フォントファイルをフォーマットファイルに含めるか選択できます。



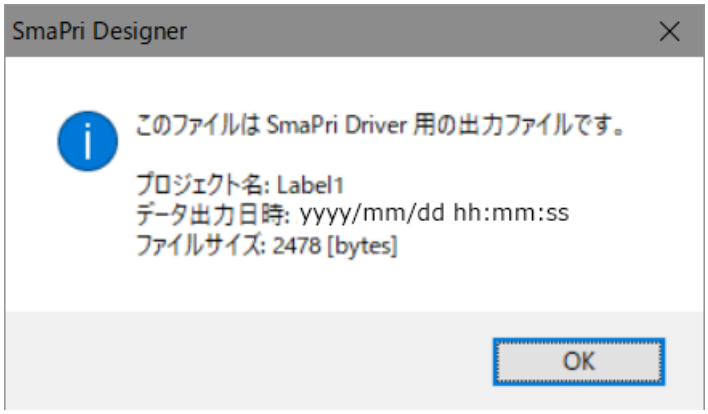
保存時にライセンスキー（HASP）が認識できない場合、以下のメッセージが表示されます。



4）完了するとプロジェクト名、データ出力日時、ファイルサイズが表示されます。
「OK」ボタンをクリックしてください。



出力されたフォーマットファイル（*.spfmtz）を Windows 上でダブルクリックすると、保存時と同じ内容（プロジェクト名、データ出力日時、ファイルサイズ）が表示されます。



- SmaPri Designer の出力ファイルについて

「データ出力」ボタンで出力されたファイルは「spfmtz」という拡張子がついた**SmaPri Driver 用のファイル（フォーマットファイル）**です。SmaPri Designer のプロジェクトファイルは、「プロジェクト保存」で生成され、「sppro z」という拡張子がついた**SmaPri Designer 用のファイル（プロジェクトファイル）**です。

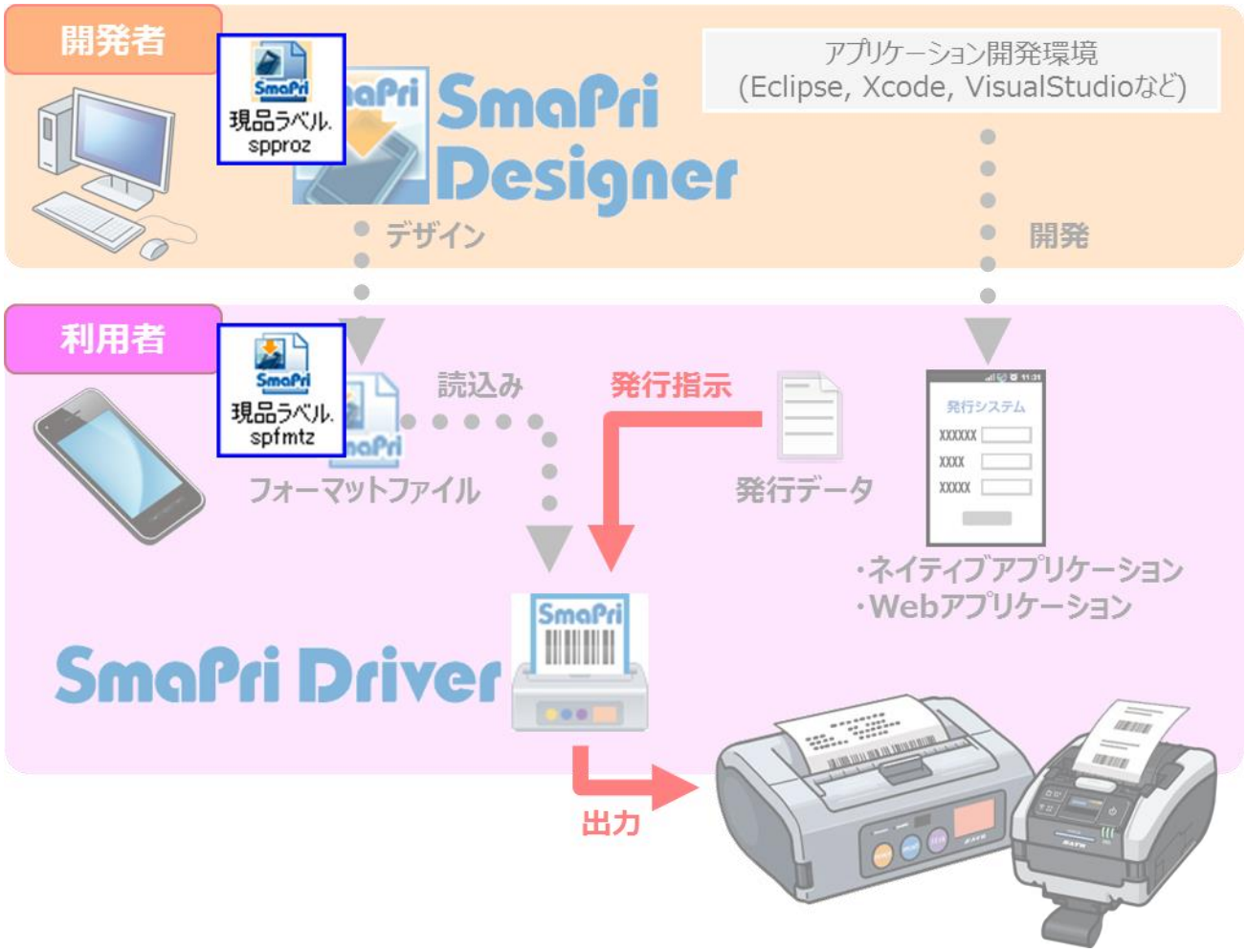


←SmaPri Driver 用のフォーマットファイルのアイコン

←SmaPri Designer 用のプロジェクトファイルのアイコン

アイコンが似ているので、間違わないように気をつけてください。

SmaPri Designer と SmaPri Driver の関係図



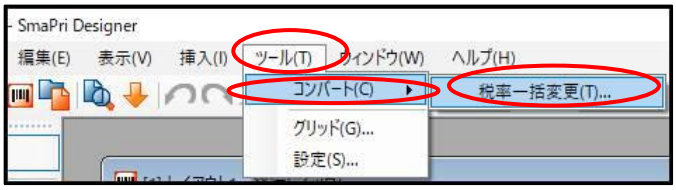
5-4 税率一括変更

プロジェクト内の税率設定を一括で変更します。

全てのレイアウトの税率が一括で変更されます。変更を元に戻すことはできませんので、レイアウトによって違う税率を設定している場合には、ご注意ください。

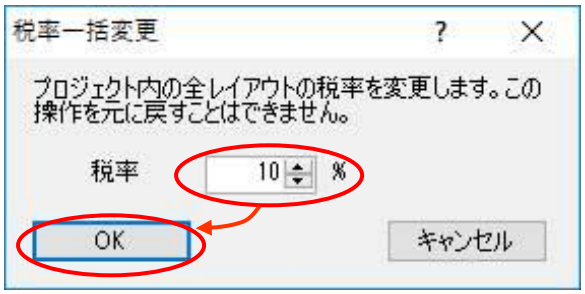
- 税率を一括で変更する

1) メニューバーの「ツール」の「コンバート」から「税率一括変更」を選択してください。



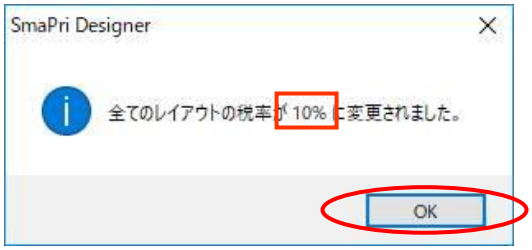
2) 変更する税率を入力後、「OK」ボタンを押してください。

税率は整数の値で変更が可能です。



3) 「OK」ボタンを押すとメッセージが表示されます。

変更値を確認して「OK」ボタンを押してください。



5-5 オブジェクト種変換

オブジェクトの種類を変更します。

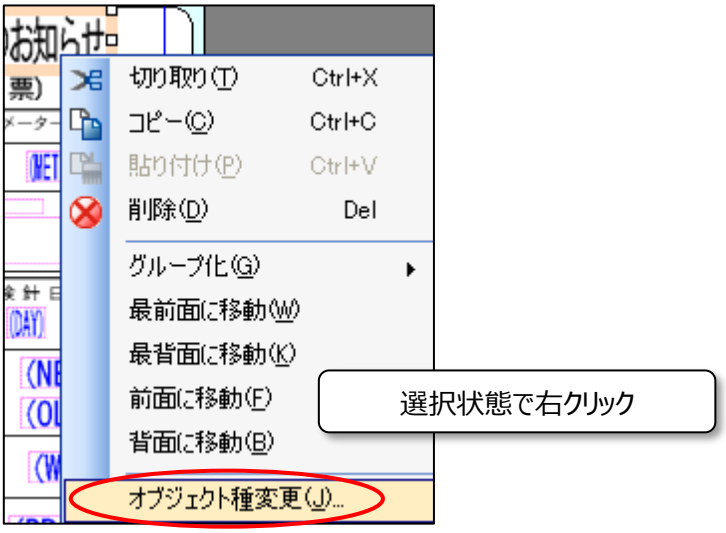
- 変更可能なオブジェクト

「文字列」オブジェクト、「価格」オブジェクト

- オブジェクトを変更する

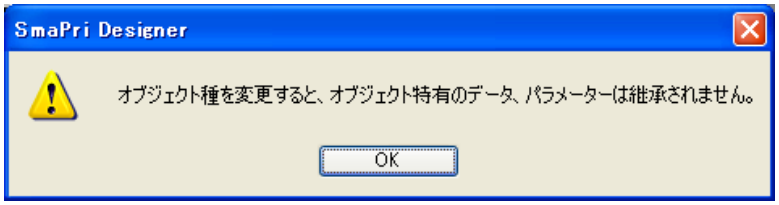
1) 変更したいオブジェクトを選択して、右クリックでメニューを表示します。

2) メニューから、「オブジェクト種変更」を選択してください。

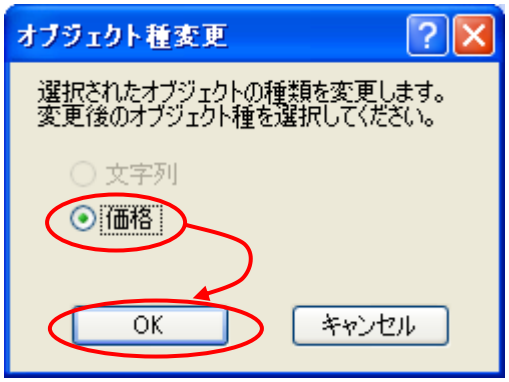


3) オブジェクト種変更時の注意メッセージが表示されます。OK ボタンを押してください。

オブジェクトを変更した場合には、価格オブジェクトの持つ「¥」、「, （カンマ）」の補填機能や自動計算などの一部機能は無効になります。



4) 変換後のオブジェクトの種類を確認して、「OK」ボタンを押してください。



5-6 バーコードウィザード

ウィザード形式のフォームで様々な組合せのバーコードを作成できます。

- 作成可能なバーコード

- JAN13 (JAN13 価格 CD)
- JAN8

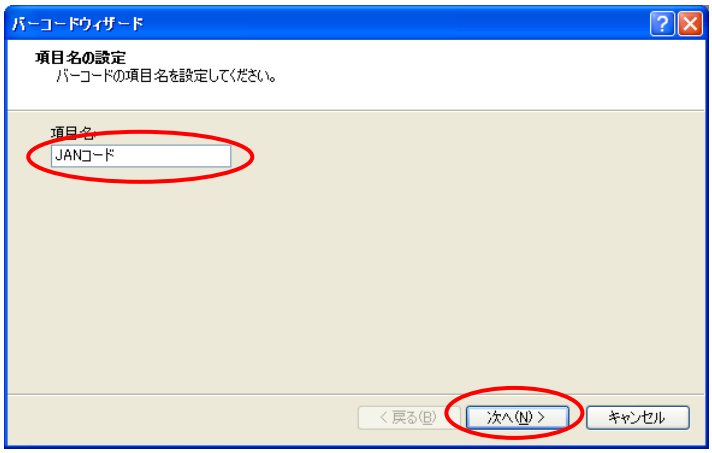
- バーコードウィザードを利用する

1) オブジェクトバーの「バーコードウィザード」ボタンをクリックしてください。



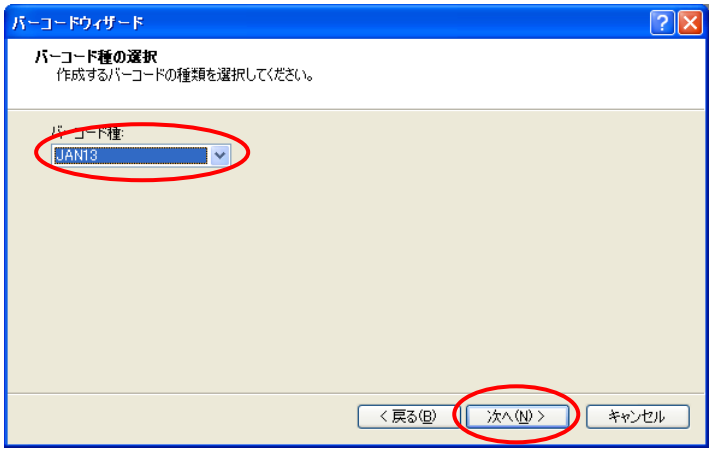
2) カーソルが「オブジェクト貼り付け時カーソル」に変わりますので、デザインウィンドウ上の任意の場所をクリックしてください。

3) バーコードウィザード画面が表示されますので、項目名にオブジェクトの名称を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



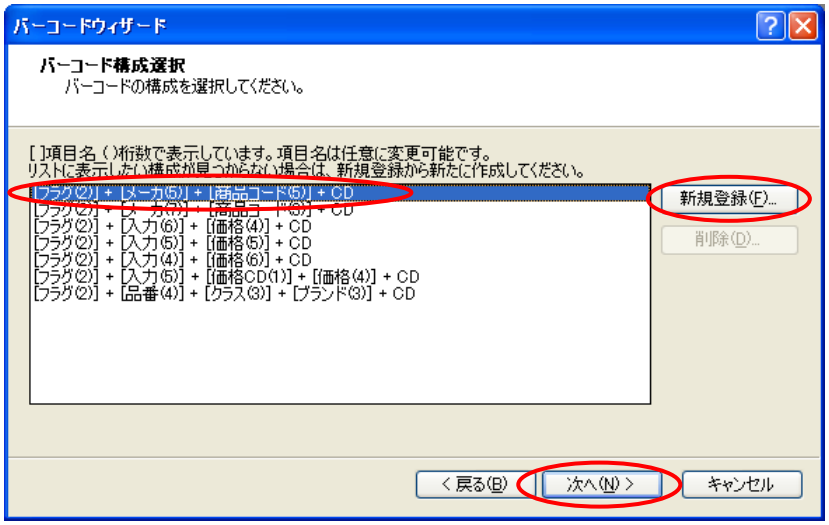
名称として入力できる文字は 16 文字（全角 8 文字）までです。

4) リストボックスからバーコード種を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

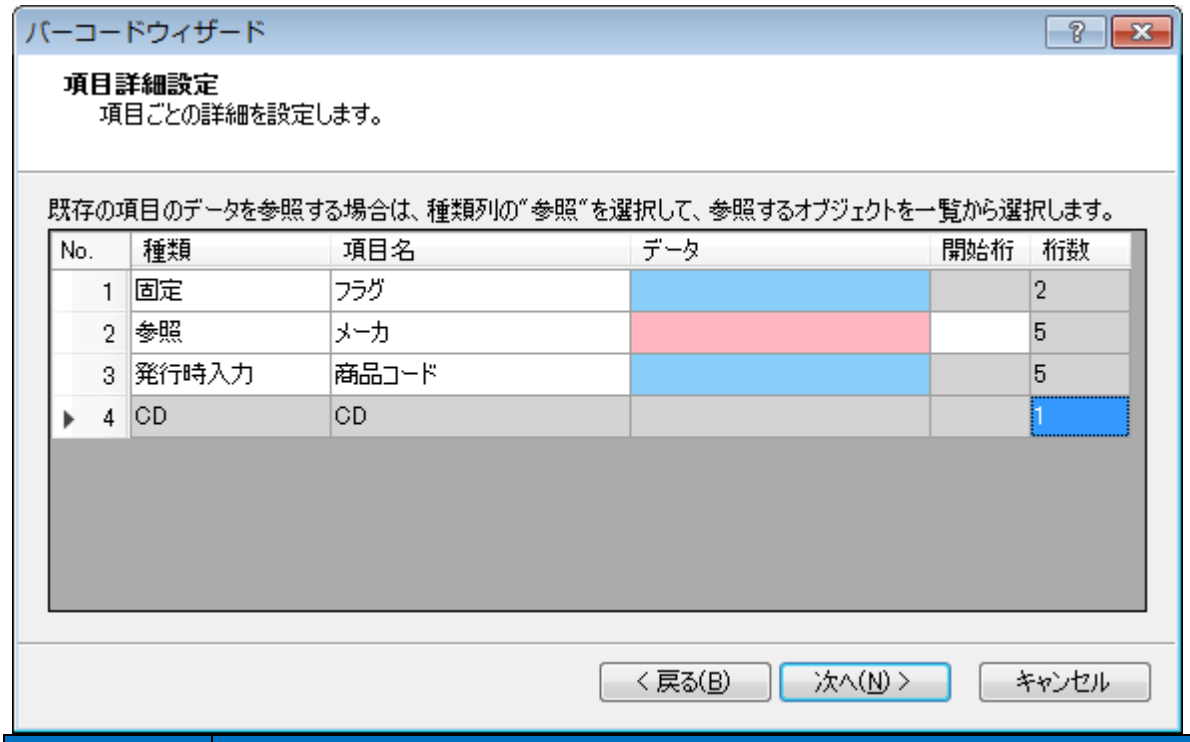


5) 作成するバーコードの構成を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

バーコード構成を新規に登録する場合は、「バーコード構成を新規登録する」をご参照ください。



6) 詳細を設定し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

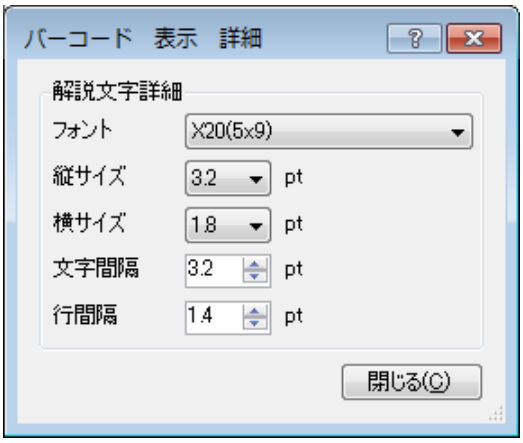


設定項目	内容
種類	データの種類です。
発行時入力	発行時に入力する項目です。
固定	固定項目です。
参照	別の項目の値を参照する項目です。
項目名	項目の名称です。16 文字（全角 8 文字）以内で設定します。
データ	発行時入力の初期値、固定印字の「値」を設定します。
開始桁	「種類」に「参照」を設定した場合に、参照先の何桁目からの値を参照するか指定します。
桁数	項目のデータ桁数です。

7) バーコードの詳細を設定し「完了」ボタンをクリックしてください。

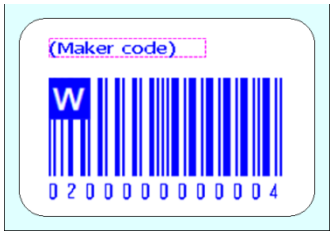


設定項目	内容
高さ	バーコードの高さです。
細バー幅	バーコードの細バーの幅です。
解説文字	解説文字の有無、ガードバーを設定します。
プレビュー	バーコードのプレビューイメージを表示します。 縦横比は正確ですが、全体の拡大率は実際とは異なります。
「詳細設定」ボタン	バーコードの詳細設定を表示します。



設定項目	
解説文字詳細	
フォント	解説文字のフォント種を選択します。
縦サイズ	解説文字の縦サイズを設定します。
横サイズ	解説文字の横サイズを設定します。
文字間隔	解説文字の文字間隔を設定します。
行間隔	バーコードと解説文字の間隔を設定します。

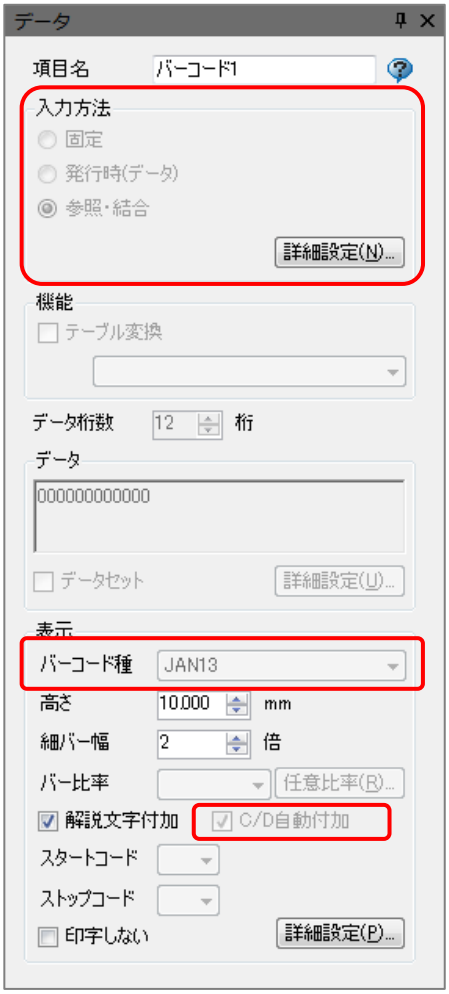
8) ウィザードで作成したバーコードは、下記の様に表示されます。



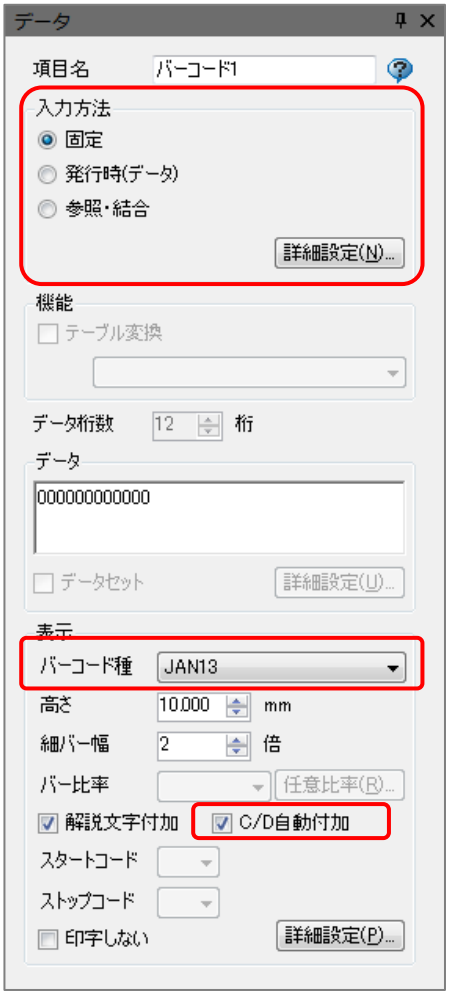
9) ウィザードで作成したバーコードは、データウィンドウで設定できる内容に制限があります。

「入力方法」、「構成の桁数」、「バーコード種」の設定を変更できません。

「ウィザードで作成したバーコード」

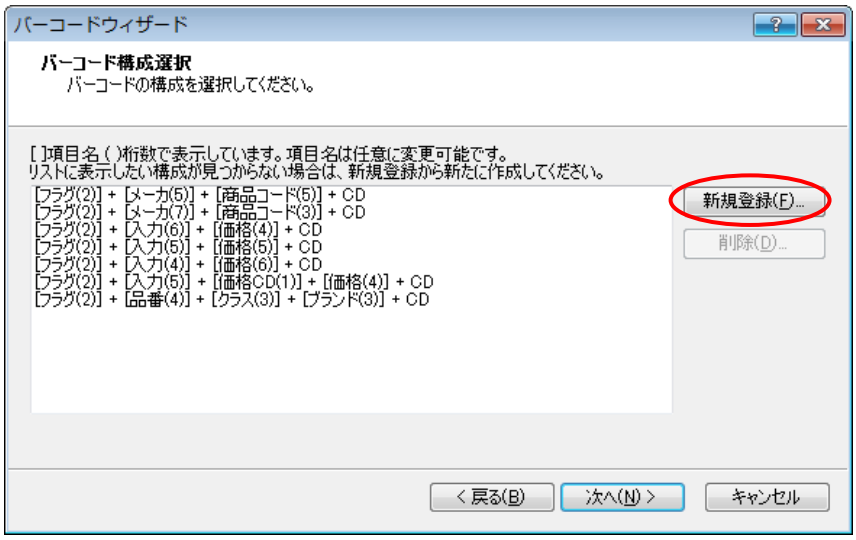


「通常のバーコード」

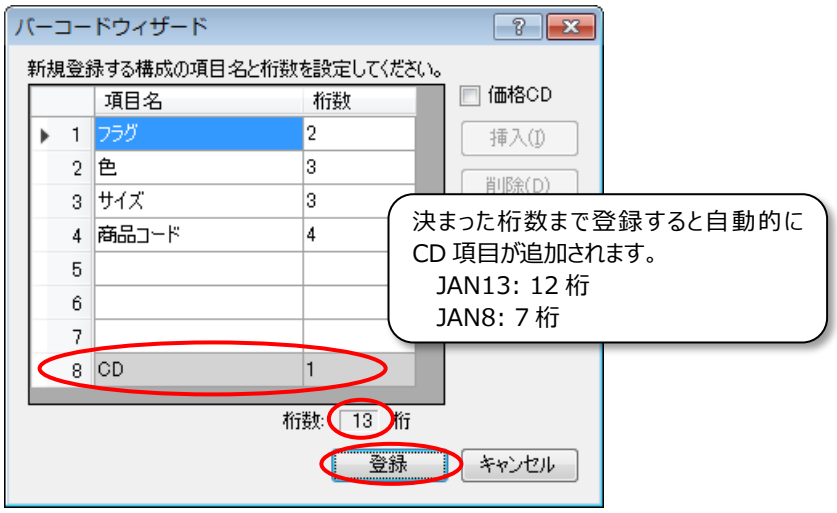


- バーコード構成を新規登録する

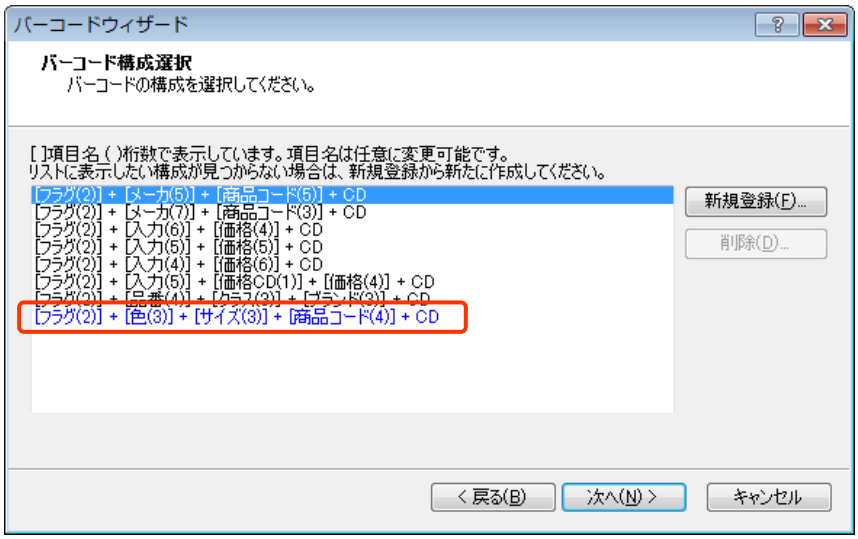
1) バーコードウィザードの「バーコード構成選択」で「新規登録」ボタンをクリックしてください。



2) 「項目名」と「桁数」を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

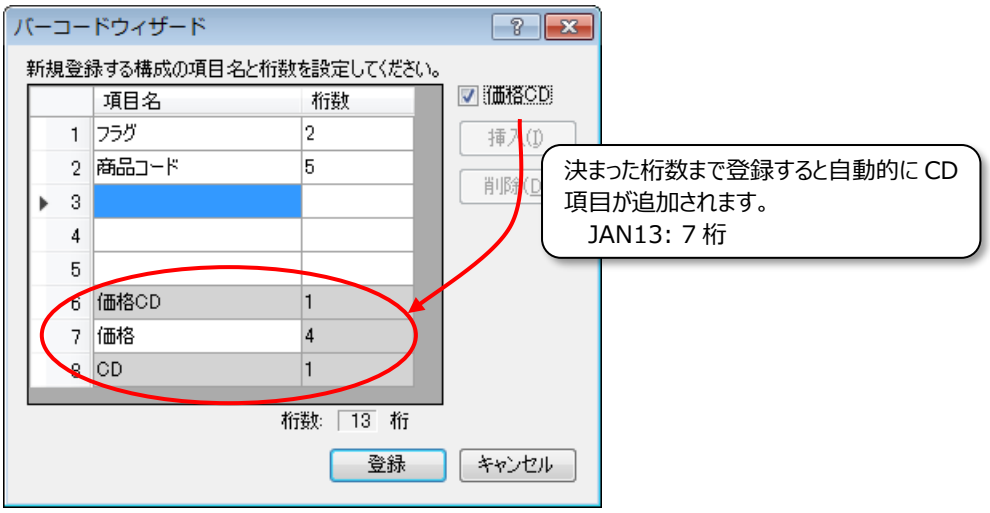


3) 新しいバーコード構成は青文字で「項目名(桁数)」という形式でリストに追加されます。



バーコード種で JAN13 を選択した場合には、価格 CD にチェックが可能になります。

価格 CD にチェックすると、各項目の桁数の合計が必要桁数までに達したときに、価格 CD、価格、CD が自動で追加されます。



5-7 グリッド設定

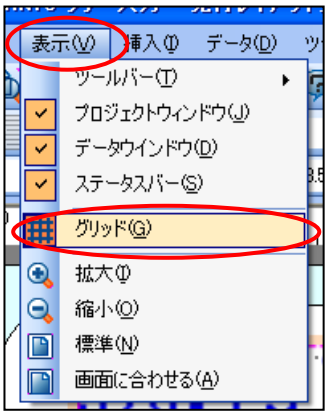
デザイン画面上に、オブジェクト配置の目安となるグリッドを表示します。

グリッド表示の ON/OFF は、ツールバーの「グリッド」ボタンや、メニューバーの「表示」の「グリッド」で操作できます。

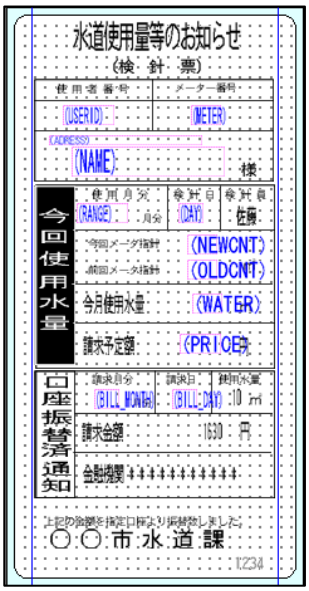
メニューバー「グリッド」ボタン



ツールバー「表示」の「グリッド」

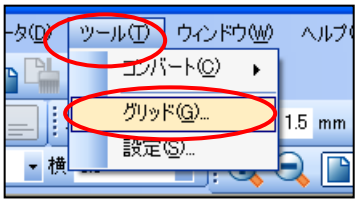


グリッドの表示

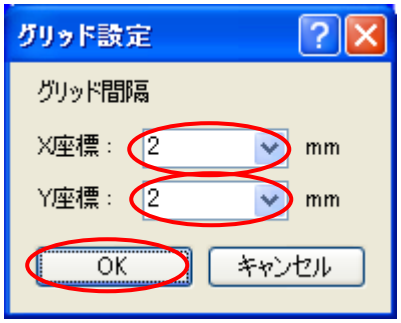


- グリッドの間隔を変更する

1) メニューバーの「ツール」の「グリッド」をクリックしてください。



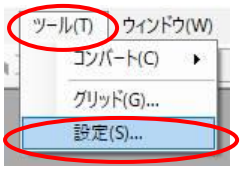
2) グリッド設定画面が表示されますので、グリッドの間隔を入力し、「OK」ボタンで確定してください。
グリッドは、0.25mm 単位で設定が可能です。



5-8 ツール設定

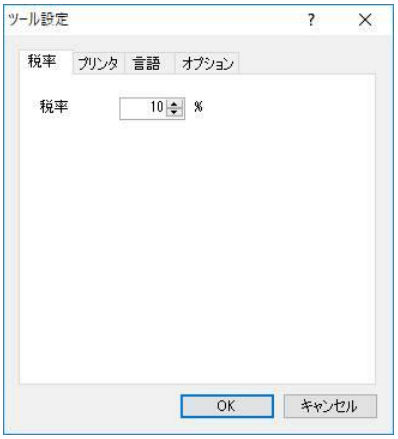
ツールの全体に共通する設定を行います。

メニューバーの「ツール」から、「設定」を選択してください。



- **税率設定タブ**

  新規にレイアウトを作成した際の、税率の初期値を設定します。



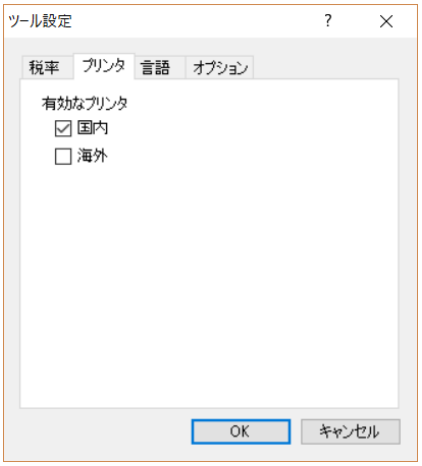
  整数の値で税率を入力し、「OK」ボタンを押します。

  設定した税率は、新規に作成したレイアウトに適用されます。

  既存のレイアウトの税率設定の変更は、「レイアウト設定」から行ってください。

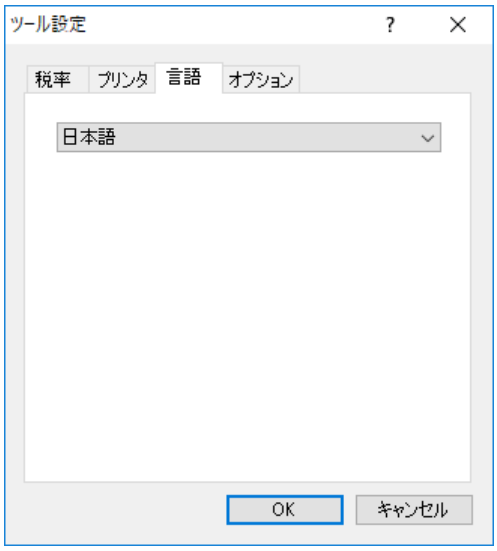
- **プリンタタブ**

  プリンタ選択画面に表示するプリンタを指定します。



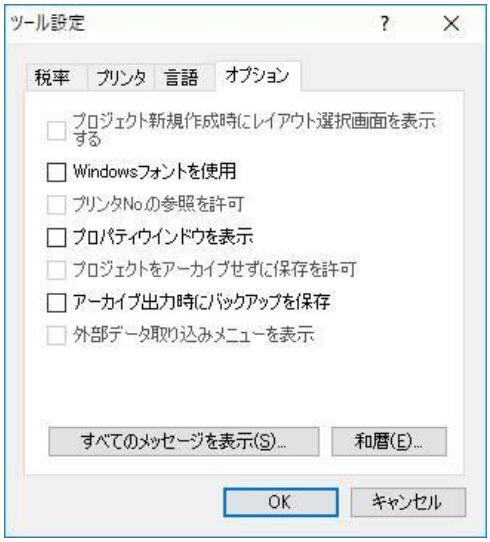
- **言語タブ**

  SmaPri Designer の表示言語を選択します。



- **オプションタブ**

  ツール動作についての設定を行います。

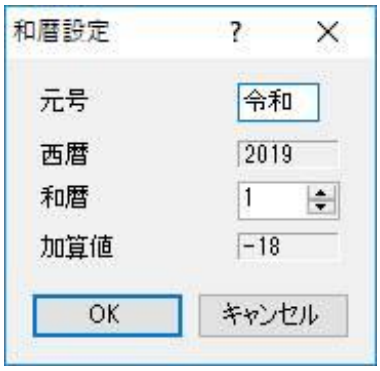


設定項目	内容
プロジェクト新規作成時にレイアウト選択画面を表示する	※SmaPri Designer では使用不可
Windows フォントを使用	チェックを入れると、Windows フォントが選択可能になります。
プリンタ No.の参照を許可	※SmaPri Designer では使用不可
プロパティウィンドウを表示する	チェックを入れると、プロパティウィンドウでのオブジェクト設定が可能になります。
プロジェクトをアーカイブせずに保存を許可	※SmaPri Designer では使用不可
アーカイブ出力時にバックアップを保存	データ出力をする際に、SmaPri Designer の Project ファイルのバックアップをアーカイブファイル内に保存します。

外部データ取り込みメニューを表示	※SmaPri Designer では使用不可
「すべてのメッセージを表示」ボタン	「今後このダイアログボックスを表示しない」というチェックを有効にし、表示されなくなったメッセージを再度表示します。
「和暦」ボタン	「和暦設定」を表示します。

- **和暦設定**

  元号と和暦を設定して、「OK」ボタンを押してください。



設定項目	内容
元号	元号を漢字 2 文字以下で設定します。（未入力も可）
西暦	パソコンのシステム日付から現在の西暦を表示します。
和暦	現在の和暦を 1～99 までの 2 桁の数字で入力します。
加算値	西暦の下 2 桁に対して、設定された和暦がいくつ加算されているかを計算して表示します。

5-9 オブジェクトのグルーピング

レイアウト上の複数のオブジェクトを選択し、一つのグループにまとめることができます。

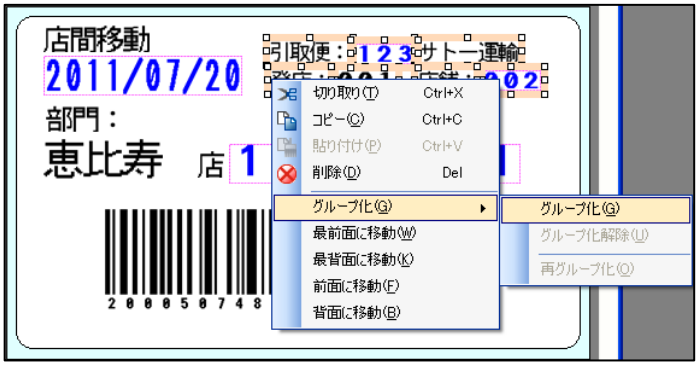
グループ化したオブジェクトは、移動させたり、回転させたりする場合などに便利です。

- グルーピングする

1) レイアウト上のグルーピングしたいオブジェクトを選択します



2) 選択したオブジェクトの上で右クリックし、「グループ化」-「グループ化」を選択します



3) 選択したオブジェクトがグループ化されます



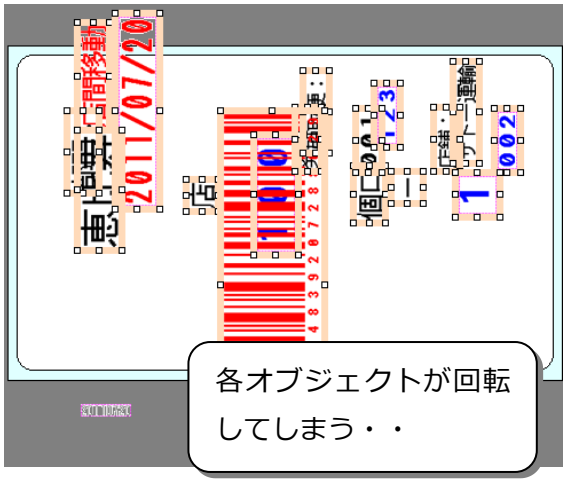
オブジェクトをグループ化すると・・

便利さ１：レイアウト編集時、グループ単位でオブジェクトをまとめて移動できます（選択ミスがありません）

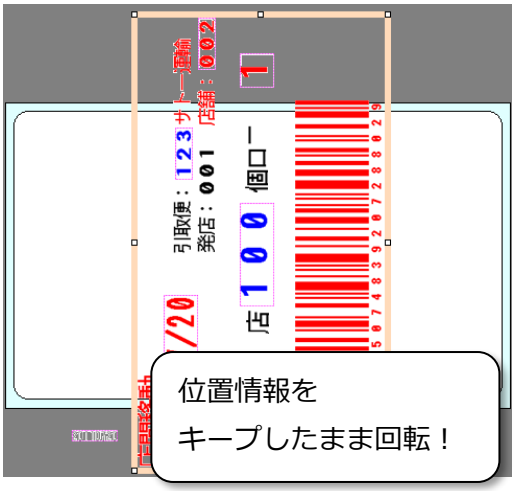


便利さ２：位置関係を崩さず回転できます

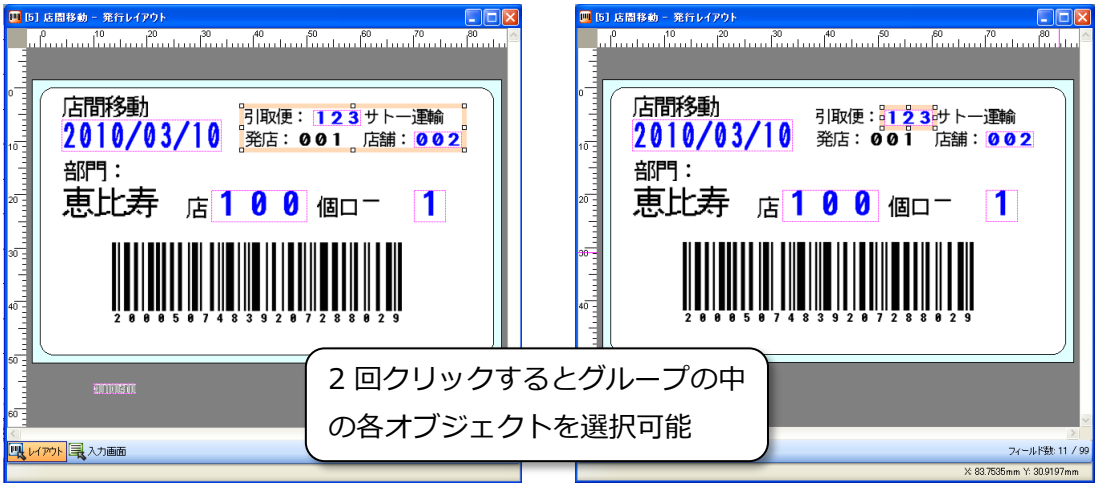
【全オブジェクト選択し、回転させると・・】



【グルーピングの上で回転させると・・】



グルーピングされている状態でも、各オブジェクトの設定を変更できます



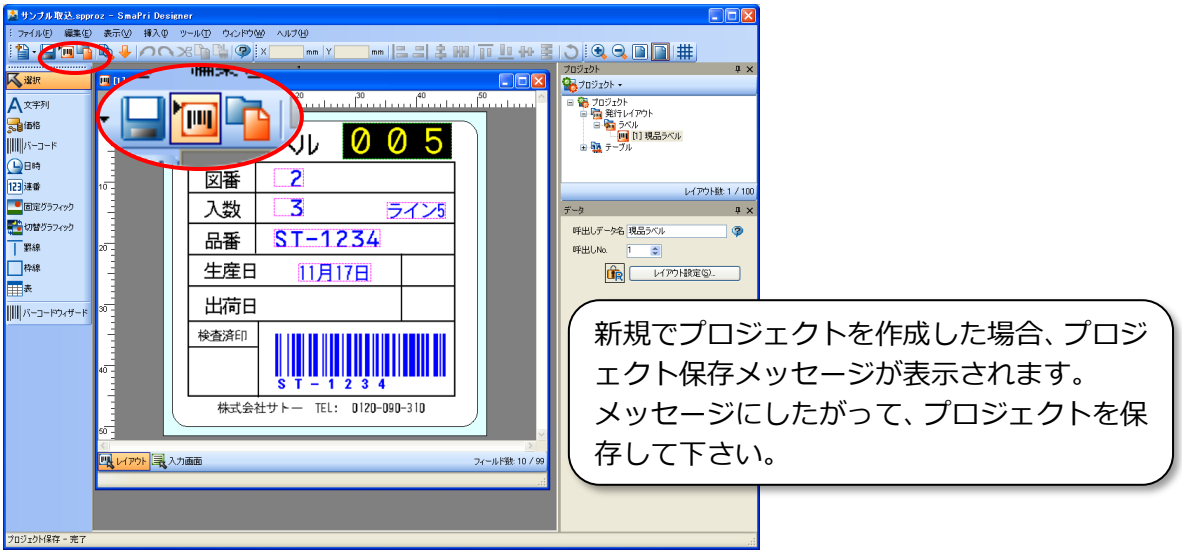
5-10 サンプルデータの取込

プリンタごとに用意されたサンプルを利用してレイアウトを作成できます。

印字サンプルを利用することで、レイアウト作成の時間を短縮することができます。

- サンプルを利用する

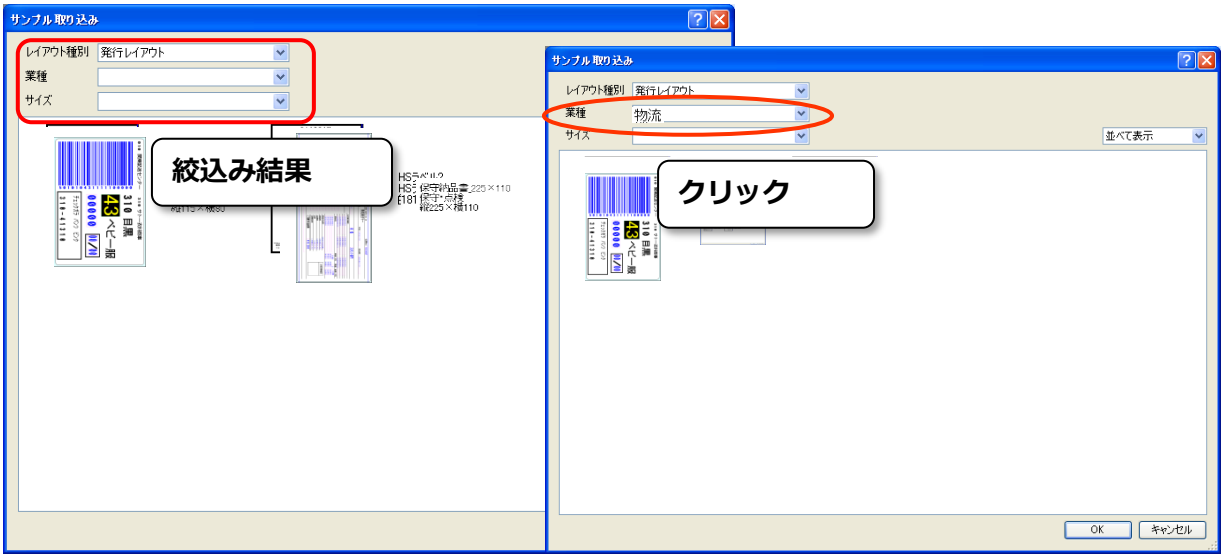
1) ツールバーの「サンプル取込」ボタンをクリックします。



2) サンプル選択画面が開きます。

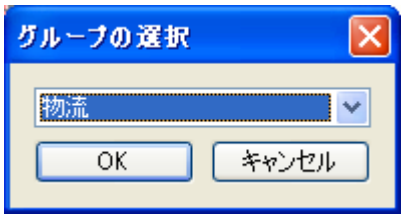
3) 表示された一覧から直接選択するか、「レイアウト種」、「業種」、「サイズ」でレイアウトの絞込みを行います。

4) 作成したいレイアウトのイメージに近いレイアウトを選択し、クリックします。

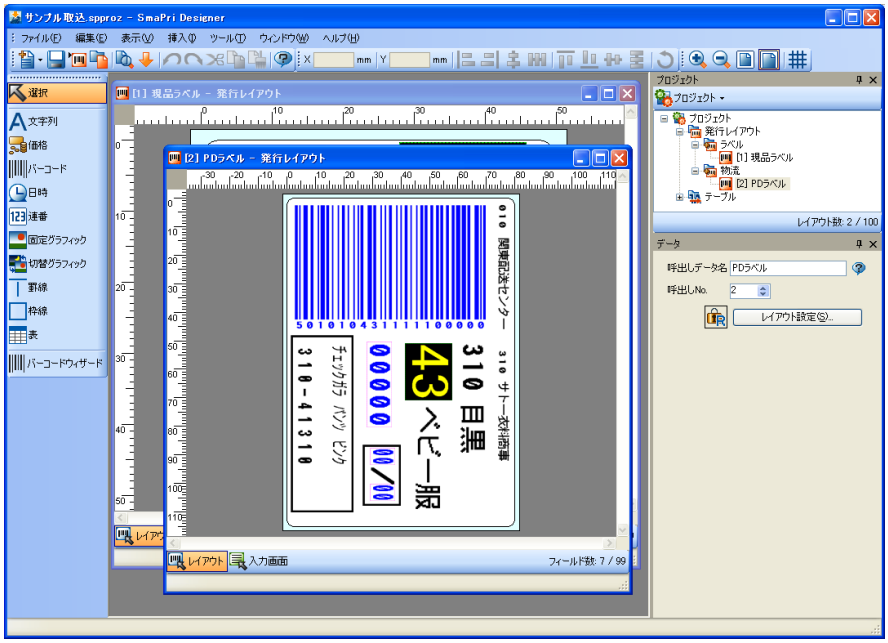


5) 編集中のプロジェクトに複数のグループがある場合、格納するグループを選択してください。

登録後もプロジェクトウィンドウ内での切り取り、貼り付け動作で、グループの変更が可能です。



6) 取り込んだファイルが画面に表示されます。



7) 貼り付けられた項目の設定を、デザインウィンドウやデータウィンドウで変更します。

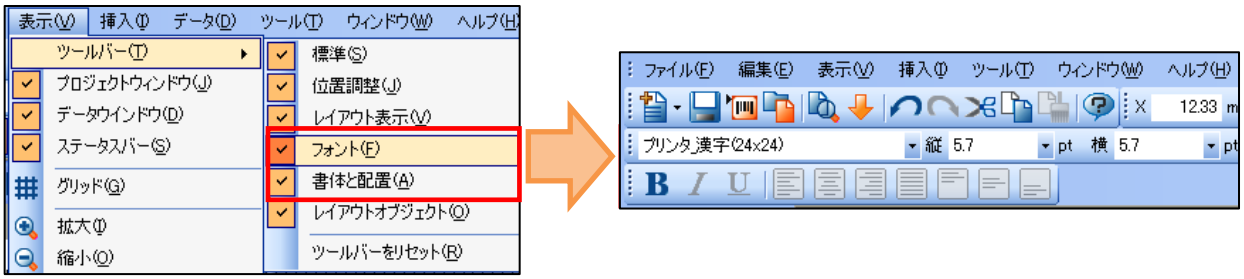
5-11 フォント一括設定

複数のオブジェクトのフォントを一括で変更できます。

- フォントを一括で変更する

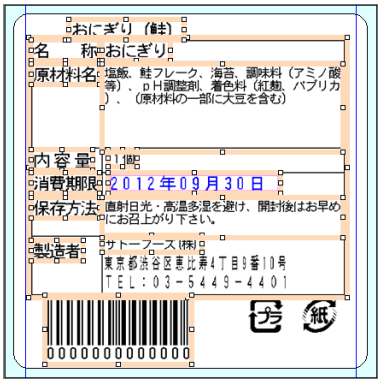
1) ツールバーに「フォント」メニューと「書体と配置」メニューを表示させます。

- フォント ：[表示]>[ツールバー]>[フォント]をチェックします。
- 書体と配置 ：[表示]>[ツールバー]>[書体と配置]をチェックします。



2) レイアウトでフォントを変更したいオブジェクトを複数選択します。

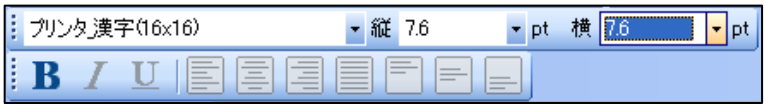
ドラッグ＆ドロップや Shift+クリックで複数選択が可能です。



選択した複数のオブジェクトが複数のフォント種が指定されている場合は、フォントウィンドウは空白になります



3) フォント種、縦／横倍率、書体などを指定すると、複数のオブジェクトに変更が反映されます。



フォントウィンドウに表示されるフォント一覧は選択しているオブジェクトの条件によって変わります。

例えば、Windows フォントが使えないオブジェクトを含む場合、Windows フォントは選択できません。



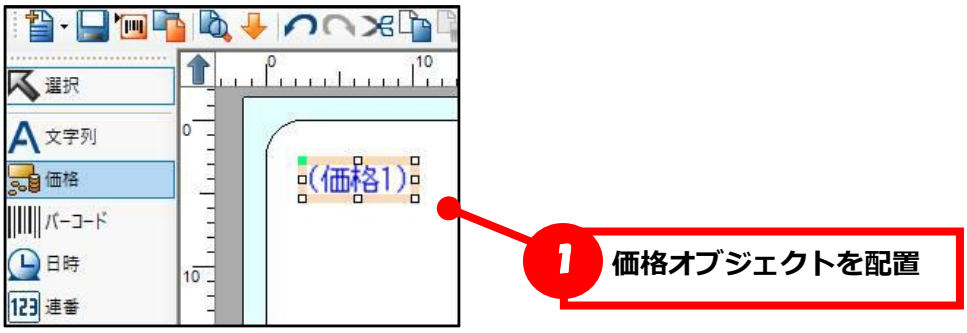
フォント種を「プリンタ_漢字 24×24」から「プリンタ_漢字 16×16」の縦横 2 倍に一括変更！

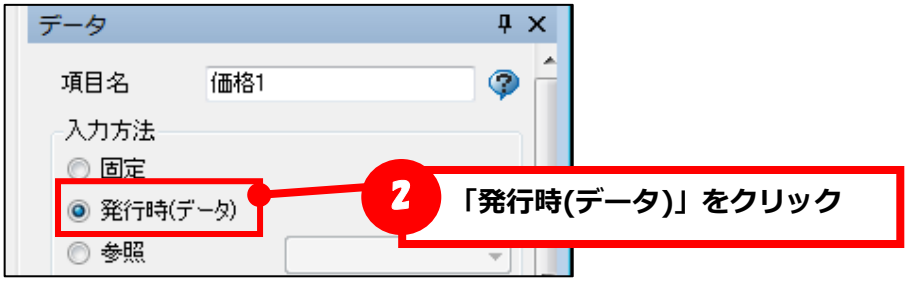


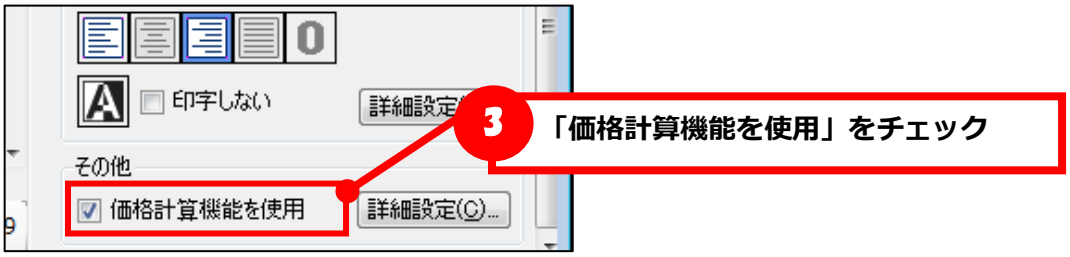
5-12 税込価格、本体価格を作成する

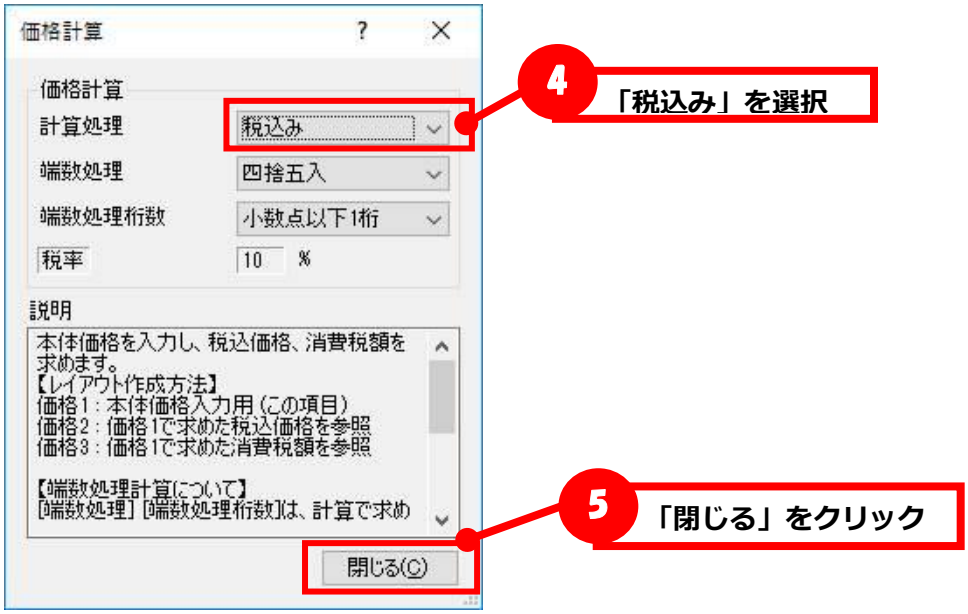
税率の設定や税込み価格、本体価格の作成方法を説明します。

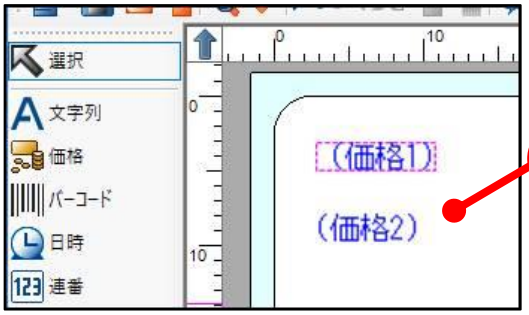
- 本体価格から税込価格を求める



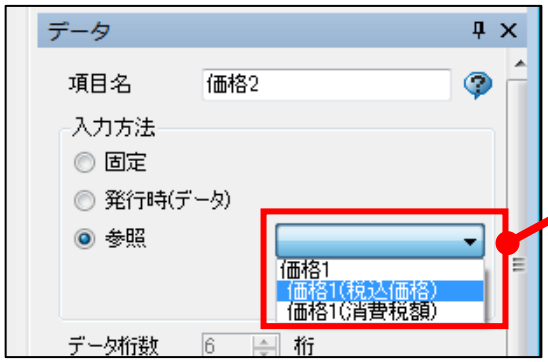




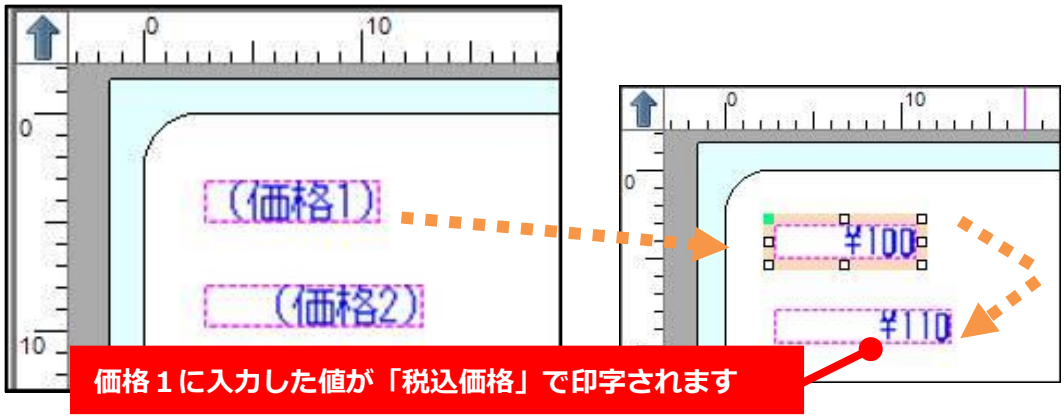




6 価格オブジェクトを配置



7 「価格 1(税込価格)」を選択

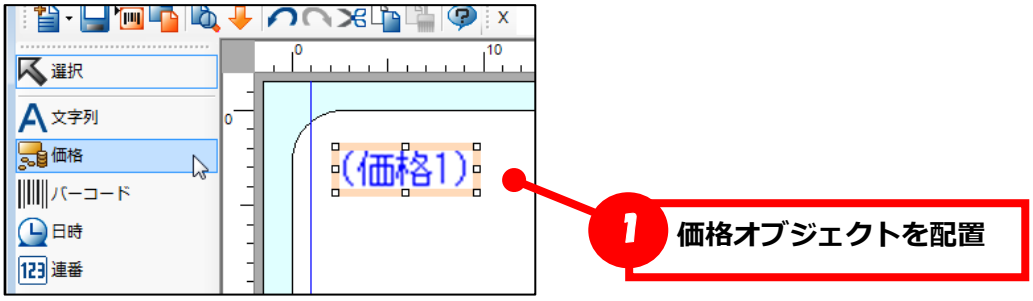


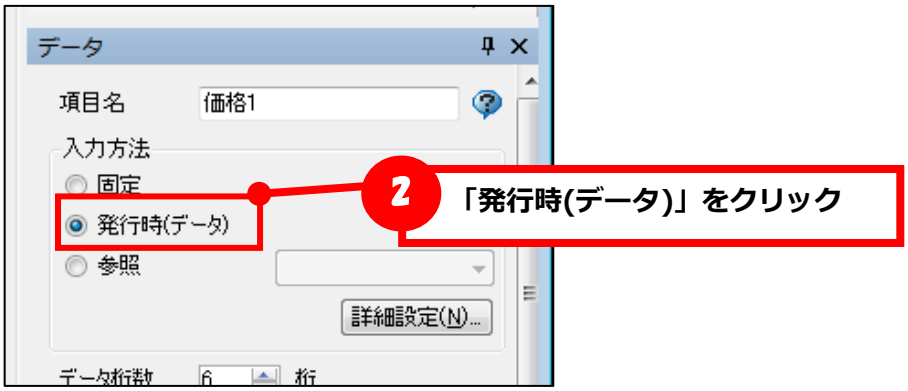
価格 1 に入力した値が「税込価格」で印字されます

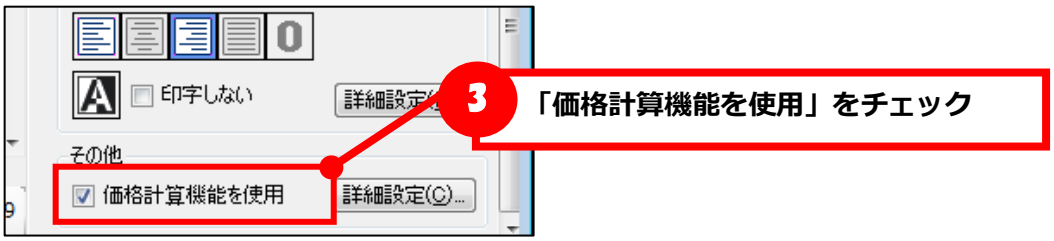


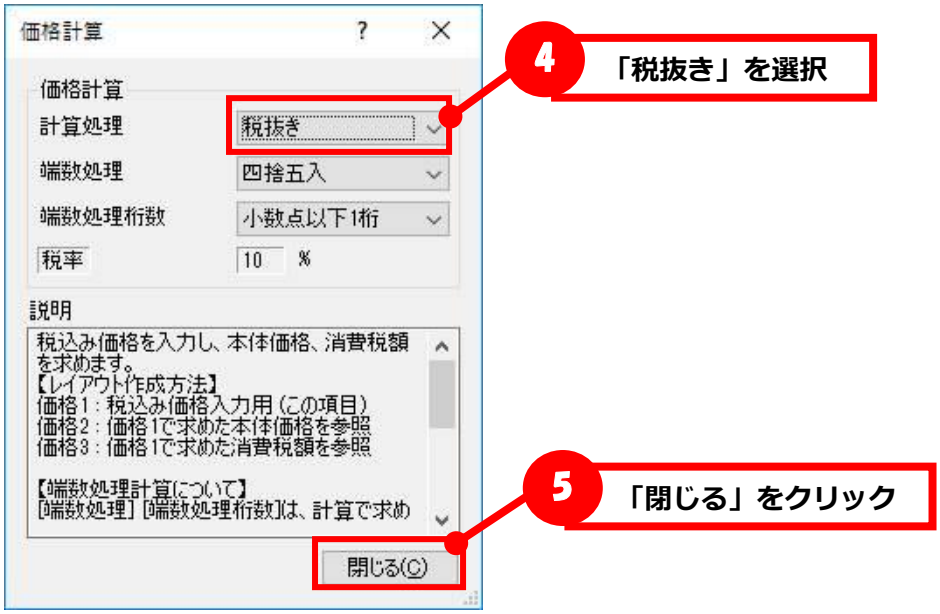
「税込価格」のみ表示する場合は、
本体価格を「印字しない」に設定します

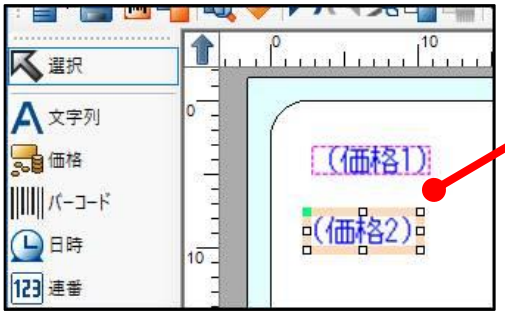
- 税込価格から本体価格(税抜価格)を求める







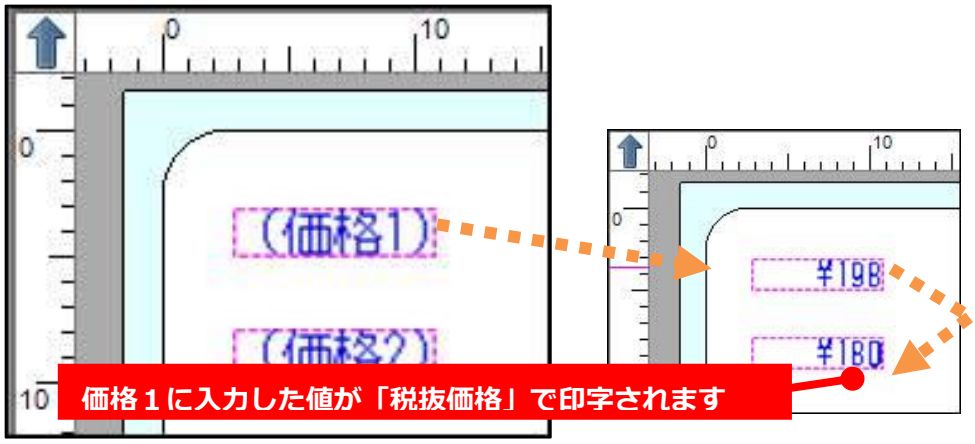




6 価格オブジェクトを配置



7 「価格 1(税抜価格)」を選択



価格 1 に入力した値が「税抜価格」で印字されます

- 端数処理を変更する

価格計算で発生する端数の処理方法を設定できます。端数処理は計算で求めた**消費税額に対して**おこないます。計算途中の値や計算結果に対しての端数処理ではないためご注意ください。

端数処理の切り捨て、切り上げ、四捨五入は指定桁以下のすべての値を対象に端数処理をおこないます。
切り上げ（小数点第一位）*では、小数点第一位の値のみを対象に端数処理をおこないます。
*「切り上げ（小数点第一位）」の使用には、SmaPri Driver も対応バージョンを必ず使用してください。
対応していないバージョンで発行すると、四捨五入で計算されますのでご注意ください。
対応バージョンについては SmaPri Driver のバージョン履歴を参照してください。

■本体価格 576 円、税率 8%、税込計算の場合

端数処理	消費税額(計算結果)	消費税額(端数処理後)	税込価格
切り捨て	**46.08**	**46 円**	**622 円**
切り上げ	**46.08**	**47 円**	**623 円**
切り上げ(小数点第一位)	**46.08**	**46 円**	**622 円**
四捨五入	**46.08**	**46 円**	**622 円**

・税込み



計算処理「**税込み**」で求められる価格は「**税込価格**」と「**消費税額**」です。

入力価格が「128」、税率が「10」(%)の場合…

128 × 0.10 = **12.8** (消費税額)

端数処理が「**四捨五入**」、端数処理桁数が「**小数点以下 1 桁**」の場合…

12.8 ⇒ **13** (消費税額)

価格計算の結果… 税込価格「**141**」、消費税額「**13**」となります。

・税抜き



計算処理「**税抜き**」で求められる価格は「**税抜価格**」と「**消費税額**」です。

入力価格が「195」、税率が「10」(%)の場合…

195 ÷ 1.10 = 177.272727

195 − 177.272727 = **17.727273** (消費税額)

端数処理が「**切り上げ**」、端数処理桁数が「**小数点以下 1 桁**」の場合…

17.727273 ⇒ **18** (消費税額)

価格計算の結果… 税抜価格「**177**」、消費税額「**18**」となります。

[注意] 税抜価格の誤差について

税込価格より税抜価格と消費税額を求める場合、端数処理を行なうため、求めた値から税込価格を計算し直すと、元の税込価格と誤差が発生しますので、十分ご注意ください。

5-13 税率を設定する

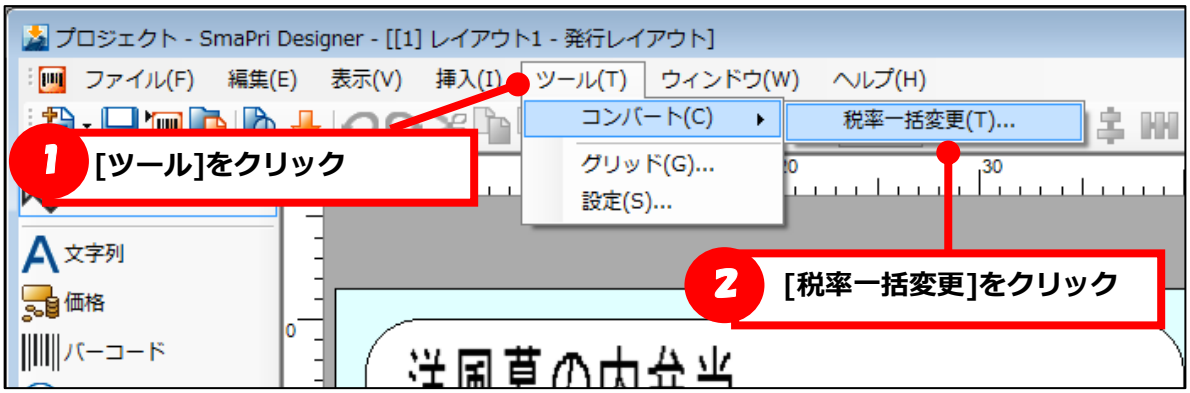
税率の設定や税込み価格、本体価格の作成方法を説明します。

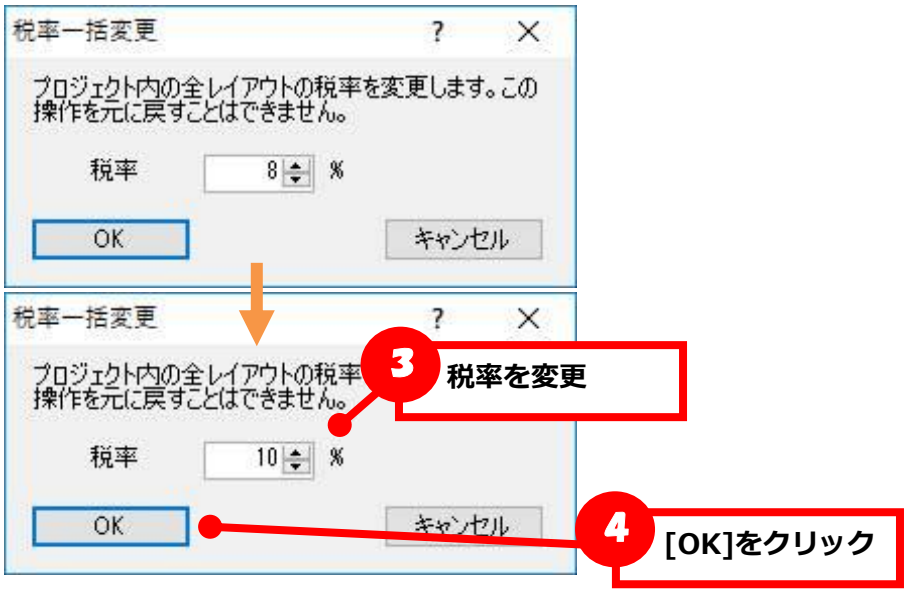
税率はレイアウト毎に設定値を保持しています。

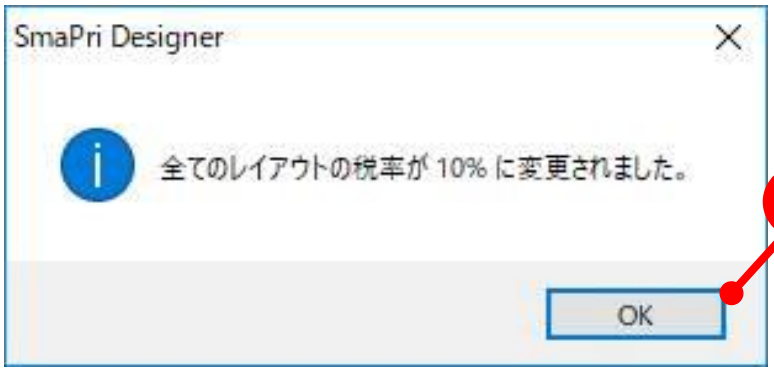
設定する対象が作成済みのレイアウト（**既存レイアウト**）か、新規に作成するレイアウト（**新規レイアウト**）かによって異なります。

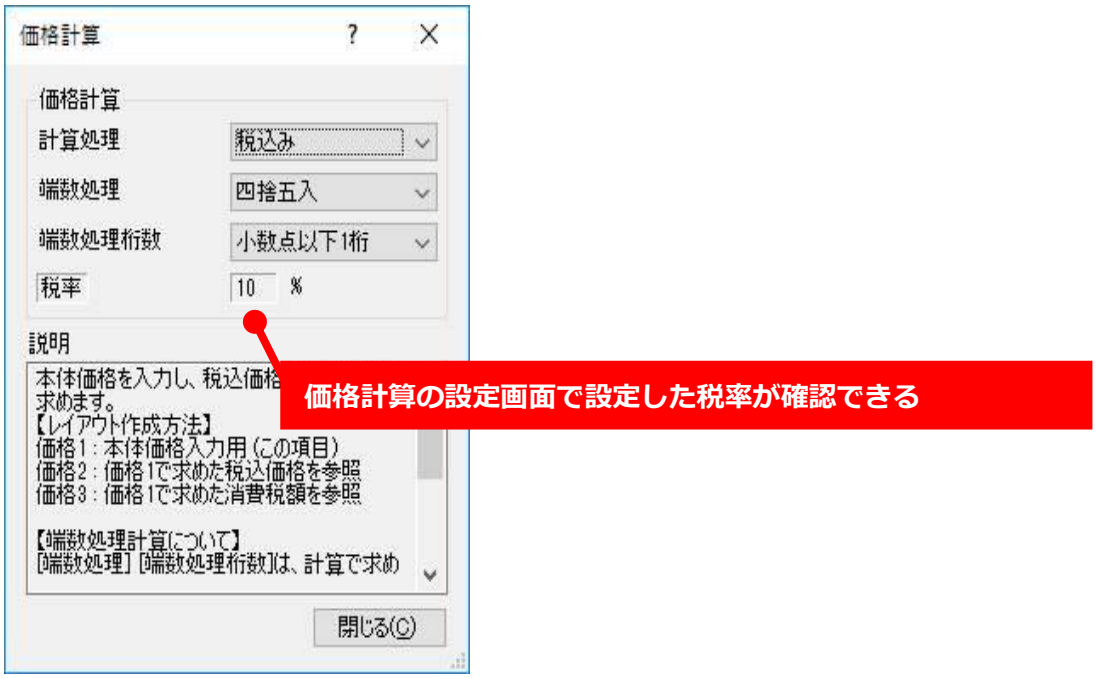
対象	設定内容	設定項目
既存レイアウト	プロジェクト内のレイアウトを一括で変更する。	ツール ＞ コンバート ＞ 税率一括変更
	プロジェクト内のレイアウトを個別に変更する。	レイアウト設定 ＞ 税率・割引率
新規レイアウト	プロジェクト新規作成時の税率を設定する。	ツール ＞ 設定 ＞ 税率
	プロジェクト内のレイアウト新規作成時の税率を設定する。	レイアウトデフォルト設定 ＞ 税率・割引率

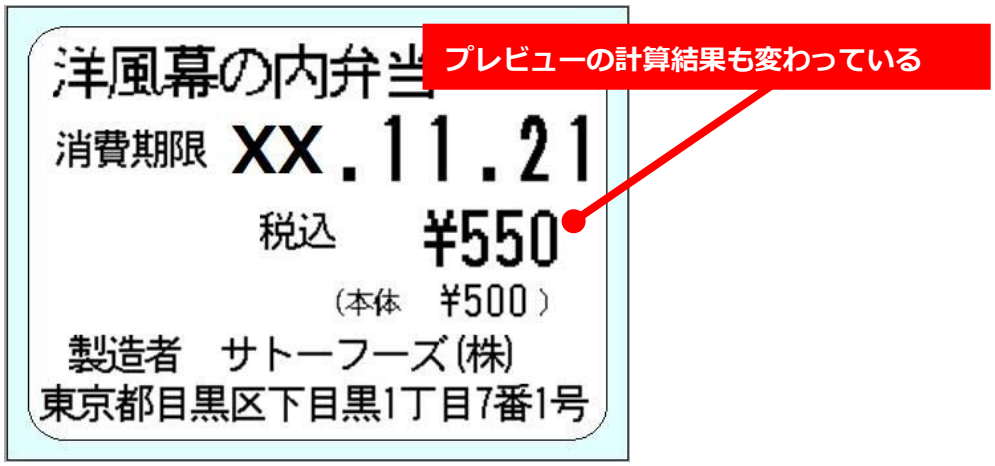
- 税率を一括で変更する



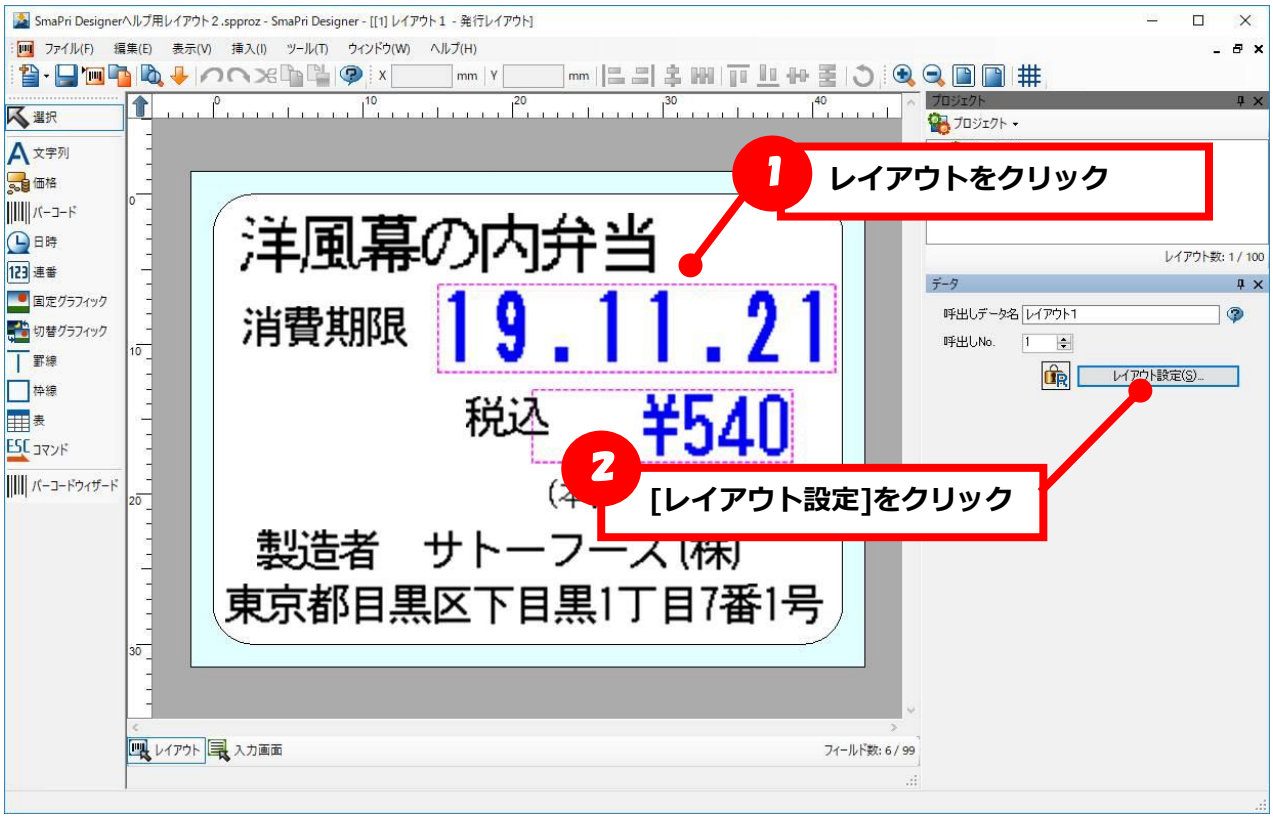



SmaPri Designer
全てのレイアウトの税率が 10% に変更されました。
OK
5
[OK]をクリック

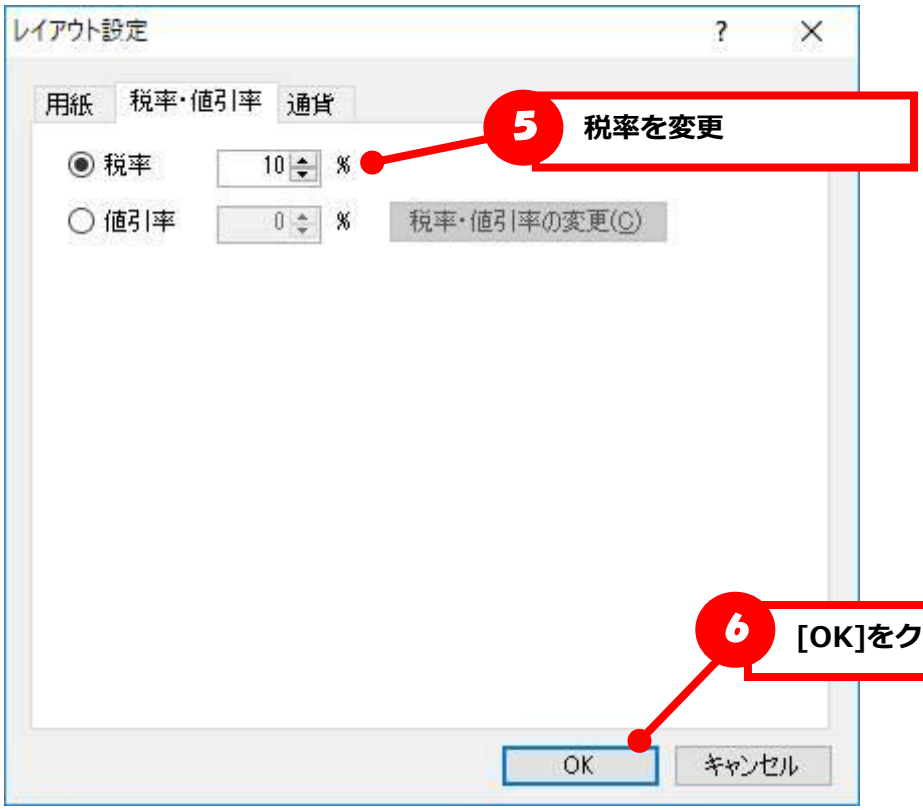

価格計算
価格計算
計算処理
税込み
端数処理
四捨五入
端数処理桁数
小数点以下1桁
税率
10
%
説明
本体価格を入力し、税込価格
求めます。
【レイアウト作成方法】
価格1：本体価格入力用（この項目）
価格2：価格1で求めた税込価格を参照
価格3：価格1で求めた消費税額を参照
【端数処理計算について】
[端数処理]、[端数処理桁数]は、計算で求め
閉じる(C)
価格計算の設定画面で設定した税率が確認できる

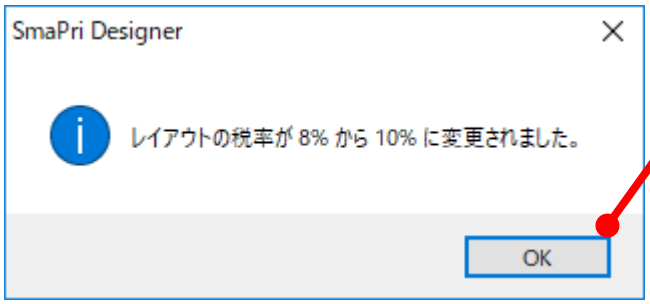

洋風幕の内弁当
消費期限 XX.11.21
税込 ¥550
（本体 ¥500）
製造者 サトーフーズ(株)
東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
プレビューの計算結果も変わっている

- 税率を個別に変更する

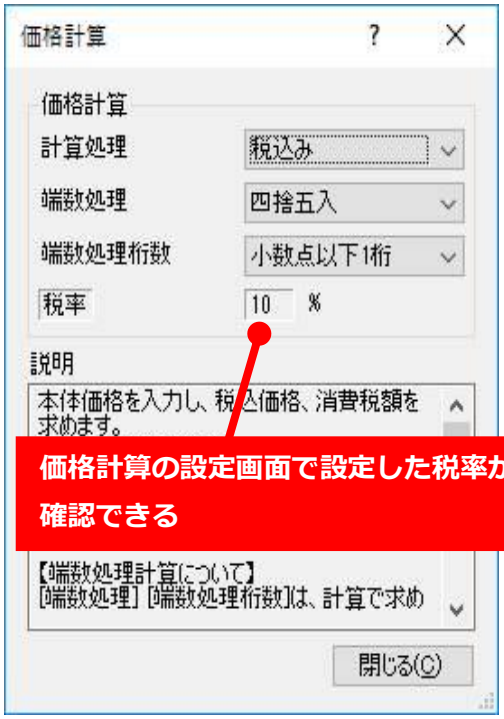

1 レイアウトをクリック
洋風幕の内弁当
消費期限 19.11.21
税込 ¥540
製造者 サトーフーズ(株)
東京都目黒区下目黒1丁目7番1号
2 [レイアウト設定]をクリック
レイアウト設定(S)...


レイアウト設定
用紙
税率・値引率
通貨
税率
値引率
%
税率・値引率の変更(C)
3 [税率・値引率]をクリック
4 [税率・値引率の変更]をクリック

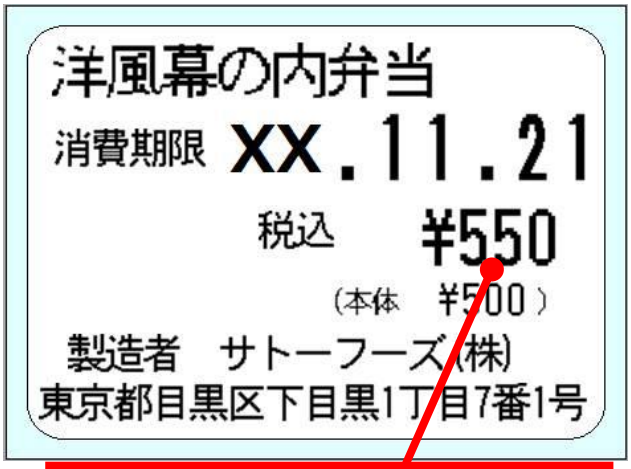

レイアウト設定
用紙
税率・値引率
通貨
税率
値引率
10
%
税率・値引率の変更(C)
5 税率を変更
6 [OK]をクリック
OK
キャンセル



7 [OK]をクリック

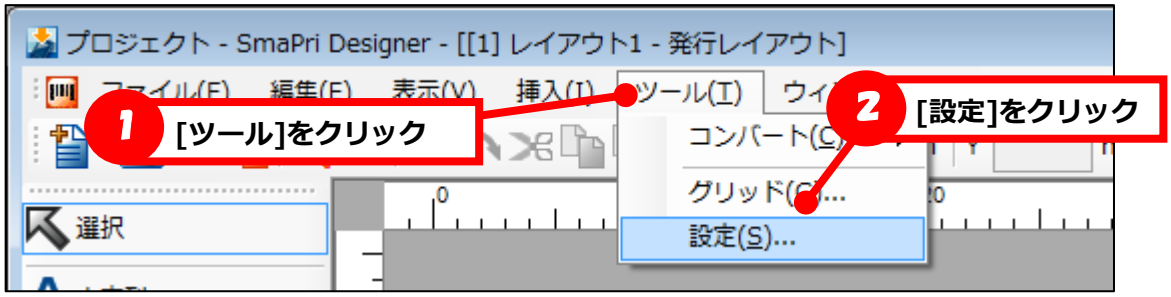


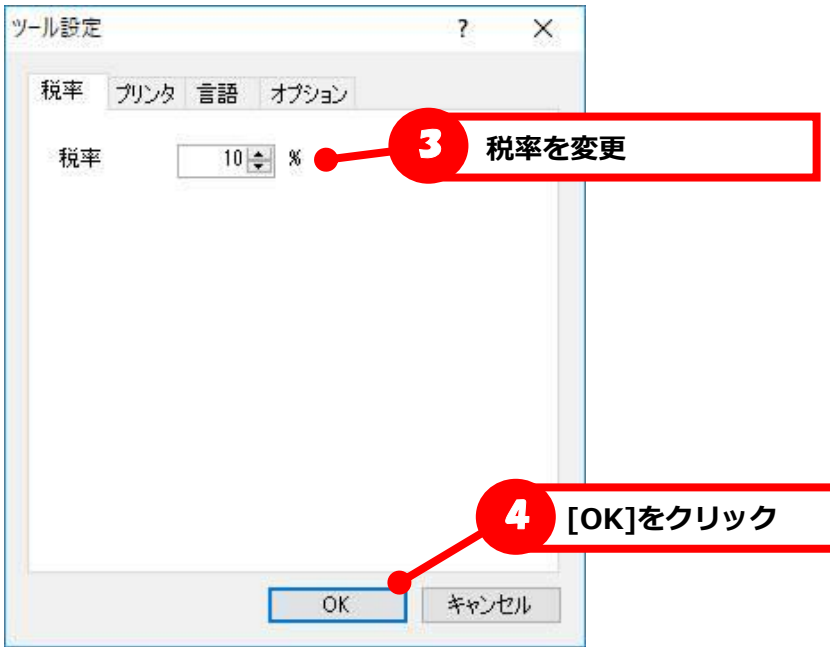
価格計算の設定画面で設定した税率が確認できる



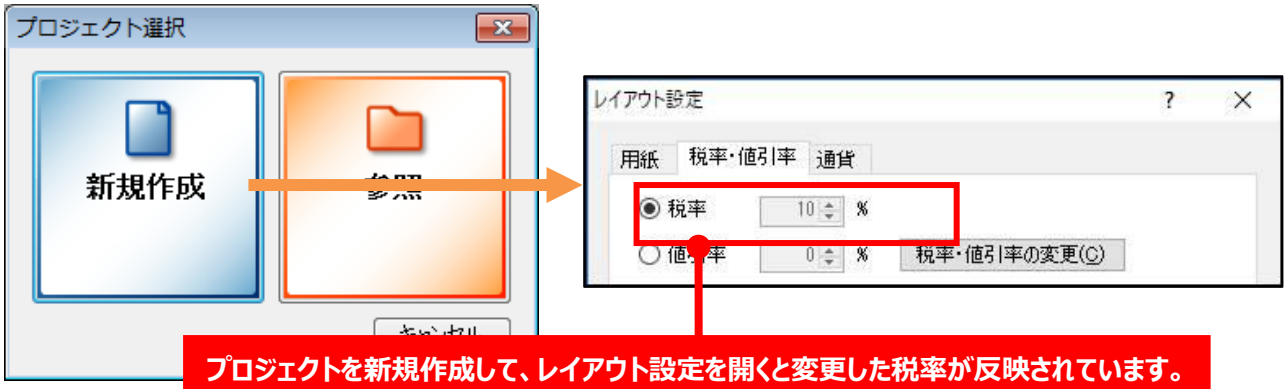
プレビューの計算結果も変わっている

- プロジェクト新規作成時の税率を設定する



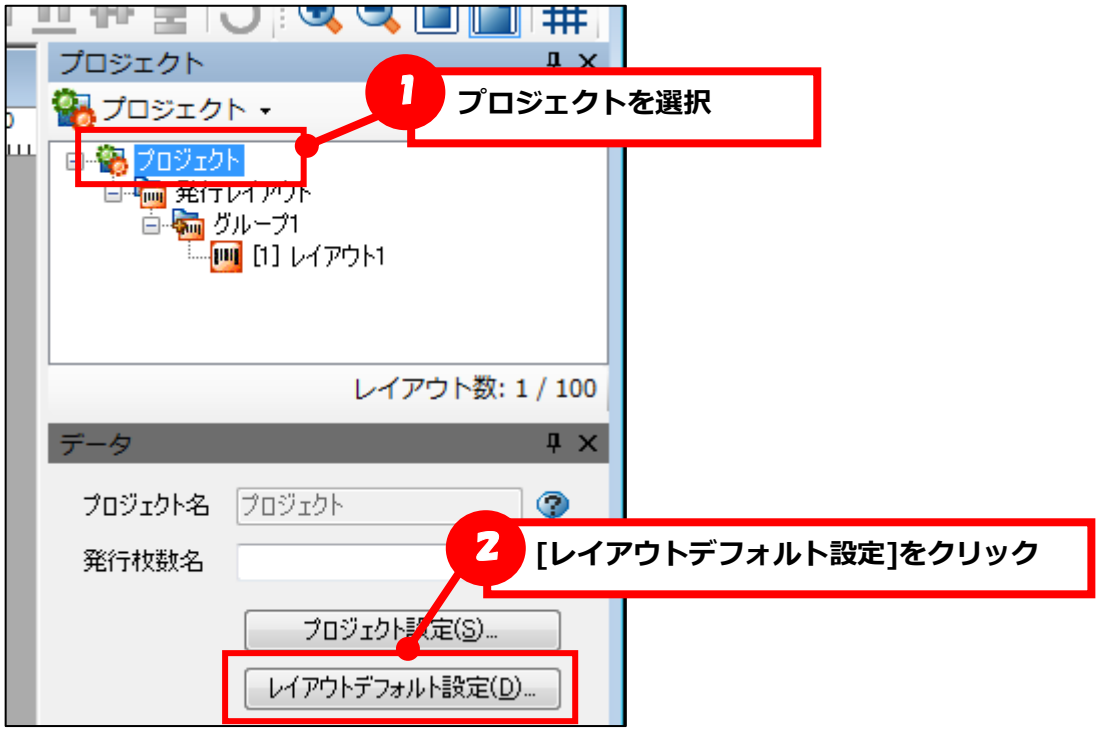


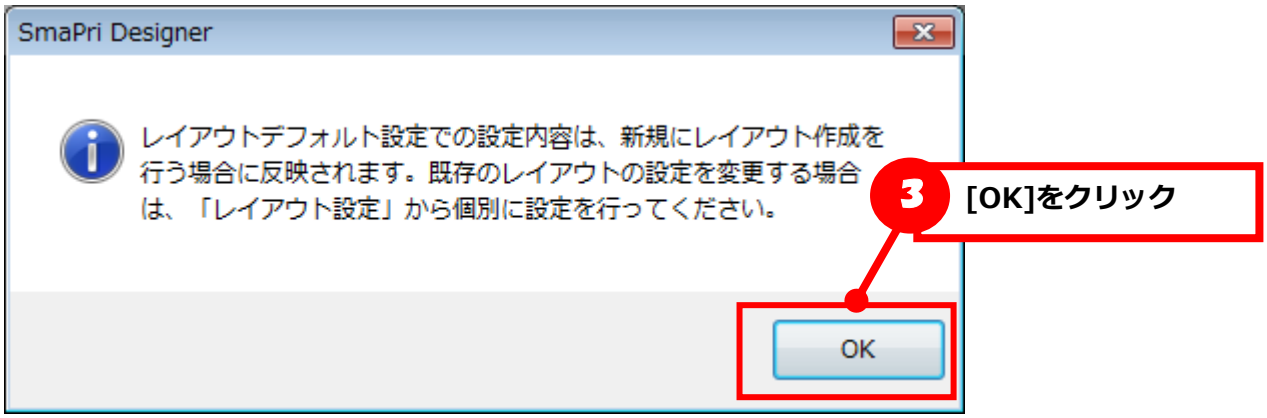


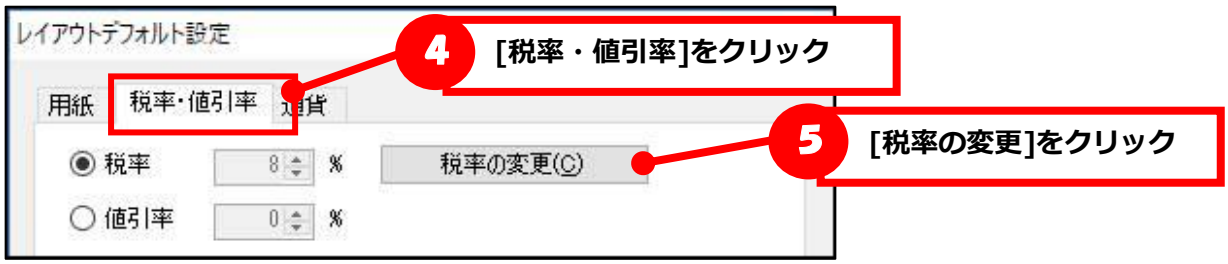


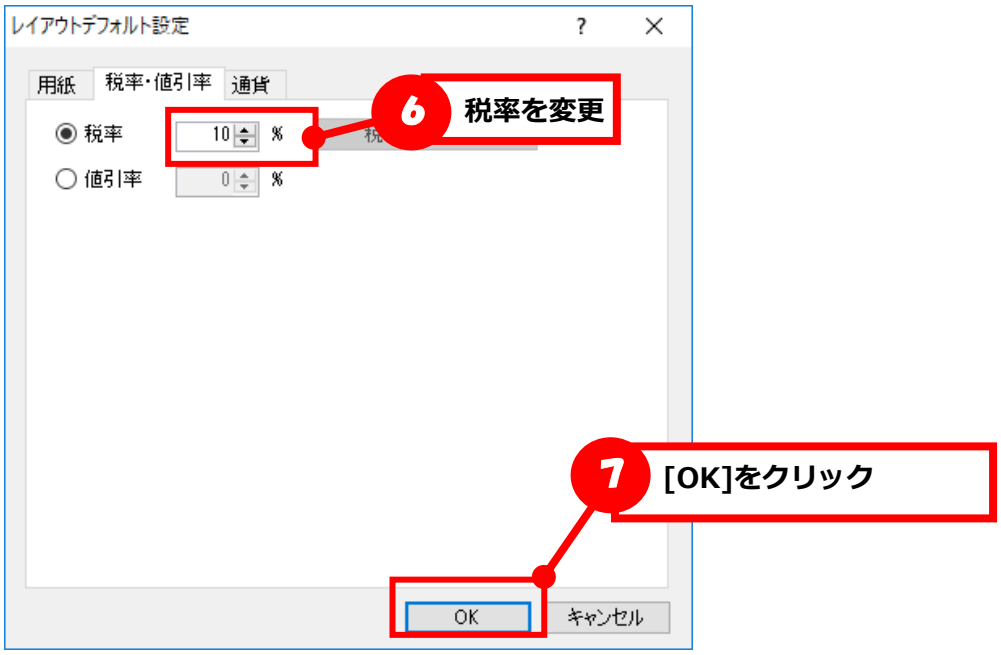
プロジェクトを新規作成して、レイアウト設定を開くと変更した税率が反映されています。
既存プロジェクトの税率は変更されませんのでご注意ください。

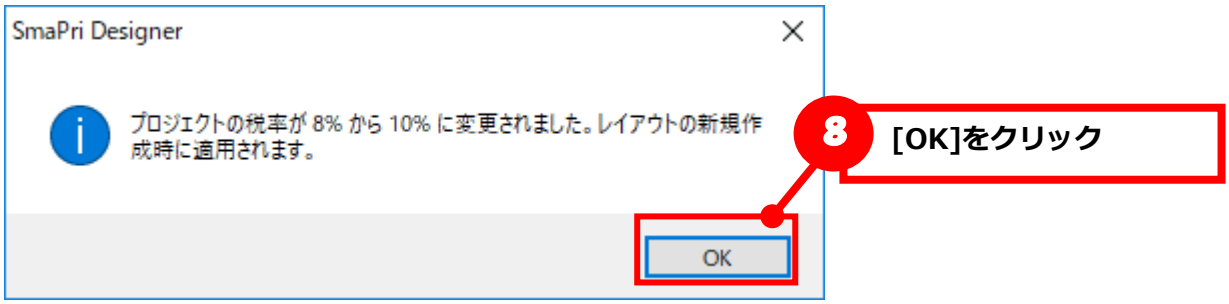
- レイアウト新規作成時の税率を設定する

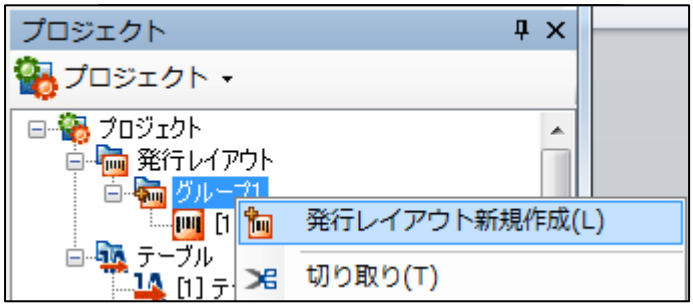














レイアウトを新規作成すると、レイアウト設定に税率が反映されています。
既存レイアウトには反映されませんのでご注意ください。

5-14 用紙回転設定

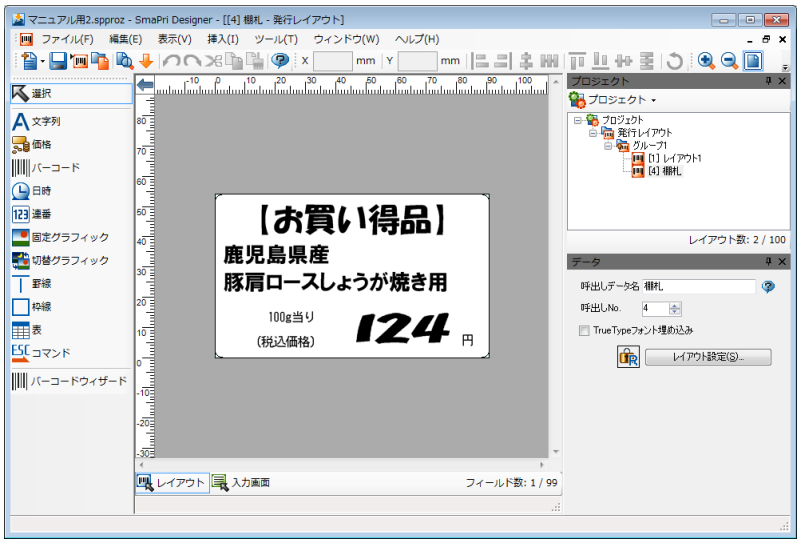
デザイン画面の用紙を 0 度、90 度、180 度、270 度に切り替えて表示します。

印字ラベル



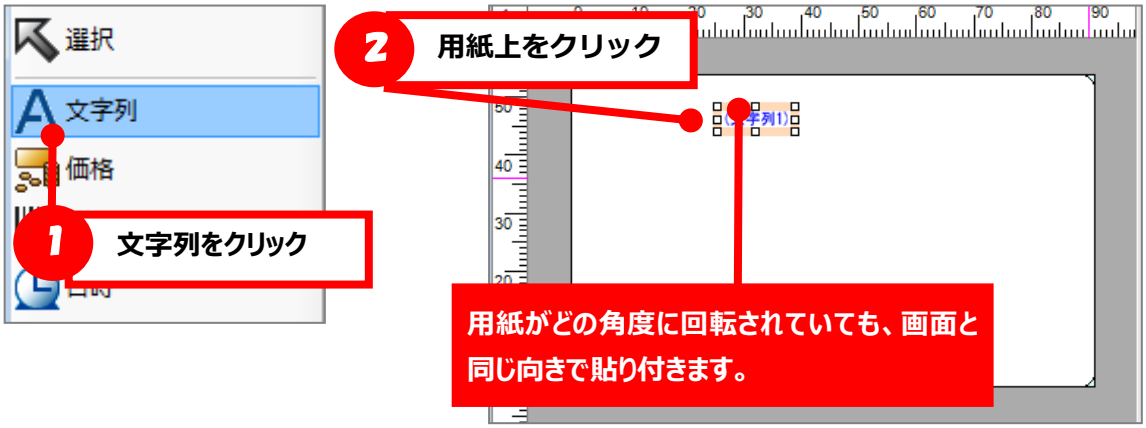
印字方向

デザイン画面

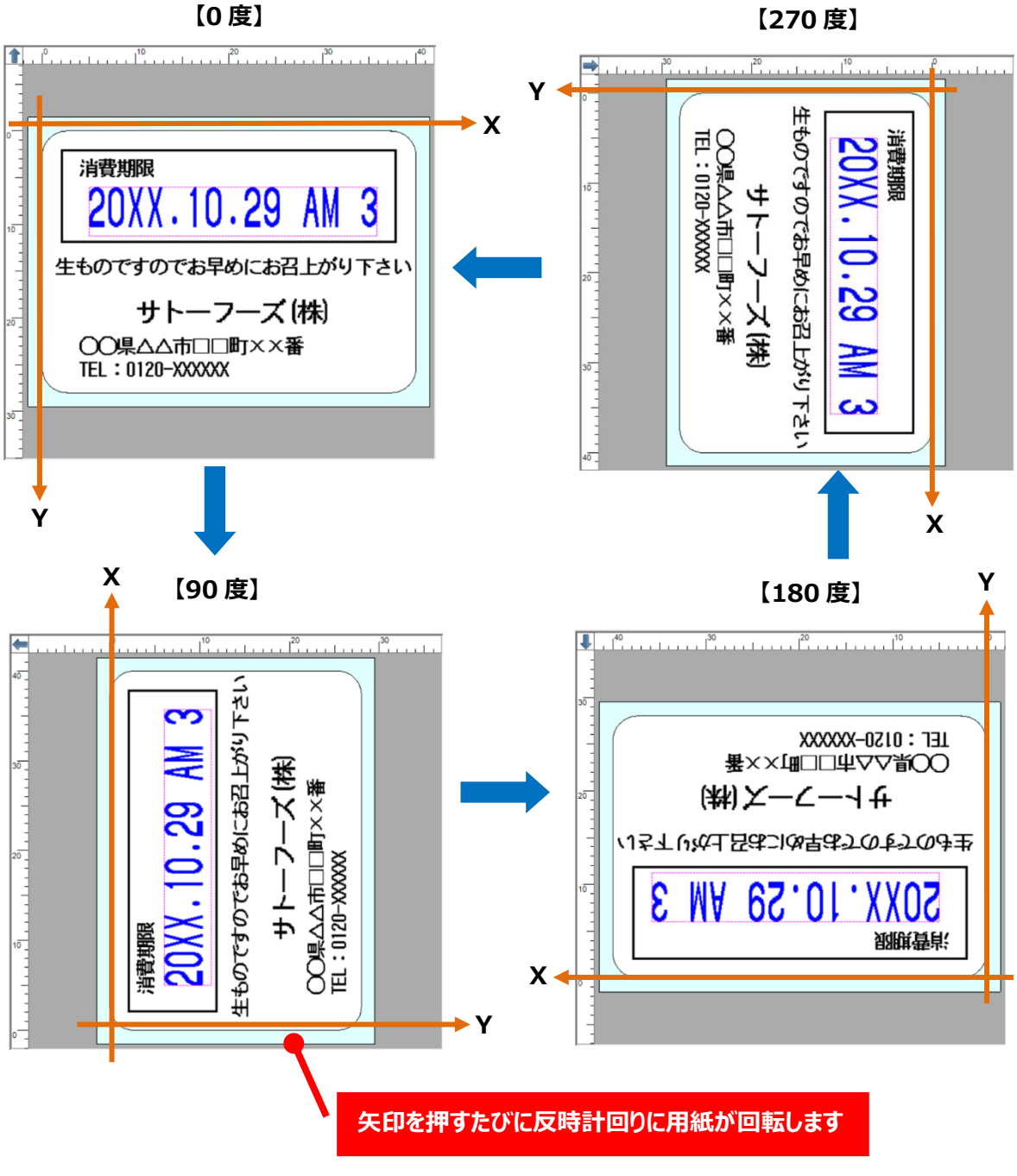


- 用紙を回転する




選択
文字列
価格
1 文字列をクリック
2 用紙上をクリック
用紙がどの角度に回転されていても、画面と同じ向きで貼り付きます。

- 用紙回転時の表示


【0 度】
【270 度】
【90 度】
【180 度】
X
Y
消費期限
20XX.10.29 AM 3
生ものですのでお早めにお召上がり下さい
サトーフーズ(株)
〇〇県△△市□□町××番
TEL：0120-XXXXXX
矢印を押すたびに反時計回りに用紙が回転します

5-15 桁数可変のバーコードを作成する

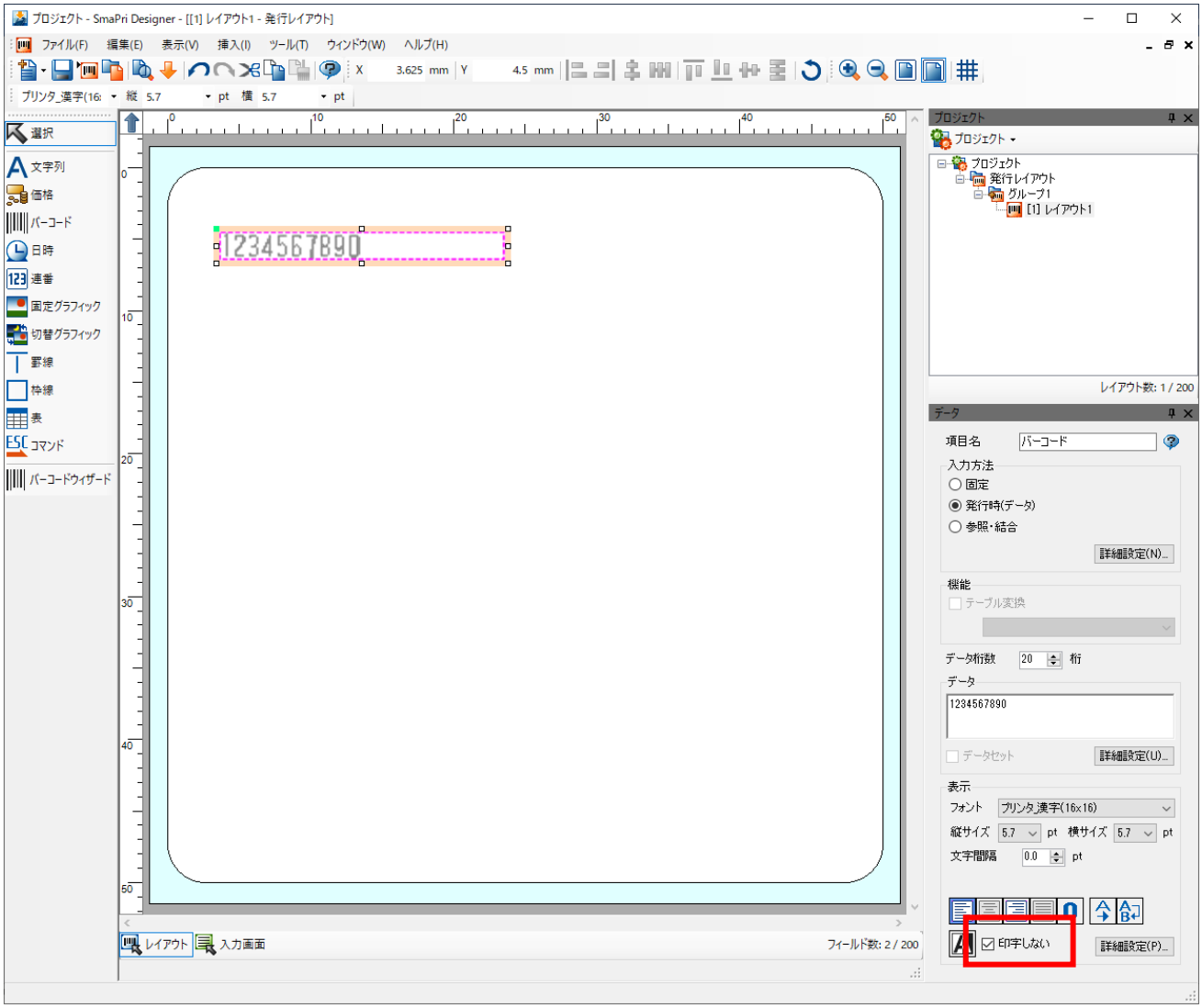
桁数可変のバーコードの作成方法を説明します。

CODE39 や QR コードなどの入力方法を「発行時(データ)」に設定時、桁数未満のデータは半角スペースで補填されます。別途データ入力用の文字列を用意し、バーコードの入力方法を「参照・結合」、補填種別を「補填しない」に設定することで半角スペース補填せずに桁数分のバーコードを印字することができます。

[設定手順]

レイアウトにバーコードデータ入力用の文字列を貼り付け、「印字しない」を有効にします。

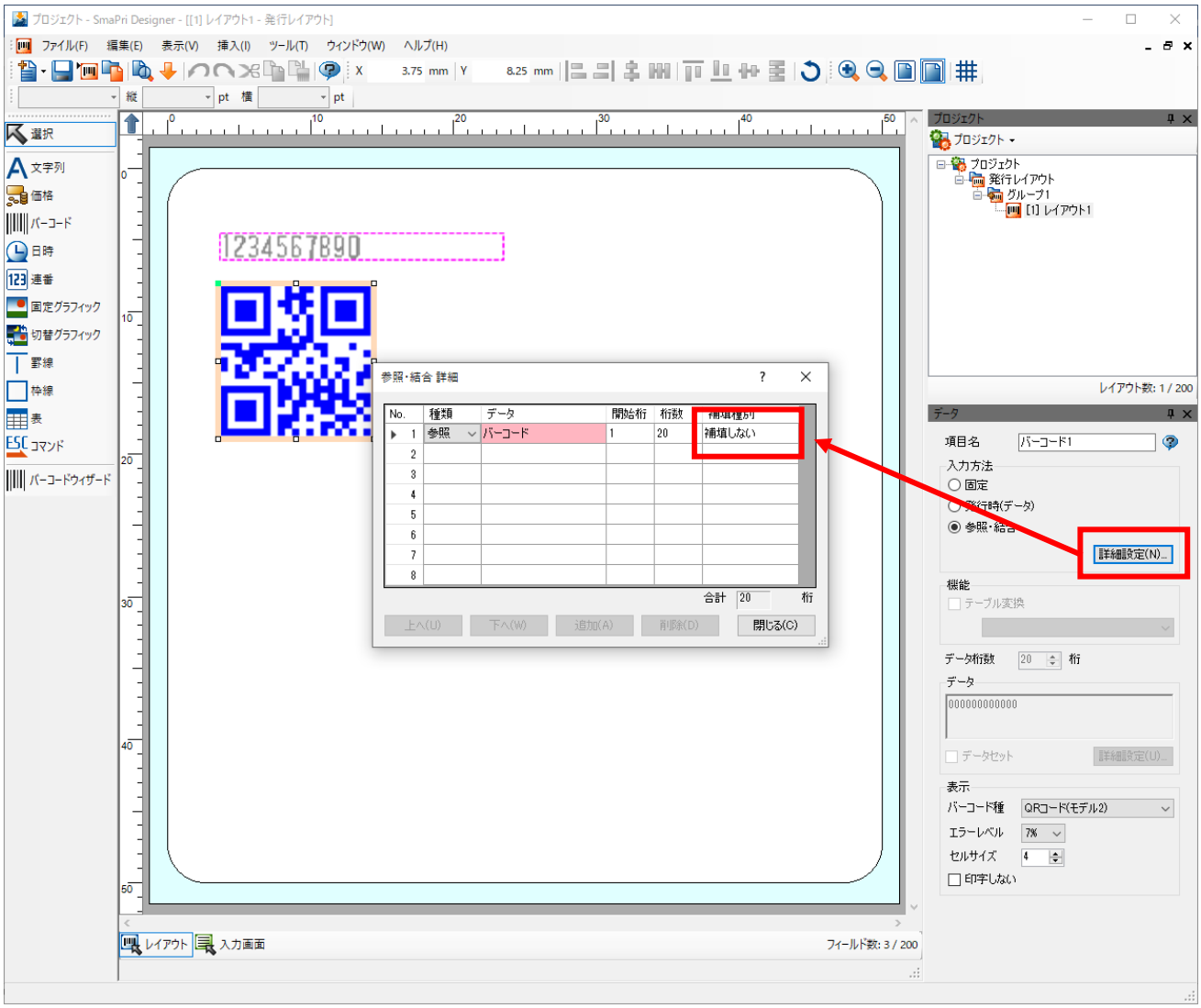
設定例）項目名：バーコード、入力方法：発行時(データ)、桁数：20 桁、印字しない：有効



次に、レイアウト上にバーコードを貼り付けます。ここでは QR コードを例に説明します。

QR コードの入力方法を「参照・結合」に設定し、詳細設定で参照元に入力用の文字列、補填種別に「補填しない」を設定します。

設定例）



以上で設定は完了です。

バーコード作成後はテストデータで必ず読み取り確認を行ってください。

5-16 QR コードのデータに改行コードを含める

QR コードのデータに改行コードを含める方法を説明します。

バーコード種が QR コードのとき、入力データに制御コードを含めることができます。

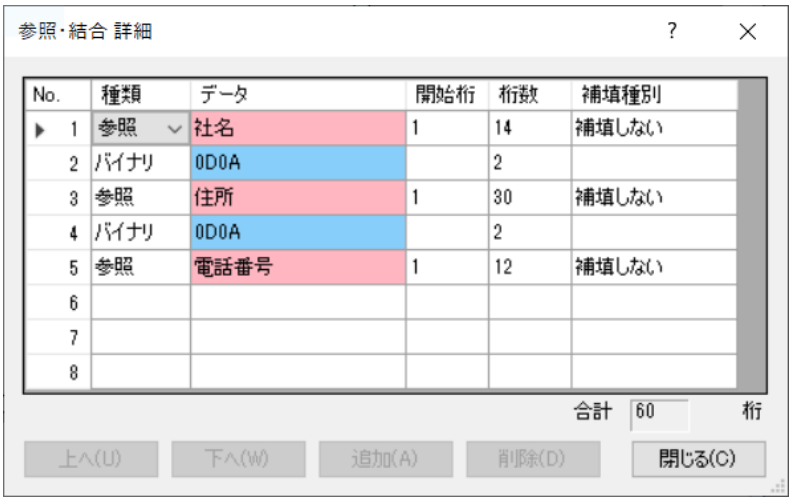
QR コードのデータに改行コード（CRLF）を含める方法を説明します。以下の 2 つの方法があります。

改行コード以外の制御コードも同様の方法で含めることができます。

- 「参照・結合」を使用する

「参照・結合」の種類に「バイナリ」を選び、16 進数で制御コードを入力します。

以下は入力データの間に改行コードを含める場合の例です。



- フォーマット印刷リクエストの入力データに改行コードを含める

SmaPri Driver へのフォーマット印刷リクエストに改行コードを含めた入力データをセットします。

必ずアプリ側で入力データの URL エンコード（CRLF→%0D%0A）を行ってください。

フォーマット印刷リクエストの例）

```
http://localhost:8080/Format/Print?__format_archive_url=http://xxxxx/test.spfmtz&__format_archive_update=update&__format_id_number=1&QRCode=SATO%0D%0ATokyo%0D%0A0120-XXXXXX&(発行枚数)=1
```

第６章

付録

6-1 用語

操作説明書内で使用される用語について説明します。

- **プロジェクト**

  SmaPri Designer で作成したデータの管理単位です。SmaPri Designer で作成したデータは、通常、プロジェクトファイル（拡張子「.sppro z」）として保存されます。
  また、オプションでファイルをアーカイブ（圧縮）せずに保存する方法があります。
  その場合は、プロジェクトファイル（拡張子「.sppro j」）と同名のフォルダ（フォルダ拡張子「.files」）で構成されます。この方法で保存した場合、ファイルの移動や、バックアップの際にはこの 2 つをセットで操作してください。
  アーカイブしていないプロジェクトファイル、フォルダの名称を変更すると、作成したデータが参照できなくなりますのでご注意ください。

- **オブジェクト**

  ラベル上に貼り付けられる、文字、バーコード等の項目です。
  一つのレイアウト上に最大 200 個のオブジェクトを貼り付けることが可能です。
  参照・結合など複雑な編集を行った場合は、200 個のオブジェクトを貼り付けられないこともあります。罫線、枠、表、固定グラフィック項目はカウントされません。

- **呼出しデータ**

  発行指示を行う端末からラベルを印刷するためのデータです。
  一つのプロジェクトで 200 件の呼出しデータの登録が可能です。

- **呼出し No.**

  発行指示を行う端末でラベルデータを呼出すための番号です。
  1 から 9999 までの番号を設定できます。

- **発行レイアウト**

  発行指示を行う端末から呼出し番号を指定して発行するためのデータです。

6-2 エラーメッセージ

操作中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

エラーメッセージ	対応方法
このプリンタフォントでは印字できない文字が含まれています。	フォント種を変更してください。 フォントの種類によって印字できる文字が異なります。 X1、2、3 フォントは半角英数カナ、X70～77 フォントは半角数字¥,（カンマ）.（小数点)、漢字フォントは全半角の英数かなが印字可能です。
指定されたデータがテーブルに登録されていません。	参照されているテーブルに、入力された登録番号が登録されていません。
テーブルの最大桁数より小さい桁数が指定されています。	テーブルを参照している項目に設定された桁数が、対象のテーブルの「値」の桁数よりも小さく設定されています。 テーブルの「値」を桁の範囲の文字数に変更するか、桁数を変更してください。
拡張コマンド生成時にエラーが発生しました。レイアウトアイテムのコマンド生成時にエラーが発生しました。	データ出力時にエラーが発生しました。 発行レイアウト内に、赤色（エラー）で表示されたオブジェクトが無いかを確認してください。 赤色で表示されたオブジェクトにカーソルを持っていくと、エラー内容が確認できます。
拡張コマンド生成時にエラーが発生しました。	

6-3 FAQ

よくある質問をまとめました。

ご不明な点や FAQ でも解決しない場合は本製品をご購入いただきました販売店までご連絡ください。

- 全般

1) 最新版のソフトウェアにバージョンアップしたい

- SmaPri Designer、SmaPri Driver

  テクニカルサポートサイトより最新版のインストーラ、マニュアルをダウンロードしてください。

  ※テクニカルサポートライセンスのライセンス ID とパスワードでログインが必要です。

  <SmaPri テクニカルサポートサイト>

  http://dcs.sato.co.jp/smapri/support/

- プリンタドライバ (SmaPri Designer のテスト印刷で使用)

  弊社ソフトウェア・ダウンロード・サイトより最新版セットアップをダウンロードしてください。

  https://www.sato.co.jp/support/printer/

2) SmaPri 以外の製品についてもっと詳しく知りたい

- プリンタの取扱説明書、セットアップガイド

  「取扱説明書」　プリンタ本体の基本設定やスペックなど記載された説明書です。

  「セットアップガイド」　プリンタ、プリンタドライバを利用いただくための導入ガイドです。

  https://www.sato.co.jp/support/printer/

- SBPL プログラミングガイド（Sato Barcode Printer Language）

  コマンド仕様や通信仕様などプリンタ制御に関する総合的なマニュアルです。プリンタの直接制御を検討されている場合にご参照ください。SBPL プログラミングガイドは本製品をご購入いただきました販売店までご連絡ください。

3) その他、技術的なサポートについて

- SmaPri に関して

  テクニカルサポートサイトの「技術的 FAQ」「サポート窓口」をご参照ください。

  ※テクニカルサポートライセンスのライセンス ID とパスワードでログインが必要です。

  http://dcs.sato.co.jp/smapri/support/

  その他、ソフトウェア製品に関して

  弊社ソフトウェア・ダウンロード・サイトより FAQ をご参照ください。

  https://www.sato.co.jp/support/faq/printertool/

- SmaPri Designer

1) USB キー（HASP）が折れてしまった、紛失してしまった

本製品をご購入いただきました販売店までご連絡ください。

2) 「評価版として動作します。商用利用できません」というメッセージが出てしまう

- **パソコンの電源の設定が省電力設定になっていませんか？**

  USB キー（HASP）を差し直すことで解消する可能性があります。

  USB キー（HASP）は USB ポートからの給電で動作します。パソコンの省電力モードによって USB ポートに電源が供給されなくなると動作しなくなります。この場合はパソコンメーカーにお問合せの上で省電力モードの設定を外していただくか、現象発生時に USB キー（HASP）を差し直す運用で回避いただくようお願いします。

- **本マニュアルの手順どおりにインストールしていますか？**

  インストール前に USB キー（HASP）を挿すと認識しなくなる場合がございます。USB キー（HASP）を抜いた状態で、再度インストールを実行してください。

- **USB キー（HASP）はパソコンの USB ポートにきちんとささっていますか？**

  金属部分が隠れるまで USB ポートにしっかりと挿し込んでください。

- **USB キー（HASP）のランプはきちんと点灯していますか？**

  消灯している、または点灯しているにも関わらず認識しない場合は、USB キー（HASP）用デバイスドライバの再インストールを実行してください。

  https://www.sato.co.jp/support/printertool/multi_labelist_v5/hasp/

- **リモートデスクトップで PC に接続していますか？**

  USB キーの制限により、リモートデスクトップ経由で利用するとライセンス認証に失敗することが確認されています。リモートデスクトップは使用しないでください。